取扱説明書 詳細版

XPERIA UL SOL22

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、「Xperia™ UL」(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に『設定ガイド』『取扱説明書』『Xperia™ ULのご利用にあたっての注意事項』『携帯電話機の比吸収率などについて』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『設定ガイド』『取扱説明書』『Xperia™ ULのご利用にあたっての注意事項』『携帯電話機の比吸収率などについて』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書(詳細版)』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

■『取扱説明書』アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面で[▦]→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、『Xperia™ ULのご利用にあたっての注意事項』をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書(詳細版)』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

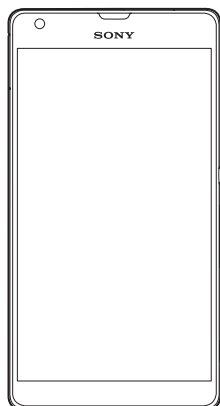
■ こんな場所では、使用禁止!

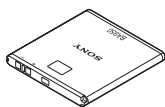
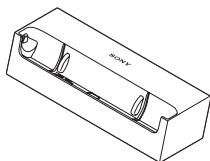
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

Xperia™ UL（電池フタ含む）※1

■ 付属品

電池パック（SOL22UAA）

卓上ホルダ（SOL22PUA）※1

- 取扱説明書
- Xperia™ ULのご利用にあたっての注意事項
- 携帯電話機の比吸収率などについて
- 設定ガイド

※1 保証書含む

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

memo

◎指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。

◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

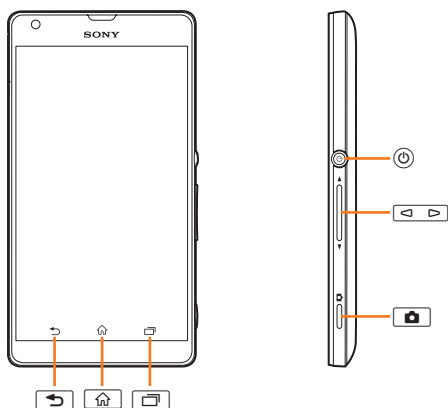
ファイル管理 105

データ通信 111

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

◎ 本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどをタップ（▶P.28）する操作を、[（項目などの名称）]と省略して表記しています。

また、本書では縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

本書でのその他の操作と表記については、「基本的な操作を覚える」（▶P.38）をご参照ください。

表記例	意味
ホーム画面で[ ]→[1][4][1]→[発信]	ホーム画面下部の をタップします。続けて1、4、1をタップして、最後に 発信 をタップします。
ホーム画面で[ ]→[連絡先]	ホーム画面下部の をタップし、表示される画面から を選択する
画面表示中に ⏻	画面表示中に ⏻ を押します。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際のイラスト・画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◎本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

■ お知らせ

- 『取扱説明書』の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 『取扱説明書』の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 『取扱説明書』の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害（※2）を負うことが想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子をショートさせないでください。また、卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。
- 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際にmicroUSB接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体がmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、電池フタなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
- 電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- 外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
- 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。
- コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 電池フタを外したまま使用しないでください。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。
- イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
本製品のmicroUSB接続端子に充電などのためケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではケーブル接続を行わないようご注意ください。
- 高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

フラッシュ/フォトライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、フラッシュ/フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてフラッシュ/フォトライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース(カバー 前面)	PA樹脂(ガラス入り)+AL板金	UV塗装処理
外装ケース(カバー 背面)	PC樹脂(ガラス入り)	−
外装ケース(サイドパネル)	PC樹脂	UV塗装処理
外装ケース(ヘッドセット接続端子カバー)	PC樹脂	UV塗装処理
外装ケース(microUSB接続端子カバー)	PC樹脂	UV塗装処理
外装ケース(受話口)	PET樹脂	−
外装ケース(電池フタ)…ブラック	PC樹脂	ウレタン箔転写成型
外装ケース(電池フタ)…ホワイト、ピンク	PC樹脂	UV箔転写成型
化粧リング(カメラ)	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜
化粧リング(電源キーカバー)	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜
電源キー	アルミニウム合金	陽極酸化皮膜
音量キー、カメラキー	PC樹脂	UV塗装処理
透明板(ディスプレイ)	ガラス+PET樹脂	ハードコート処理
透明板(フラッシュ)	PC樹脂	−
透明板(カメラ)	PMMA+PC樹脂	AR処理
ホイップアンテナ(キャップ)	PC樹脂(ガラス入り)	−
ホイップアンテナ(シャフト上)	SUS	−
ホイップアンテナ(シャフト中)	SUS	−
ホイップアンテナ(シャフト下)	ニッケルチタン	−
ホイップアンテナ(ヒンジ)	SUS	−

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

ホイップアンテナやストラップなどを持って、本製品を振り回さないでください。傷害・事故や故障・破損の原因となります。

通常はmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子のカバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

テレビ(ワンセグ)視聴時以外ではホイップアンテナを収納してください。ホイップアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内部に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。
充電してからお使いください。

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス(+)とマイナス(−)をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
  ACアダプタ（別売）：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
  海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタ（別売）で充電してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
- 指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。
- 卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。
- お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
- 車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。
- 長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 卓上ホルダを床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。
- 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器（別売）を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
- 充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提とします。
- 本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。
- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
  卓上ホルダで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材料	表面処理
上ケース	ABS樹脂	－
下ケース	ABS樹脂	－
ロック	POM／エラストマ樹脂	－
ボタン	POM樹脂	－
接触端子	りん青銅	金メッキ
ラベル	ポリエステル樹脂	－
ゴム足	ポリウレタン樹脂	－

■ au Micro IC Card (LTE)について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
- au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX8相当）を発揮するために、電池フタやmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの電池フタの取り付け／取り外し、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  - 充電用機器
  - 周辺機器

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃〜35℃、湿度35%〜85%の範囲内でご使用ください。ただし、周囲温度36℃〜40℃、湿度86%〜90%であれば一時的な使用は可能です。）
  - Xperia™ UL本体
  - 電池パック・au Micro IC Card (LTE)（Xperia™ UL本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 音声通話中やテレビ（ワンセグ）視聴中または充電中など、ご使用状況によっては本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■本体について

- 本製品の温度が上昇するとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面に爪や固いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊜」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先のデータやアルバムなどの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした静止画や動画のデータ、着信メロディなどの音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- ライトセンサーを指でふさいだり、ライトセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にライトセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。
- ご使用中は、無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- microUSB接続端子カバーやヘッドセット接続端子カバーを強く引っ張ると破損の原因となりますのでご注意ください。
- テレビ（ワンセグ）利用中は、本製品が熱くなりますので、手や顔などで触れる場合はご注意ください。
- 静止画撮影で撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影、テレビ（ワンセグ）を長時間連続作動させた場合、本体の一部が温かくなり長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。

■ディスプレイ（タッチパネル）について

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- タッチパネルを強く押す操作は、破損・故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車(車内)に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 電池パックは充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、電池パックが放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから外してください。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタとケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼り付けないでください。
- au Micro IC Card (LTE)以外のカードを本製品に挿入しないでください。au Micro IC Card (LTE)以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽/動画/テレビ(ワンセグ)/ラジオ機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)などを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 本製品は、MPEG LA, LLC社とのMPEG-4およびAVC特許ライセンス契約に基づき、お客様個人による非営利目的を条件に下記使用が許可されています。
  - MPEG-4およびAVC規格に準拠して映像(以下、MPEG-4映像およびAVC映像)を録画すること
  - 個人による非営利目的で録画されたMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること
  - MPEG LA, LLC社よりライセンスを許諾されている提供者から得たMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること

  上記以外で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLC社にお問い合わせください。
  http://www.mpegla.com

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段:連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定/解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(NFC/おサイフケータイ ロック)

使用例	「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「画面ロック」	設定方法は、「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.122)をご参照ください。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます(▶P.122「SIMカードロックを設定する」)。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「SIMカードロック設定」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、SIMカードロック設定を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「SIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4〜8桁のお好きな番号に変更できます。

◎ PINコードはデータの初期化(▶P.123)を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「SIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください(▶P.123「PINコードを変更する」)。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

防水／防塵性能に関するご注意

本製品は、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。

具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

① microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーをしっかり閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください（▶P.20「各部の名称と機能」）。

- 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手や本製品が濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタの開閉は絶対にしないでください。
- 各カバーを閉じるときは、カバーのヒンジを収納してからカバー全体を指の腹で押し込んでください。その後カバーをなぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

② 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。

③ 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。

④ 常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（アルコール・ジュースなど）に浸けないでください。

⑤ 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

石けん／洗剤／入浴剤　海水　温泉　砂／泥

⑥ 水中で使用しないでください。

⑦ お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体のすき間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に背面側や電源キー、音量キー、カメラキー部内の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『**雨の中**』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合（1時間の雨量が20mm未満まで）。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、本製品に水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーの開閉は絶対にしないでください。

『**シャワー**』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『**洗う**』：やや弱めの水流（6リットル／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん・洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『**お風呂**』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。
- 周囲温度5℃～40℃（ただし、36℃～40℃はお風呂場などでの一時的利用に限る）、湿度35%～90%（ただし、86%～90%はお風呂場などでの一時的利用に限る）の範囲内でご使用ください。

『**キッチン**』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

『**プールサイド**』

- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- プールの水に浸けたり落下させたりしないでください。
- 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- プールの水がかかった場合、やや弱めの水流（6リットル／分未満）で常温（5℃～35℃）の水道水で洗い流してください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジは使用せず手で洗ってください。

■ 共通注意事項

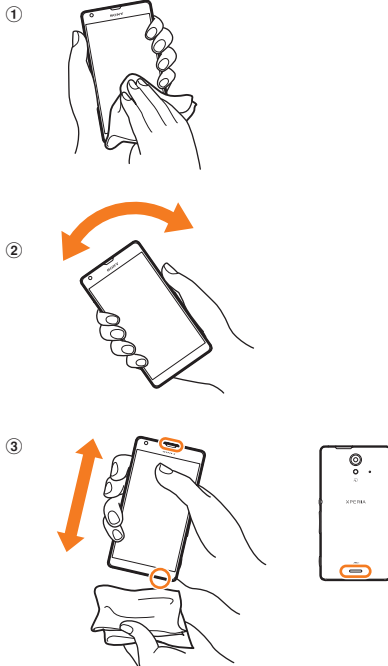
- **microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタについて**
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーはしっかりと閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーを開閉したり、電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。
- **水以外が付着した場合**
  万一、水以外(海水・洗剤・アルコール・ジュースなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流(6リットル/分未満)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタ、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- **水に濡れた後は**
  水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)
  本製品に水滴が付着したまま放置しないでください。背面側や電源キー、音量キー、カメラキー部は水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分は本製品を振るなどして払い落としてください。(このとき、周囲に注意し、本製品を振り落とさないよう十分ご注意ください。)残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。拭き取れなかった水分やすき間にたまった水分が衣服やかばんを濡らす場合がありますのでご注意ください。
  また、送受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- **ゴムパッキンについて**
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー周囲のゴムパッキン、電池フタのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
  microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
  防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。
- **充電について**
  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
  付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- **防水性能について**
  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル/分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  本製品は水に浮きません。
- **耐熱性について**
  熱湯・サウナ・熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- **衝撃について**
  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

① **本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。**

② **本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振ってください。**
※本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

③ **本製品内部より出てきた水分を乾いた布などで拭き取ってください。**
※特に受話口部、送話口部、スピーカー部は水が抜けにくいため、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。

④ **乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させてください。**
※乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。microUSB接続端子カバーからの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1/XX8/DS4/OF4

● **Bluetooth®機能：2.4FH1/XX8**

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

● **無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

- 2.4GHz全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

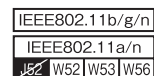
本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52（5.2GHz帯／36、40、44、48ch）
- W53（5.3GHz帯／52、56、60、64ch）
- W56（5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52 W52 W53 W56

パケット通信料についてのご注意

◎ 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎ 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

◎ アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

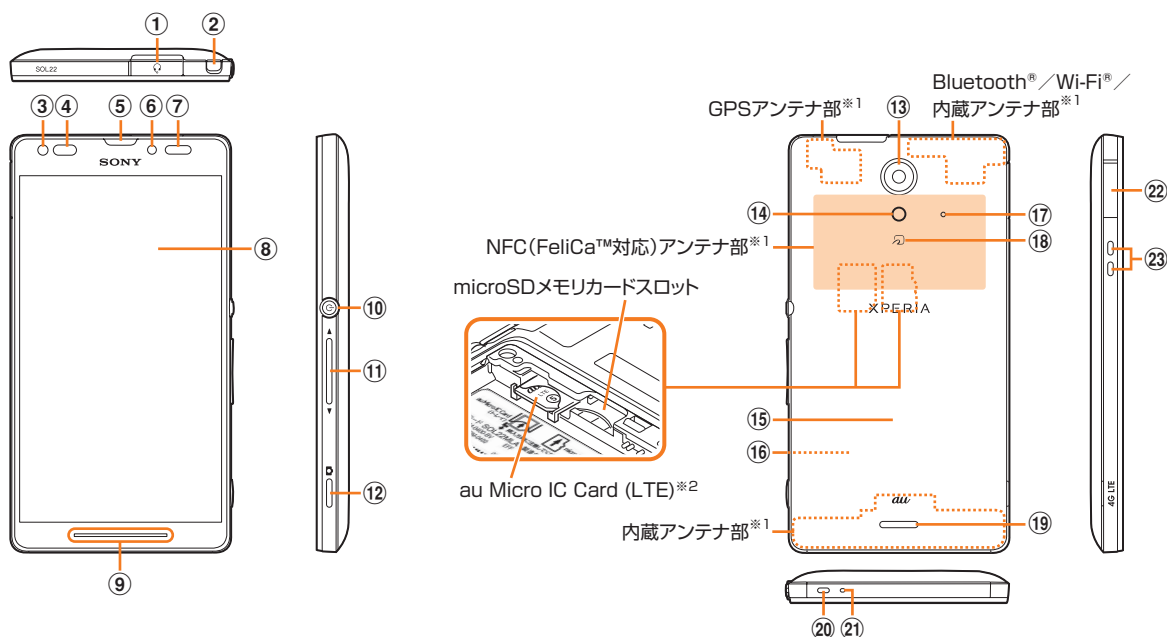
◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

◎ アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。

◎ 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書』に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※1 アンテナは内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。
※2 au Micro IC Card (LTE)の取り扱いについては、「au Micro IC Card (LTE)について」（▶P.21）をご参照ください。

① **ヘッドセット接続端子**

② **ホイップアンテナ**
ワンセグ視聴時に使用します。

③ **フロントカメラ**

④ **近接センサー**
タッチパネルのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。

⑤ **受話口**
通話中の相手の方の声などが聞こえます。

⑥ **ライトセンサー**
画面の明るさを自動制御します。指などでふさがないようご注意ください。

⑦ **赤外線ポート**
赤外線通信中にデータの送受信を行います。

⑧ **ディスプレイ（タッチパネル）**

⑨ **通知LED**
充電状態や不在着信、メールの受信をお知らせします。

⑩ **電源キー／画面ロックキー**
電源オン／オフに使用します。また、バックライトを消灯して、画面ロックをかけます。

⑪ **音量キー／ズームキー**

⑫ **カメラキー**
1秒以上長押しすると、カメラが起動します。静止画・動画の撮影時にシャッターとして使用します。

⑬ **カメラ**

⑭ **フラッシュ／フォトライト**
撮影時にフラッシュ／フォトライトを点灯させ撮影対象を明るくします。

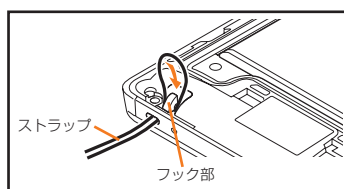
⑮ **電池フタ**

⑯ **電池パック**

⑰ **セカンドマイク**
通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。

⑱ **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。

⑲ **スピーカー**

⑳ **ストラップホール**
ストラップを取り付ける際は電池フタを取り外し、ストラップをストラップホールに通してフック部の奥に掛けた後、電池フタを装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じます。防水／防塵性能を維持するために、ストラップが電池フタに挟まっていないことをご確認ください。

㉑ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

㉒ **microUSB接続端子**
充電時に使用したり、MHL接続時（▶P.84）に使用します。

㉓ **卓上ホルダ用接触端子**

電池パックを取り付ける／取り外す

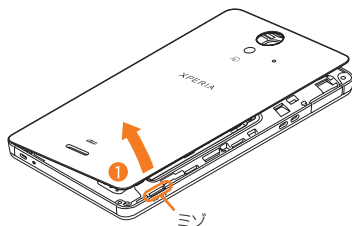
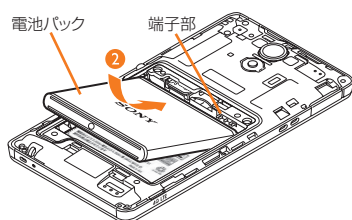
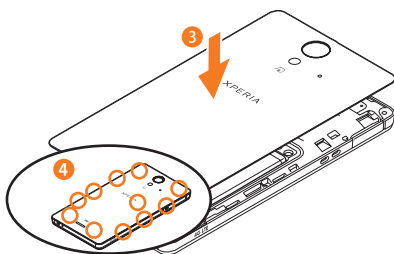
電池パックの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。
電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎電池パックの注意事項については、「電池パックについて」(▶P.10)をご参照ください。

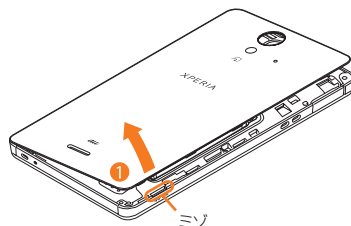
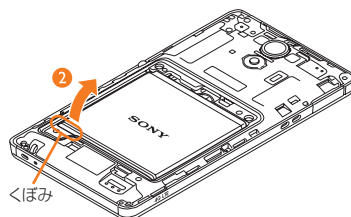
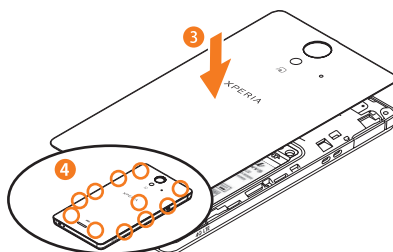
電池パックを取り付ける

au Micro IC Card (LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

1 電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印（①）の方向へ持ち上げて取り外す

2 本体と電池パックの端子部を合わせ、電池パックを矢印（②）の方向へ差し込む

3 電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（③）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（④）

memo

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池フタおよび電池パック破損の原因となります。
◎電池フタの取り付け時には、電池フタが浮き出たままにならないよう、位置を合わせ、周囲をしっかり押し込んでください。

電池パックを取り外す

1 電池フタ側面のミゾに親指の指先（爪）をかけ、電池フタを矢印（①）の方向へ持ち上げて取り外す

2 本体のくぼみに指先（爪）をかけ、電池パックを矢印（②）の方向に持ち上げて取り外す

3 電池フタの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（③）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（④）

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

memo

◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、LTE／3G／1Xが表示されません。

- 電話をかける／受ける※1
- SMSの送受信
- Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、GSM／UMTSローミング中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信しても繋がらない場合もあります)。

■ PINコードによる制限設定

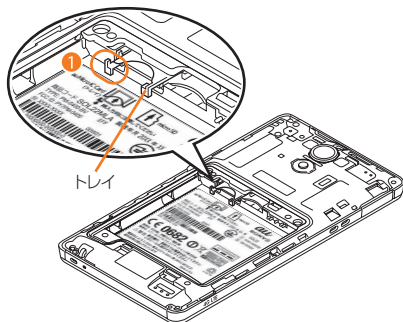
au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードロック設定により他人の使用を制限できます(▶P.122「SIMカードロックを設定する」)。

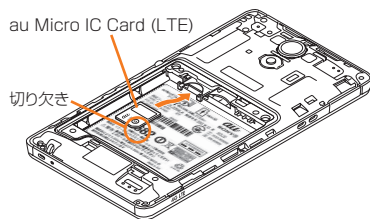
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外してから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。

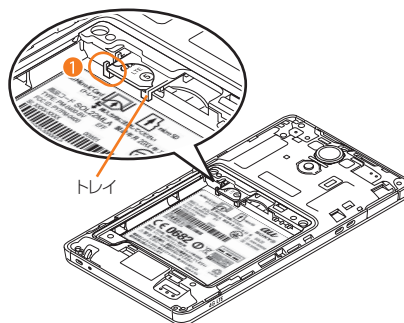
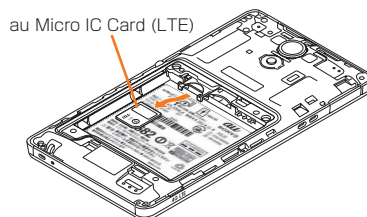
電池パックの取り付け／取り外しかたについては、「電池パックを取り付ける／取り外す」(▶P.21)をご参照ください。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

1 電池フタと電池パックを取り外し、トレイの突起部(❶)に指先(爪)をかけて、トレイをまっすぐに引き出す

2 au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)面を下にしてトレイに差し込み、トレイごと奥までまっすぐ押し込む

au Micro IC Card (LTE)の切り欠き部分を手前にして差し込みます。

3 電池パックを取り付けて、電池フタを装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

1 電池フタと電池パックを取り外し、トレイの突起部(❶)に指先(爪)をかけて、トレイをまっすぐに引き出す

2 au Micro IC Card (LTE)を指の先で押さえながら、手前にすべらせるように取り出す

3 トレイを奥まで押し込み、電池パックを取り付けて、電池フタを装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

memo

◎充電には指定の充電用機器(別売)をお使いください(▶P.140「周辺機器のご紹介」)。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

◎指定の充電用機器(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。

◎充電を開始すると、通知LEDが充電状態に応じて赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します(▶P.37「通知LEDについて」)。電池残量は、ホーム画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で[▦]→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]と操作して、「電池残量」で確認できます。電池残量が100%になると、ステータスバーや「電池残量」、画面ロック解除画面には「100%」と表示されます。

◎電池残量が14%以下になるとポップアップ画面で「充電してください」と表示され、「電池情報」をタップすると電池の使用量などを確認できます(▶P.121「電池使用量を表示する」)。

◎電源を入れる時に電池残量が起動するのに十分でない場合は、⏻を押すと通知LEDが赤色で3回点滅します。

◎電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが本製品の電源が入った状態になります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

◎充電中に本体が温かくなることがありますが異常ではありません。

◎本製品の温度が上昇すると、通知LEDが消灯する(充電が停止する)、または充電が完了しない場合があります。その場合は、本製品の温度が下がってから再度充電を行ってください。

◎電池パックは、「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.8)をよくお読みになってお取り扱いください。

◎パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。

◎アプリケーションや機能などのご利用状況により、使用時間が短くなることがあります。

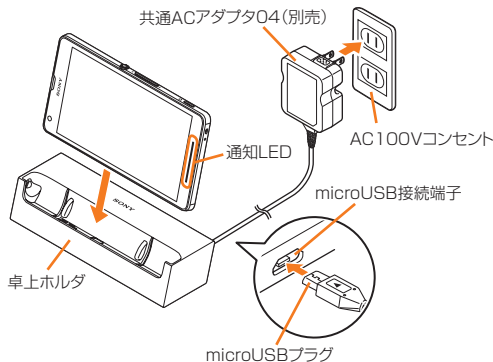
卓上ホルダを使って充電する

付属の卓上ホルダ(SOL22PUA)と共通ACアダプタ04(別売)を接続して充電する方法を説明します。

1 **共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグの刻印面(▲)を上にして、卓上ホルダのmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む**

3 **本製品を卓上ホルダに取り付ける**

本製品の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」(▶P.37)をご参照ください。

4 **充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本製品を上方向に持ち上げて取り外す**

5 **共通ACアダプタ04(別売)をコンセントから取り外す**

memo

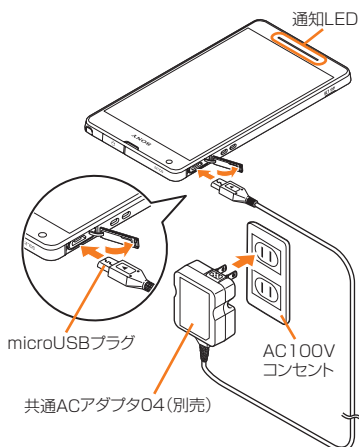
◎卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。

ACアダプタを使って充電する

共通ACアダプタ04(別売)を接続して充電する方法を説明します。

1 **本製品のmicroUSB接続端子カバーを開き、共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグの刻印面(▲)を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む**

本製品の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」(▶P.37)をご参照ください。

3 **充電が完了したら、共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBプラグを本製品から取り外し、microUSB接続端子カバーをしっかりと押して閉じる**

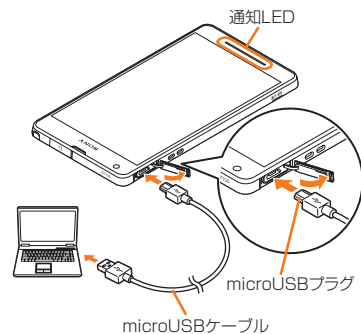
4 **共通ACアダプタ04(別売)をコンセントから取り外す**

パソコンを使って充電する

ソニーモバイルACアダプタ05(別売)のmicroUSBケーブルを利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 **本製品のmicroUSB接続端子カバーを開き、microUSBケーブルのmicroUSBプラグの刻印面(⭠)を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む**

本製品の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」(▶P.37)をご参照ください。
本製品にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。
パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 **充電が完了したら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを本製品から取り外し、microUSB接続端子カバーをしっかりと押して閉じる**

4 **microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す**

memo

◎お買い上げ時は「USB接続モード」(▶P.107)が「メディア転送モード(MTP)」に設定されているため、Microsoft Windows XPのパソコンで本製品を充電するには、パソコンにMTP driverのインストールが必要となります。Windows Media Player 10以降をインストールすると、MTP driverをインストールすることができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **⏻（1秒以上長押し）**

本製品が振動し、しばらくすると画面ロック解除画面が表示されます。画面ロックを解除（▶P.24）してください。

memo

◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
◎お買い上げ後に初めて電源を入れたときは、画面を上下にスワイプ（フリック）して画面ロックを解除し、初期設定を行います（▶P.24「初期設定を行う」）。
◎SIMカードロック／画面ロックをかけている場合は、電源を入れると、PINコード入力画面／画面ロック解除画面が表示されます。PINコードの入力については「電源を入れたときにPINコードを入力する」（▶P.122）、画面ロックの解除については「画面ロックを解除する」（▶P.122）をご参照ください。

電源を切る

1 **⏻（1秒以上長押し）**

2 **［電源を切る］→［OK］**

◎⏻を1秒以上長押しして「電源を切る」をロングタッチ→［OK］と操作すると、本製品を再起動してセーフモードで起動することができます。セーフモードについては、「本製品の動作が不安定」（▶P.141）をご参照ください。

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックがかかります。

1 **画面表示中に⏻**

◎「スリープ」（▶P.120）でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。

画面ロックを解除する

画面ロック解除画面は、電源を入れたときや、⏻を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 **画面ロック解除画面で画面を上下にスワイプ（フリック）**

memo

◎お買い上げ時は、画面ロック解除画面で「カメラ」を左にドラッグするとカメラを起動し、「♫」を右にドラッグするとWALKMANを起動できます。画面ロック解除画面から起動するカメラの設定を変更するには、「クイック起動」（▶P.81）をご参照ください。
◎画面ロックの解除方法を設定するには、「画面ロックの解除方法を設定する」（▶P.122）、画面ロックの解除方法を変更するには、「画面ロックの解除方法を変更する」（▶P.122）をご参照ください。
◎画面ロックを無効に設定することもできます。詳しくは、「画面ロックがかからないようにする」（▶P.122）をご参照ください。

初期設定を行う

お買い上げ後に初めて本製品の電源を入れたときは、画面を上下にスワイプ（フリック）して画面ロックを解除し、画面の指示に従って、言語や各機能、サービスなどの設定を行ってください。初期設定について詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 **［日本語］→［完了］→［→］**

Wi-Fi®接続の設定画面が表示されます。「ネットワークの検索」をタップすると、Wi-Fi®ネットワークへの接続設定を行うことができます。

2 **［→］**

Sony Entertainment Networkの設定画面が表示されます。「開始する」をタップすると、Sony Entertainment Networkを利用時のアカウントを作成・登録することができます。

3 **［→］**

アカウントと同期の設定画面が表示されます。オンラインサービスのアカウントを設定したり、自動同期を設定できます。

4 **［→］→［終了］**

auかんたん設定画面が表示され、auの便利な機能やサービスを設定できます。

5 **［次へ ▶］**

au IDの設定画面が表示されます。「登録」をタップすると、画面の指示に従ってau IDを設定できます。

6 **［次へ ▶］**

バックアップ設定画面が表示されます。au IDを設定していると、連絡先や写真をau Cloudにバックアップすることができます。

7 **［次へ ▶］**

au ウィジェット設定画面が表示されます。「同意します」にチェックを入れると、位置情報をもとにした情報がウィジェットに表示されます。

8 **［次へ ▶］**

あんしんサービス設定画面が表示されます。スマートフォン自動診断の「同意する」をタップすると、本製品のトラブルの原因を診断し、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。

9 **［次へ ▶］→［設定を終了］**

ホーム画面が表示されます。

memo

◎必要に応じて後から設定／変更することができます。後から言語を変更する場合は、ホーム画面で［▦］→［設定］→［言語と入力］→［地域／言語］と操作します。各機能などを設定する場合は、ホーム画面で［▦］→［設定］→［セットアップガイド］と操作します。auのサービスなどを設定する場合は、ホーム画面で［▦］→［auかんたん設定］と操作します。
◎オンラインサービスの設定は、データ接続が可能な状態であることが必要です。ステータスバーに LTE ／ 3G が表示されていることをご確認いただくか、Wi-Fi®ネットワークに接続されていることをご確認ください。

Googleアカウントをセットアップする

本製品にGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを起動したときなどに表示されます。
Googleアカウントの設定について詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→[既存のアカウント]/[新しいアカウント]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「既存のアカウント」をタップし、Gmailのメールアドレスとパスワードを入力して「ログイン」をタップします。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「新しいアカウント」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ Googleアカウントは、ホーム画面で[▦]→[設定]→[アカウントを追加]→[Google]と操作するか、ホーム画面で[▦]→[設定]→[セットアップガイド]→アカウントと同期の設定画面で[Google]と操作しても設定できます。
◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
◎ Googleアカウントを削除するには、「アカウントを削除する」(▶P.124)をご参照ください。
◎ Googleアカウントでログインする前に、データ接続が可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「本製品の状態を知る」(▶P.36)をご参照ください。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面で[🌐]

2 画面上部のアドレスバーをタップ→「http://www.google.co.jp 」を入力→ソフトウェアキーボードの[実行]

アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

3 [ログイン]

Googleアカウント画面が表示されます。

4 [アカウントにアクセスできない場合]

5 画面の指示に従って操作

memo

◎ ホーム画面で[▦]→[Chrome]と操作してもインターネットに接続でき、手順2以降の操作でGoogleパスワードを再取得することができます。Chromeを初めて起動したときは、Google Chromeの利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意して続行」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

au IDの設定をする

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
au IDの設定について詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[au ID 設定]

パケット通信に関する確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au IDの設定・保存]

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちではない場合は、新規登録を行います。

memo

◎ ホーム画面で[▦]→[auかんたん設定]→[次へ]→au ID設定画面で[登録]と操作しても、au IDを設定できます。

基本操作

タッチパネルとキーアイコンの操作

本製品は、タッチパネルと画面下部のキーアイコンを使って操作します。

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

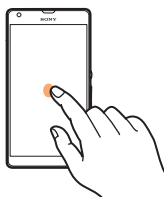
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に載せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
  - ・水中での操作

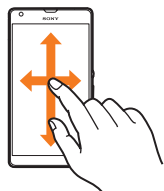
基本操作

■ タップ／ダブルタップ

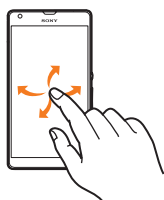
アイコンや項目などに指で軽く触れ、すぐに離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

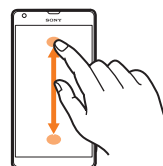
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック（スワイプ）

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

キーアイコンの基本操作

画面下部の 、 、 の主な操作は次の通りです。

キーアイコン		説明
	バック	1つ前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、メニュー、通知パネルなどを閉じます。
	ホーム	ホーム画面を表示します。 ロングタッチして「 」へドラッグすると、「Google」アプリケーションを起動できます。
	最近使用したアプリ	最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動したり、一覧から削除できます。また、スモールアプリを使用したり、設定することができます。 ▶P.35「最近使用したアプリケーションを表示する」 ▶P.35「スモールアプリ」

ホーム画面とアプリケーション画面

ホーム画面とアプリケーション画面から、本製品のさまざまな操作ができます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されています。中央の画面は本体操作上の初期画面となり、[⌂]をタップすると、いつでもホーム画面を表示することができます。

① ホーム画面位置
　5つのホーム画面のうち現在の表示位置を示します。左右にスライドまたはフリックすると、隣り合ったホーム画面に移動できます。
② ウィジェット
③ 壁紙
④ ショートカット（アプリケーション）
⑤ メディアフォルダ（WALKMAN、ムービー、アルバム、Sony Select、カメラ、FMラジオ、ワンセグ）
⑥ 基本機能フォルダ（LISMO Player、YouTube、マップ、アラームと時計、カレンダー、赤外線通信、設定）
⑦ アプリケーションキー

ホーム画面のメニューを利用する

ホーム画面では、壁紙やテーマを変更したり、アプリケーションのショートカットやウィジェットなどを追加／削除／移動できます。
フォルダの追加や削除などについては「フォルダを利用する」（▶P.30）をご参照ください。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチ

ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2

ウィジェット		ホーム画面にウィジェットを追加します。 ▶P.30「ウィジェットを追加する」
アプリ		ホーム画面にアプリケーションや設定画面などのショートカットを追加します。 ▶P.30「ショートカットを追加する」
壁紙	アルバム	アルバムから画像を選択して、壁紙に設定します。 • 画像の範囲はドラッグまたはピンチなどでトリミング枠を調整し、「トリミング」をタップして設定します。
	ライブ壁紙	ライブ壁紙からコンテンツを選択して、壁紙に設定します。
	（Xperia™の壁紙）	画像を選択して、壁紙に設定します。 • 「アルバム」「ライブ壁紙」の右横に表示されている画像が「Xperia™の壁紙」になります。
テーマ		ホーム画面や画面ロック解除画面などの画像を設定します。

◎お買い上げ時に登録されているショートカットは変更できます。本書では、お買い上げ時の状態の操作方法で説明しているため、変更する場合はご注意ください。
◎ホーム画面で[▦]→[⋮]→[カスタマイズ]と操作してもホーム画面などを変更できます。
◎本体操作上の初期画面となるホーム画面を変更するには、ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチ→[⌂]と操作します。
◎ホーム画面を追加するには、ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、ホーム画面を左右にフリックして、「⊕」をタップします。最大7つのホーム画面を表示することができます。
◎ホーム画面を削除するには、ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチ→[✕]と操作します。ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを追加している場合は、[✕]→[削除]と操作します。
◎壁紙はウェブサイトからダウンロードして追加することができます。

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチすることで、アイコンの移動や並び替えができます。

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する場所までドラッグ

◎アイコンに触れたままホーム画面の左端または右端までドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用するアプリケーションのことです。

■ 主なウィジェット一覧

ウィジェット	概要	ページ
Eメール	PCメールのアカウントやフォルダを選択して表示します。	P.67
Facebookボタン	Facebookにコメントを投稿したり、画像を選択してアップロードできます。	－
Friends Note	Friends Noteに設定したSNSのメッセージなどを表示します。	P.95
Gmail	Gmailのアカウントやフォルダを選択して表示します。	P.69
Google+投稿	Google+の投稿を表示します。	－
Google検索	Googleの検索ボックスを表示します。	P.37
LISMO Player（大／小）	LISMO Playerを表示します。	P.86
Music Unlimited	世界中の音楽を聴くことができるMusic Unlimitedを表示します。	－
NFCカンタン起動	NFC R/W P2P機能のオン／オフを切り替えることができます。	P.91
OfficeSuiteの最近の履歴	最近のOfficeSuiteを使用した履歴を表示します。	－
Playストア	Google Playのおすすめのアプリケーションを表示します。	P.93
TrackID™	TrackID™を表示します。	P.86
WALKMAN	WALKMANを表示します。	P.85
Xperia Link	本製品のネットワーク経由でソニーのパソコンやタブレットをインターネットに接続することができます。	－
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示します。	P.95
au Wi-Fi接続ツール※1	au Wi-Fi SPOTへの自動接続のオン／オフを切り替えたり、設定を変更することもできます。	－
auお客さまサポート（L／M／S）	通話料や請求情報などを確認できます。	P.100
auウィジェット（auおすすめ情報）※1	auのおすすめ情報を表示します。	－

ウィジェット	概要	ページ
auウィジェット(コミュニケーション)	Friends Noteでお気に入りに登録した友達からの電話やメールなどを表示したり、発信や送信もできます。	－
auウィジェット(ニュース)※1	超速報ニュースや注目ニュースなどを表示します。	－
auウィジェット(フレンズシェア)※1	SNSに投稿された写真や動画などを表示します。	－
auウィジェット(周辺情報)※1	現在地付近のレストランや人気スポットなどを表示します。	－
auウィジェット(天気)※1	現在地の天気・雨雲レーダー・ウェザーリポートなどを表示します。	－
おすすめのコンテンツを楽しむ	Google Playのおすすめのアプリケーションを「すべて」「アプリ」「書籍」「映画」から選択して表示します。	－
おはなしアシスタント	スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。	－
カレンダー	カレンダーの予定を表示します。	P.98
スクリーンミラーリング	スクリーンミラーリングのオン／オフを切り替えることができます。	P.121
ツール	Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、バックライト、モバイルデータ通信、音設定、GPS機能、機内モード、ローミングのオン／オフを設定したり、クイック設定ウィジェットを利用して各機能のオン／オフを設定できます。	－
ニュースと天気	ニュースや天気を表示します。	－
ノート	ノートを表示します。	－
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示します	P.73
ブックマーク	Chromeのブックマークを表示します。	－
交通状況	ウィジェット名と目的地を入力すると、現在地から目的地までの所要時間がウィジェットで表示され、タップすると提供されている交通状況を確認できます。	－
再生－マイライブラリ	Google Playで管理している動画や書籍などを、「マイライブラリ」「マイブック」「マイ動画」から選択して表示します。	－
写真とムービー	静止画や動画などを表示します。	P.83
天気	天気を表示します。	－
時計	時計を表示します。タップするとアラームを起動できます。	－
最近の通話履歴	最近の通話履歴を表示します。	P.48
赤外線通信	赤外線通信を起動します。	P.112
近況アップデート	Facebookのコメントを表示したり、投稿したりできます。	－
連絡先	連絡先を表示します。	P.76

※1 名称は同一で、大きさの異なるウィジェットがあります。

■ ウィジェットを追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチ

ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2 [ウィジェット]→ウィジェットを選択

設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までウィジェットをドラッグ

memo

◎Google Playからアプリケーションをインストールすると、ウィジェットの一覧に追加される場合があります。
◎ウィジェットによっては表示サイズを変更できます。表示サイズを変更するには、ウィジェットをロングタッチし、青色の枠をドラッグします。

ショートカットを利用する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットを追加できます。

■ ショートカットを追加する

■メニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチ

ホーム画面でピンチインしても表示されます。

2 [アプリ]

3 [ショートカット]／アプリケーションを選択

「ショートカット」を選択した場合は、お買い上げ時に用意されているショートカットから選択します。
データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■アプリケーション画面からショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で[▦]

2 追加するアイコンをロングタッチ

画面上部に「ホーム画面に追加」が表示されます。

3 「ホーム画面に追加」までアイコンをドラッグ

ホーム画面が表示されます。

4 ショートカットを置く場所までドラッグ

■ ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までショートカットをドラッグ

フォルダを利用する

ホーム画面に追加したアプリケーションやブックマークなどのショートカットをフォルダに入れて管理することができます。

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面でアイコンをロングタッチ

2 アイコンを別のアイコンの上までドラッグ

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ フォルダにアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをフォルダの上までドラッグ

■ フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

画面下部に🗑が表示されます。

2 「🗑」までフォルダをドラッグ

3 [削除]

フォルダ内のショートカットなども削除されます。

シンプルホームに切り替える

シンプルホームを設定すると、基本的な機能に限定したホーム画面や設定メニューを利用できます。文字サイズが大きくなり、短縮機能を使って電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]**

2 **[Xperia™]→[シンプルホーム]→[OK]**

シンプルホーム画面が表示されます。

《シンプルホーム画面》

■ シンプルホーム画面のアプリケーション

アプリケーション		ページ
マップ		P.95
Google		P.37
シンプル設定		P.32
マイセレクト		P.32
ツール	連絡先	P.76
	カレンダー	P.98
	アラームと時計	P.99
	電卓	－
	赤外線通信	P.112
	おサイフケータイ	P.90
	Gmail	P.69
	Playストア	P.93
メディア	WALKMAN	P.85
	アルバム	P.83
	ムービー	－
	ワンセグ	P.87
	FMラジオ	P.87
	YouTube	P.95
カメラ		P.79
Eメール		P.52
SMS		P.65
電話		P.48
その他アプリ	「au ID 設定」や「auかんたん設定」などのアプリケーションの一覧が表示されます。	－
ブラウザ		P.72
短縮1／短縮2／短縮3		P.31

memo

◎ホーム画面で[シンプルホーム]→[OK]と操作してもシンプルホームに切り替えられます。

◎シンプルホーム画面上の「電話」／「Eメール」／「SMS」アプリケーションには、不在着信や未読メールなどの件数が数字で表示されます。

◎標準のホーム画面に切り替えるには、シンプルホーム画面で[シンプル設定]→[ホーム切替]→[OK]と操作します。

◎シンプルホーム画面に設定されているアプリケーションは変更できません。

短縮機能を利用する

よく電話やメールをする連絡先を「短縮1」「短縮2」「短縮3」に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

■ 連絡先を登録する

あらかじめ「連絡先」アプリケーションに電話番号やメールアドレスを登録してください。連絡先の登録方法については「連絡先を登録する」(▶P.76)をご参照ください。

1 **シンプルホーム画面で[短縮1]／[短縮2]／[短縮3]**

初めて登録するときは「OK」をタップします。

2 **登録する連絡先を選択**

シンプルホーム画面の「短縮1」などの名称は、「連絡先」アプリケーションに登録されている名前に変更されます。

memo

◎短縮に登録した連絡先を削除するには、シンプルホーム画面で削除したい短縮の連絡先を選択→[メニュー]→[登録先を解除]→[OK]と操作します。

◎短縮に登録した連絡先を変更するには、シンプルホーム画面で変更したい短縮の連絡先を選択→[メニュー]→[登録先を変更]と操作し、任意の連絡先を選択します。

■ 電話をかける

1 **シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[電話をかける]**

選択した連絡先に発信されます。
通話中の操作方法については「電話をかける」(▶P.48)をご参照ください。

■ メッセージを送信する

1 **シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[メッセージを送る]**

メッセージの送信方法については「SMSを送信する」(▶P.65)をご参照ください。

■ メールを送信する

1 **シンプルホーム画面で短縮の連絡先を選択→[メールを送る]**

アプリケーション選択画面が表示された場合は、メールを作成するアプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
Eメールの送信方法については「Eメールを利用する」(▶P.52)をご参照ください。
Gmailの送信方法については「Gmailを利用する」(▶P.69)をご参照ください。
PCメールを設定している場合は、アプリケーション選択画面でEメール(✉)を選択できます。

シンプル設定を利用する

よく使用する基本的な設定を、シンプル設定を利用して変更することができます。

1 シンプルホーム画面で[シンプル設定]

シンプル設定画面が表示されます。
シンプルホーム画面に戻るには [戻る] または [ホーム] をタップします。

■ シンプル設定メニューの項目一覧

項目		設定内容
プロフィール		自分の電話番号やメールアドレスなどを確認できます。
画面設定	消灯時間変更	画面のバックライトが消灯するまでの時間(ディスプレイが暗くなるまでの時間)を設定します。
	壁紙変更(待受画面)	シンプルホーム画面の壁紙を「専用壁紙」／「任意の壁紙」から選択して設定します。 • シンプルホーム専用の壁紙を変更するには、「専用壁紙」のチェックを外して「任意の壁紙」をタップし、「Xperia™の壁紙」／「アルバム」／「ライブ壁紙」から選択して設定します。
	壁紙変更(ロック画面)	画面ロック解除画面の壁紙を「アルバム」／「Xperia™の壁紙」から選択して設定します。
	フォントサイズ	「連絡先」アプリケーションなどに表示される文字サイズを設定します。
音設定	マナーモード切替	マナーモードを「OFF」／「バイブレーション」／「ミュート」から選択して設定します。
	着信音変更	着信音を設定します。アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップして着信音を設定します。
その他の設定	ロック画面設定	画面ロックの解除方法を「設定しない」／「スワイプ」／「フェイスアンロック」／「パターン」／「PIN」／「パスワード」から選択して設定します。
	詳細設定	標準のホーム画面で表示される設定メニューを表示します。 ▶P.118「設定メニュー項目一覧」
ホーム切替		標準のホーム画面に切り替えます。

マイセレクトにアプリケーションを登録する

「マイセレクト」フォルダに使用頻度の高いアプリケーションなどを登録しておくと、簡単に起動することができます。

1 シンプルホーム画面で[マイセレクト]→[編集]→[OK]

2 登録するアプリケーションにチェックを入れる→[完了]

「マイセレクト」フォルダにアプリケーションが登録されます。
シンプルホーム画面に戻るには [戻る] または [ホーム] をタップします。

memo

◎「マイセレクト」フォルダに登録したアプリケーションを削除するには、手順2で削除したいアプリケーションのチェックを外して「完了」をタップします。

アプリケーション画面を利用する

アプリケーション画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。本製品にインストールしたアプリケーションのアイコンも表示されます。

• アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で[▦]

アプリケーション画面が表示されます。
左右にスライドまたはフリックすると、アプリケーション画面を切り替えられます。
[戻る] または [ホーム] をタップすると、アプリケーション画面を閉じます。

■ アプリケーションの種類

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	連絡先	友人や家族の連絡先を管理します。	P.76
	電話	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.48
	SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。	P.65
	Eメール	Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。	P.52
	Eメール	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます。	P.67
	ブラウザ	ブラウザでインターネットに接続します。	P.72
	カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.79
	バーコードリーダー	進化するバーコードリーダー/アイコニット！ QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画･音声･画像･テキストなどのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。	－
	WALKMAN	音楽などを再生します。	P.85
	アルバム	静止画／動画などを再生します。	P.83
	ムービー	Video Unlimitedで本製品にダウンロードした作品や、PCなどから本製品に転送した動画を再生できます。Wi-Fi®機能を利用して、DLNA機器の動画を本製品で再生したり、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などをおでかけ転送して、本製品で再生できます。	－
	Sony Select	Sony Selectに接続して、アプリやゲームなどを取得できます。	－
	Playストア	新しいアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.93
	カレンダー	予定を管理します。	P.98
	ファイルコマンダー	静止画、動画、音楽データ、ダウンロードしたファイルなどを簡単に探すことができます。	P.108
	マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	P.95
	設定	本製品の各種設定を行います。	P.118
	アラームと時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.99
	赤外線通信	赤外線通信でデータを送受信します。	P.112
	ツールフォルダ	フォルダ内に「電卓」「ノート」「定型文」「スマートコネクト」「ダウンロード」「バックアップと復元」「更新センター」「省電力モード」アプリケーションが格納されています。	－
	ワンセグ	ワンセグを視聴、録画できます。	P.87

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携やリモート録画予約機能がご利用いただけます。	P.90
	FMラジオ	FMラジオを利用できます。	P.87
	GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	－
	au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	－
	auスマートパス	月額390円(税込)で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.94
	うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を一人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。	－
	ビデオパス※1	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。	－
	ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	－
	LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。	P.86
	Friends Note	電話帳の連絡先や、Facebook・TwitterなどのSNSの友達やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.95
	au Cloud	スマートフォンに保存されている写真や動画をau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードは自動・手動のどちらでもできます。ただし、自動アップロードはWi-Fiのみとなります。	－
	おはなしアシスタント	スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。	－
	取扱説明書※1	本製品の取扱説明書を表示します。	－
	auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。	P.100
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。	P.102
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートするアプリです。	－
	au ID 設定	au IDを設定します。	P.25
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様と本製品の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.100
	3LM Security	本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。	P.100
	GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけかたなどをチェックできるアプリです。	－
	NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリケーションの一覧表示やNFCロックの設定など、各種設定を行うことができます。	P.92
	au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。 また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。	－
	らくらく無線スタートEX	無線LAN親機とスマートフォンの接続設定が簡単にできるアプリです。セキュリティ設定も同時に行いますので安心です。	－
	AOSS	無線親機とAndroid端末とのWi-Fi®接続を、かんたんに設定できるアプリです。アプリの画面に従って無線親機のAOSSボタンを押すだけで、ワンタッチで接続できます。	－
	Google	本製品内やウェブ上の検索を行います。	P.37
	音声検索	Google音声検索を利用できます。	－
	Google+	Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。	－
	メッセンジャー	Google+を利用してグループでチャットができます。	－
	Chrome	Google Chromeでインターネットに接続します。	－
	YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.95
	Playムービー	Google Playの映画をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	－
	Playブックス	Google Play Booksから新作、ベストセラーなどをダウンロードして読むことができます。	－
	Gmail	Gmail(@gmail.com)を利用できます。	P.69
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.95
	ナビ	Googleマップナビを表示します。	－
	ローカル	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。	P.97
	Sony Entertainmentフォルダ※1	フォルダ内に「Video Unlimited」「Music Unlimited」「電子書籍 Reader by Sony」「PlayMemories Online」「PSMを始めよう」アプリケーションが格納されています。	－
	Socialife※1	FacebookやTwitterなどのSNS、お気に入りのニュースサイトなどをまとめて閲覧・管理できます。	P.97
	Xperia Link	本製品のネットワーク経由でソニーのパソコンやタブレットをインターネットに接続することができます。	－
	Xperia Home	ソニーモバイルコミュニケーションズの製品やキャンペーン情報などを紹介するスマートフォン向けサイトです。	－
	TrackID™	楽曲認識サービスを利用できます。	P.86

基本操作

アイコン	アプリケーション	概要	ページ
	Facebook	「Facebook」アプリケーションを利用できます。	P.124
	車内モード	アプリケーション(ナビ、マップ、FMラジオ、WALKMAN、電話など)を車内で簡単に起動することができます。また、よく利用するアプリケーションをショートカットとして登録することもできます。アプリケーションを終了するには、「☒」をタップしてください。車内でご利用時は次の点にご注意ください。 • 運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意を怠るなど安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。 • 運転者が本端末を操作する場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。 • 運転中に画面を凝視することは法律により制限されています。 • 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。 • 案内音声などがしたときに、急な運転操作を行わないでください。	－
	OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	－
	PlayNow	ニュース速報や辞書サービスなどを利用できるPlayNowの専用サイトに接続します。	－
	ニュースと天気	位置情報をもとにした天気予報、ニュース、スポーツ、エンターテイメントなどの各種情報がチェックできます。	－
	おサイフケータイ	おサイフケータイ®を利用します。	P.90
	安心アクセス※1	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.99
	スマホカバー※1	人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。	－
	ナビウォーク※1	電車・バス・徒歩などのさまざまな移動手段を組み合わせて、ドアtoドアで最適なルートを音声ナビで案内します。	－
	LINE※1	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	－
	TOLOT フォトブック※1	スマートフォンで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます！旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。	－
	KKBOX※1	友達同士で一緒に音楽が聴ける、聴き放題音楽配信サービスです。	－
	じぶん銀行※1	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	－
	LAWSON※1	ローソンのおトクな最新情報をいつでも手に入れられるアプリです。Ponta会員の方なら、ログインするだけで「Pontaポイント残高」「アプリ限定クーポン」無料公衆無線LANサービス「LAWSON Wi-Fi」をご利用いただけます。	－
	ショッピング※1	人気モールなどいろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。	－
	がんばれ！ルルロロ※1	auスマートパス会員なら、ポータルサイトで毎月紹介されるきせかえテーマが取り放題となるホームアプリです。	－
	GREE※1	2,500万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。	－
	NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.92

※1 簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

memo

◎『取扱説明書』アプリケーションでは、本製品のさまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。
◎不在着信や未読メールなどの件数が数字で表示されるアイコンがあります。
◎データの初期化(▶P.123)を行っても、本製品にプリインストールされているアプリケーションは削除されません。

アプリケーションを並べ替える

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンを並べ替えます。

1 ホーム画面で[▦]→[▼]

お買い上げ時は「カスタム並べ替え」に設定されています。

2

カスタム並べ替え	アプリケーションアイコンを個別に指定して並べ替えます。 ▶P.35「アプリケーションを指定して並べ替える」
アルファベット順	アルファベット順に並べ替えます。
よく使うアプリ順	使用頻度順に並べ替えます。
最近インストールした順	インストール順に並べ替えます。

■ アプリケーションを指定して並べ替える

1 ホーム画面で[▦]→[▼]→[カスタム並べ替え]

2 並べ替えるアイコンをロングタッチ

3 アイコンを並べ替える場所までドラッグ

アプリケーション画面の左端または右端までドラッグすると、別のアプリケーション画面に移動できます。

memo

◎アイコンの並べ替え中に一番右のアプリケーション画面の右端までドラッグすると、アプリケーション画面を追加できます。

アプリケーションを削除する

アプリケーション画面から一部のアプリケーションを削除できます。

- 削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションによっては削除できない場合があります。

1 ホーム画面で[▦]

2 [⋮]→[アンインストール]

3 「☒」のついたアプリケーションをタップ

アンインストールの確認画面が表示されます。
「☒」のついたアプリケーションは削除できます。

4 [アンインストール]

memo

◎本製品にプリインストールされているアプリケーションは、削除できない場合があります。
◎アプリケーションを管理する画面からも削除できます。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」(▶P.94)をご参照ください。

アプリケーションを共有する

アプリケーションを簡単な操作で他の人に紹介できます。アプリケーションのダウンロード情報(URL)を手動で入力することなく送信/投稿します。

1 ホーム画面で[▦]

2 [⋮]→[共有]

3 「<」のついたアプリケーションをタップ

共有方法の選択画面が表示されます。
「<」のついたアプリケーションは共有できます。

4 共有方法を選択

画面の指示に従って操作してください。

memo

◎アプリケーションによっては共有できないものがあります。
◎操作する前にデータ接続が可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「本製品の状態を知る」(▶P.36)をご参照ください。

フォルダを利用する

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンをフォルダに入れて管理することができます。

■ フォルダを追加する

1 アプリケーション画面でアイコンをロングタッチ

2 アイコンを別のアイコンの上までドラッグ

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ フォルダにアイコンを移動する

1 アプリケーション画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 アイコンをフォルダの上までドラッグ

■ フォルダ名を変更する

1 アプリケーション画面でフォルダをタップ

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力→[完了]

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1 [▭]

最近使用したアプリケーションのサムネイルが表示されます。
一覧からサムネイルを選択するとアプリケーションが起動し、左右にフリックすると一覧から削除できます。

memo

◎サムネイルをロングタッチして、「リストから削除」をタップすると一覧から消去し、「アプリ情報」をタップするとアプリケーションの情報を確認できます。
◎[▭]→[全アプリ終了]と操作すると、サムネイル表示されたアプリケーションをすべて終了し、サムネイル表示の履歴をすべて消去することができます。

スモールアプリ

任意のアプリケーションを使用しながらスモールアプリを利用できます。

1 [▭]

設定されているスモールアプリが表示されます。

2 スモールアプリを選択

スモールアプリが起動します。
起動中のスモールアプリを閉じるには「☒」をタップします。

memo

◎スモールアプリには、▦(電卓)、◎(タイマー)、▨(ノート)、▨(レコーダー)があらかじめ設定されています。[＋]→[Playストア]と操作すると、Playストアから新しいスモールアプリをインストールして設定することができます。「＋」が一覧に表示されていない場合は、スモールアプリ表示域を左右にフリックしてください。
◎設定されたスモールアプリを削除するには、削除したいスモールアプリをロングタッチして、スモールアプリ表示域の枠外までドラッグし、削除確認画面が表示されたら「削除」をタップします。削除したスモールアプリを再度設定するには、[＋]→[インストール済み]と操作し、設定したいスモールアプリを選択します。

本製品の状態を知る

ステータスバーは、本製品の画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

アイコンの見かた

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	通話中※1、発信中※1、着信中
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	新着SMSあり／着信お知らせサービスの伝言お知らせ・着信お知らせあり
	新着インスタントメッセージあり
	新着Facebookメッセージあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	Facebook機能の接続要求通知あり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード
	Bluetooth®通信でデータなどの受信通知あり
	スクリーンショットあり
	カレンダーの予定あり
	ストップウォッチ計測中
	タイマー使用中
	アラーム鳴動中
	楽曲をWALKMANで再生中
	FMラジオ使用中※1
	ワンセグ視聴中※1
	ワンセグ録画中※1
	赤外線通信中
	NFC／おサイフケータイ ロック設定中
	本製品をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
	アップデート通知／インストール完了(Google Playに更新可能なアプリケーションあり／アプリケーションのインストール完了)
	USB接続中
	Wi-Fi®オープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	モバイルデータ通信無効
	ソフトウェア更新通知あり
	ソフトウェア更新ダウンロード中
	ソフトウェア更新ダウンロード完了
	microSDメモリカードのマウント解除(読み書き不可)
	microSDメモリカードの準備中
	エラーメッセージ(赤色)
	注意メッセージ(黄色)
	同期に問題あり
	緊急速報メールあり
	GPS測位中
	Green Heart省エネアイコン(コンセントからACアダプタを外してください)
	本製品のメモリの空き容量低下
	microSDメモリカードへのデータ転送の通知あり(内部ストレージの空き容量低下)
	表示しきれていない通知あり
	Wi-Fi®テザリング設定中
	USBテザリング設定中
	Wi-Fi®テザリングおよびUSBテザリング設定中
	スクリーンミラーリング接続中

※1 ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
12:34	時刻	P.124
	電池の状態 100%　充電中 電池残量が少ない状態(4%以下)	−
	電波状態 レベル4　圏外	−
	LTEデータ通信状態 LTE使用可能 LTEデータの送信およびダウンロード中	−
	3Gデータ通信状態 3G使用可能 3Gデータの送信およびダウンロード中	−
	1Xデータ通信状態 CDMA 1X使用可能 CDMA 1Xデータの送信およびダウンロード中	−
	GSM／UMTSローミング通信状態 GSM／UMTSローミング使用可能 GSM／UMTSローミングの送信およびダウンロード中	−
	マナーモード(バイブレーション)に設定中	P.38
	マナーモード(ミュート)に設定中	
	マイクオフに設定中※1	P.48
	ハンズフリーで通話中(スピーカーオン)※1	P.48
	NFC R/W P2P機能をオンに設定中	P.91
	Wi-Fi®接続中	P.114
	Wi-Fi®通信中	
	Auto IP機能でWi-Fi®接続中	
	Bluetooth®機能をオンに設定中	P.113
	Bluetooth®対応機器と接続中	
	機内モード設定中	P.118
	アラーム設定あり	P.99
	PINロック解除コードロック中、またはau Micro IC Card (LTE)が未挿入	−

※1 ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

通知パネルについて

通知アイコンは通知パネルに表示されます。通知アイコンの詳細を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下にスライド

「すべて削除」をタップすると、通知内容を消去できます。

[戻る]をタップして通知パネルを閉じます。

memo

◎画面ロックを「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除しなくてもステータスバーを下にスライドして、通知パネルを確認することができます。

◎通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。

◎通知内容によっては通知を削除できない場合があります。

◎通知パネルで未読メールや不在着信などの件数や相手先を確認できます。通知パネル内の通知状況やアプリケーションによっては、未読メールの送信者名や表題、本文の一部などを確認することができます。
◎通知パネル上でピンチ（▶P.28）すると、通知内容によっては通知パネルの表示を拡大／縮小することができます。
◎通知パネル内の通知をロングタッチ→［アプリ情報］と操作すると、アプリケーションの情報を確認できます。
◎通知パネルを開いて、クイック設定ツールで機能のオン／オフなどを設定できます。通知パネルに表示するクイック設定ツールの数や並び順を変更するには、「通知パネルに表示するクイック設定ツールを編集する」（▶P.120）をご参照ください。

アイコン	概要
／ Wi-Fi	Wi-Fi®機能のオン／オフを設定できます。
／ Bluetooth	Bluetooth®機能のオン／オフを設定できます。
／ モバイルデータ	モバイルデータ通信の有効／無効を設定できます。
／ バックライト	画面の明るさを切り替えることができます。
／／ サウンド	マナーモード（バイブレーション／ミュート）のオン／オフを設定できます。
／ テザリング	Wi-Fi®テザリング機能のオン／オフを設定できます。
／ GPS	GPS機能のオン／オフを設定できます。
／ 機内モード	機内モードのオン／オフを設定できます。
／ 画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかを設定できます。
設定	設定メニュー画面（▶P.118）を表示します。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示します。
橙色の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示します。
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示します。
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示します。
白の点滅	不在着信、新着Gmail、新着PCメール、新着SMSがあることを示します。※1

※1 画面ロック解除画面やバックライト消灯中、画面ロックを無効に設定している場合は、通知LEDが点滅します。

memo

◎電源を入れる時に電池残量が起動するのに十分でない場合は、ⓞを押すと赤色で3回点滅します。
◎電源オフの状態で充電を開始すると通知LEDが赤く点灯しますが、ディスプレイに電池の状態が表示されると、電池残量を示す色で通知LEDが点灯します。
◎「アルバム」アプリケーションや「WALKMAN」アプリケーションを使用中は、コンテンツに合わせて通知LEDが点灯します。また、着信時は画面設定の「テーマ」（▶P.120）の色に従って点灯します。

本製品内やウェブサイトを検索する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面で［］→［Google］

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 入力欄にキーワードを入力

：音声で検索語句を入力
入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／ソフトウェアキーボードの［］

一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎Googleアカウントを設定していると、手順1でGoogle Nowについて縦画面で表示されます。画面の指示に従って操作してください。
◎ホーム画面で［］→［］と操作すると、本製品内のアプリケーションを検索できます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの［］

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

3 一覧表示から項目を選択

検索時のメニューを利用する

検索ボックスで使用する設定や、本製品内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で［］→［Google］

ソフトウェアキーボードが表示されますので、「」をタップします。

2 ［］→［設定］

3

Google Now※1	位置情報サービスをオンに設定して、現在地の天気、目的地までの交通状況や経路などを確認できます。
音声	音声検索時の言語や設定を変更できます。
端末内検索	本製品内で検索対象とするデータの種類を選択します。
プライバシーとアカウント	検索文字の入力時にウェブ履歴から検索候補を表示するかを設定したり、本製品内のコンテンツやアプリケーションについて検索した履歴を消去することができます。 • Googleアカウントの登録が必要です。

※1 Googleアカウントを設定した場合に表示されます。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦／横画面表示を自動で切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替えることができます。

1 ステータスバーを下にスライド

2 [画面の自動回転]

設定がオンになると、□（青色）になります。

◎ホーム画面で[▦]→[設定]→[画面設定]と操作し、「画面の自動回転」にチェックを入れるか、ホーム画面で[▦]→[設定]→[ユーザー補助]と操作し、「画面の自動回転」にチェックを入れても、自動的に画面表示を横向き／縦向きに切り替えることができます。
◎ホーム画面など、表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
◎地面に対して水平に近い状態で本端末の向きを変えても、自動で縦／横画面表示に切り替わりません。

マナーモードを設定する

1 ステータスバーを下にスライド→[サウンド]

「□」をタップするとバイブレーションに設定でき、「□」をタップするとミュート（着信音量0）に設定できます。「□」をタップするとマナーモードが解除されます。

◎ⓔ（1秒以上長押し）→[□]／[□]／[□]と操作しても、ミュート（着信音量0）／バイブレーション／OFF（マナーモード解除）を切り替えられます。
◎□の下を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブレーション／ミュート（着信音量0）にすることもできます。
◎本製品では、マナーモード設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声は、消音されませんのでご注意ください。
◎マナーモード設定中に、「着信音と通知音」（▶P.120）の音量を調節したり、□の上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法は、オプションメニューアイコン（⋮）をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：連絡先一覧画面で⋮をタップする場合

例：連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチする場合

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンなどが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンなどをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
□／□／□	設定がオンの状態です。
□／□／□	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。
選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。
チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

データを削除する

機能によって、表示される項目名や削除方法が異なる場合があります。

1件削除

例：連絡先を1件削除する場合

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]

2 削除する連絡先をロングタッチ

3 画面下部の[🗑]→[OK]

選択削除

例：連絡先を選択削除する場合

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]

2 [⋮]→[複数選択]

3 削除する連絡先にチェックを入れる

4 画面下部の[🗑]→[OK]

全件削除

例：連絡先を全件削除する場合

1 ホーム画面で[▦]→[連絡先]

2 [⋮]→[複数選択]

3 画面上部の[選択数:0]→[すべて選択]→画面下部の[🗑]→[OK]

「すべて選択」／「すべて選択解除」をタップすると、すべての連絡先を選択／選択解除できます。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

memo

◎ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示されている「 」をタップします。
◎ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーに が表示されます。
◎文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示され、テキスト上をドラッグしながら確認することができます。

入力方法を選択する

本製品では、入力方法（キーボード種別）を選択できます。

Google音声入力	音声入力する場合は選択します。
POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。

1 **ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語と入力]**

2 **[現在の入力方法]**

3 **[日本語　POBox Touch（日本語）]／[外国語キーボード]**

memo

◎文字入力中にステータスバーを下にスライド→[入力方法の選択]→[Google音声入力]／[日本語　POBox Touch（日本語）]／[外国語キーボード]と操作しても、入力方法を選択できます。
◎お買い上げ時は入力方法として「中国語キーボード」を選択できません。中国語キーボードを使用する場合は、ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語と入力]と操作し、「中国語キーボード」にチェックを入れます。

ソフトウェアキーボードについて

POBox Touch（日本語）では、12キー、QWERTY、50音、手書きかな、手書き漢字の5種類のソフトウェアキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

ソフトウェアキーボードや設定の変更

1 **文字入力画面→「あA」をロングタッチ**

手書き漢字入力の場合は「 」をタップします。

2 **[ ]／[ ]／[半全]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]／[ ]**

:POBox Touch（日本語）の設定画面を表示
:利用できるプラグインアプリの一覧を表示
半全:半角／全角を切り替え
:ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更（横画面と手書き漢字入力は除く）
:ソフトウェアキーボードを非表示
:12キーキーボードを表示
:QWERTYキーボードを表示
:50音キーボードを表示
:手書きかな入力を表示
:手書き漢字入力を表示

memo

◎お買い上げ時は、縦画面は12キーキーボード、横画面はQWERTYキーボードに設定されています。入力サポートとして、「予測変換」「自動大文字変換」「入力ミス補正」などがオンに設定されています。
◎ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって異なります。

◎手順2で「 」をタップすると、ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更できます。大きさを変更するには青色の枠をドラッグします。位置を変更するにはドラッグして移動します。変更したソフトウェアキーボードを初期状態に戻すには「リセット」をタップします。

12キーキーボードでの文字入力

1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられたキーボードを使用して文字を入力します。入力時はフリック入力やトグル入力を使用します。

《12キーキーボード》

アイコン	機能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／aの順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA（ロングタッチ）	ポップアップメニューを表示します。 :POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 :プラグインアプリの一覧を表示 半全（全角）／半全（半角）：全角／半角切り替え :ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更（横画面と手書き漢字入力は除く） :ソフトウェアキーボードの非表示 ／／／／:ソフトウェアキーボード切り替え
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123（ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英数文字やカタカナの変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
🎤（ロングタッチ）	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
逆順	1つ前の文字を表示（逆順）します。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補（ロングタッチ）	ひらがな漢字入力時にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。※3
全角／全角	数字入力時に表示され、半角／全角に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 メールアカウントの登録画面や検索画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」「 」などが表示されます。
※3 オンライン辞書を設定するには、ひらがな漢字入力時に「候補」をロングタッチ→[OK]と操作し、「オンライン辞書」にチェックを入れるか、POBox Touch（日本語）の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れます（▶P.45「オンライン辞書を設定する」）。

■ フリック入力について

上下左右にフリックして各行の文字を入力できます。キーを繰り返しタップすることなく、文字を入力できます。

例：「な」行を入力する場合

「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

上にフリック ぬ　そのままタップ
左にフリック に ← な → ね 右にフリック
の 下にフリック

memo

◎大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、「大⇔小」／「A⇔a」をタップまたはフリックして行います。
◎フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、文字入力時に「あA」をロングタッチ→［ ］→［ソフトウェアキーボード設定］と操作し、「フリック入力」のチェックを外します。
◎フリック入力の感度を変更するには、文字入力時に「あA」をロングタッチ→［ ］→［ソフトウェアキーボード設定］→［フリック感度選択］と操作し、フリック入力感度を選択します。

■ トグル入力について

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

例：「あお」と入力する場合

① 「あ」を1回タップする
② 「 」をタップして「あ」を5回タップする

例：「ca」と入力する場合

① 「abc」を3回タップする
② 「 」をタップする
　アプリケーションによっては「A⇔a」をタップする場合があります。
③ 「abc」を1回タップする

memo

◎タップしたキーのハイライトが消えると、「 」をタップしなくても同じキーに配列された文字を続けて入力できます。
◎大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、「大⇔小」／「A⇔a」をタップして行います。
◎トグル入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、文字入力時に「あA」をロングタッチ→［ ］→［ソフトウェアキーボード設定］と操作し、「トグル入力」のチェックを外します。

QWERTYキーボードでの文字入力

一般的なパソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを使用して文字を入力します。日本語はローマ字で入力します。

《QWERTY キーボード》

アイコン	機能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／A／a／A／Aの順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA（ロングタッチ）	ポップアップメニューを表示します。 ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 （全角）／（半角）：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更（横画面と手書き漢字入力は除く） ：ソフトウェアキーボードの非表示 ／／／／：ソフトウェアキーボード切り替え
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字／記号」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123（ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
🎤（ロングタッチ）	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英字やカタカナの変換候補を表示します。
⇧／⇧／⇧	英字入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えます。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補（ロングタッチ）	ひらがな漢字入力時にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。※3
全角／全角	数字入力時に表示され、数字や記号などを半角／全角に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 メールアカウントの登録画面や検索画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」「 」などが表示されます。
※3 オンライン辞書を設定するには、ひらがな漢字入力時に「候補」をロングタッチ→［OK］と操作し、「オンライン辞書」にチェックを入れるか、POBox Touch（日本語）の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れます（▶P.45「オンライン辞書を設定する」）。

■ アシストキーボードを選択する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]→[ソフトウェアキーボード設定]→[アシストキーボード選択]

2

ワイド	入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。
ハイライト	入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。
ダイナミック	次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。
ノーマル	キーの幅を均等に表示します。「表示キー選択」(▶P.41)の設定は無効となり、すべてのキーを表示します。

3 [決定]

■ キーボードに表示するキーを変更する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、使用頻度の低いキー(Q、X、Cなど)を表示しないようにできます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]→[ソフトウェアキーボード設定]→[表示キー選択]

2 表示しないキーのチェックを外す→[OK]

◎「アシストキーボード」(▶P.41)を「ノーマル」に設定している場合は、「表示キー選択」を選択できません。

■ キーボードをカスタマイズする

QWERTYキーボードで数字入力時に表示される記号を、お好みの文字/記号にカスタマイズできます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]→[ソフトウェアキーボード設定]→[キーボードカスタマイズ]

キーボードカスタマイズ画面が表示されます。

2 変更する記号をタップ→現在設定されている文字を削除してから表示する文字を入力→[OK]→[OK]

◎全角・半角に関わらず1文字だけ設定できます。
◎変更した内容をリセットするには、キーボードカスタマイズ画面→[ ]→[リセット]→[OK]と操作します。

50音キーボードでの文字入力

五十音順に並んだキーボードを使用して文字を入力します。

《50音キーボード》

アイコン	機能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに → ／ ／ ／ ／ ／ の順にステータスアイコンが表示されます。
／ (ロングタッチ)	ポップアップメニューを表示します。 :POBox Touch(日本語)の設定画面を表示 :プラグインアプリの一覧を表示 (全角)/ (半角): 全角/半角切り替え :ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更(横画面と手書き漢字入力は除く) :ソフトウェアキーボードの非表示 ／ ／ ／ ／ :ソフトウェアキーボード切り替え
	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字/小文字の切り替えや濁点/半濁点を付加します。
／	「ひらがな漢字/英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに ／ など→ ／ の順にステータスアイコンが表示されます。
／ (ロングタッチ)	半角記号/全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
	カーソル移動※1: 左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1: 右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
(ロングタッチ)	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
／ ／	英数入力時にタップすると、1文字のみ大文字/大文字/小文字を切り替えたり、入力できる記号の種類を切り替えます。
	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
(ロングタッチ)	ひらがな漢字入力時にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。※3
	横画面時に表示され、半角記号/全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 メールアカウントの登録画面や検索画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」「 」などが表示されます。
※3 オンライン辞書を設定するには、ひらがな漢字入力時に「 」をロングタッチ→[OK]と操作し、「オンライン辞書」にチェックを入れるか、POBox Touch(日本語)の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れます(▶P.45「オンライン辞書を設定する」)。

手書きかな入力での文字入力

手書きかな入力画面を指でなぞることで、ひらがな、英字、数字、一部の記号を手書きで入力します。

《手書きかな入力》

アイコン	機能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／aの順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA（ロングタッチ）	ポップアップメニューを表示します。 [設定]：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 [プラグイン]：プラグインアプリの一覧を表示 半全（全角）／半全（半角）：全角／半角切り替え [サイズ]：ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更（横画面と手書き漢字入力は除く） [キーボード]：ソフトウェアキーボードの非表示 [切替]／[切替]／[切替]／[切替]／[切替]：ソフトウェアキーボード切り替え
大⇔小	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
A⇔a	英字入力時に表示され、大文字／小文字を切り替えます。
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123（ロングタッチ）	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、入力したかな文字に割り振られた英数文字やカタカナの変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
[左]	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
[右]	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
[改行]	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
[削除]	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
[スペース]	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
[マイク]	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力する文字列をタップします。
[マイク]（ロングタッチ）	POBox Touch 徹底ガイド内の手書きかな入力の使い方ガイドが起動し、手書きかな入力の詳しい使い方を閲覧できます。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補（ロングタッチ）	ひらがな漢字入力時にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。※3
[顔]	数字入力時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 メールアカウントの登録画面や検索画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」「[検索]」などが表示されます。
※3 オンライン辞書を設定するには、ひらがな漢字入力時に「候補」をロングタッチ→［OK］と操作し、「オンライン辞書」にチェックを入れるか、POBox Touch（日本語）の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れます（▶P.45「オンライン辞書を設定する」）。

memo

◎ 初めて手書きかな入力で文字を入力する場合は、入力方法を読んで、「OK」をタップします。
◎ 入力した文字を消去せずに、そのまま次の文字を入力できます。
◎ 濁点や半濁点は、手書きかな入力画面の右上に入力してください。
◎ 句読点や小文字は、手書きかな入力画面の中央より下側に入力してください。
◎ 英字入力時は、手書きかな入力画面の下側の横罫線を基準に入力してください。

手書き漢字入力での文字入力

手書き漢字入力画面を指でなぞることで、入力モードを切り替えずに、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、一部の記号を手書きで入力します。

《手書き漢字入力》

アイコン	機能
[メニュー]	ポップアップメニューを表示します。 [設定]：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 [プラグイン]：プラグインアプリの一覧を表示 半全（全角）／半全（半角）：全角／半角切り替え [キーボード]：ソフトウェアキーボードの非表示 [切替]／[切替]／[切替]／[切替]／[切替]：ソフトウェアキーボード切り替え
[顔]／[顔]※1	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。
[顔]（ロングタッチ）	POBox Touch 徹底ガイド内の手書き漢字入力の使い方ガイドが起動し、手書き漢字入力の詳しい使い方を閲覧できます。
[顔]※1（ロングタッチ）	文字入力時にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。※2
[マイク]	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
[マイク]（ロングタッチ）	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
[スペース]	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
直変換	文字入力時に直変換候補を表示します。
候補	文字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
[左]	カーソル移動※3：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
[右]	カーソル移動※3：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
[削除]	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
[改行]	変換確定前は「確定」と表示され※4、入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。

※1 文字入力時に表示されます。
※2 オンライン辞書を設定するには、文字入力時に「[顔]」をロングタッチ→［OK］と操作し、「オンライン辞書」にチェックを入れるか、POBox Touch（日本語）の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れます（▶P.45「オンライン辞書を設定する」）。
※3 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※4 メールアカウントの登録画面や検索画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」「[検索]」などが表示されます。

memo

◎初めて手書き漢字入力で文字を入力する場合は、入力方法を読んで、「OK」をタップします。
◎文字入力画面で[ ]→[ ]→[ソフトウェアキーボード設定]と操作し、「自動スクロール」にチェックを入れると、手書き漢字入力画面の右側にグレーのエリアが表示され、そのエリアまで文字を入力すると、自動的に入力するエリアが左へスクロールします。「自動スクロール」のチェックを外している場合は、手書き漢字入力画面の「 」をタップして入力するエリアをスクロールします。
◎濁点や半濁点は、手書き漢字入力画面の中央より上側に入力してください。
◎句読点や小文字は、手書き漢字入力画面の中央より下側に入力してください。
◎文字入力時に入力した文字の左上のアイコンをタップすると、入力した文字に対する候補が表示されます。水色で表示されている文字が認識されている文字になります。変換候補の下に表示されている色は文字の種類を示し、緑色はひらがな、黄色は漢字、橙色はカタカナ、紺色は英字、紫色は数字、水色は記号であることを示します。
◎2文字以上を入力した後に左上のアイコンをタップすると、 が表示されます。「 」をタップすると、入力した2文字を1つの文字に結合することができます。
◎文字入力時に「 」をタップすると、入力した文字を削除できます。

文字入力中のメニューを利用する

メールや連絡先などの文字入力中に編集したい文字をダブルタップすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示され、入力した文字の選択、コピー、切り取り、貼り付けなどの操作が行えます。

例：入力した文字を切り取り／コピーして貼り付ける場合

1 文字入力を確定した後に編集したい文字をダブルタップ

2 「 」／「 」をドラッグして切り取り／コピーする範囲を選択

「 」をタップすると、入力した文字列全体を選択できます。

3 [ ]（切り取り）／[ ]（コピー）

4 貼り付ける位置でロングタッチして[貼り付け]

テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップし、[ ]→[貼り付け]と操作します。
「 」をタップすると、コピーまたは切り取った文字列を貼り付けし、「 」をタップすると、編集メニューを終了します。

◎編集メニューのアイコンは、アプリケーションにより異なります。
◎横画面ではテキストの編集メニューが表示されない場合があります。

文字入力の設定をする

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語と入力]

2 「Google音声入力」／「POBox Touch（日本語）」／「中国語キーボード」／「外国語キーボード」の[ ]

各入力方法の設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

◎設定できる項目は、入力方法により異なります。
◎文字入力中にステータスバーを下にスライド→[入力方法の選択]→[入力方法の設定]と操作し、各入力方法の「 」をタップしても設定画面が表示されます。
◎お買い上げ時は「中国語キーボード」の「 」を利用できません。中国語キーボードの設定をするには、手順2で「中国語キーボード」にチェックを入れてから「 」をタップします。

POBox Touch（日本語）を設定する

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語と入力]→「POBox Touch（日本語）」の[ ]

POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。

2

ソフトウェアキーボード設定	モード別キーボード保持	縦画面／横画面ごとに、かな／英字／数字の各入力モードに対して、最後に使用したキーボードの種類（12キーキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボード／手書きかな入力／手書き漢字入力）を保持できます。
	キーボードサイズ調整	ソフトウェアキーボードの大きさや位置の調整方法を表示します。
	アシストキーボード選択	▶P.41「アシストキーボードを選択する」
	表示キー選択	▶P.41「キーボードに表示するキーを変更する」
	キーボードカスタマイズ	▶P.41「キーボードをカスタマイズする」
	フリック入力	フリック入力を利用するかどうかを設定します。
	フリック感度選択	フリック入力時の感度を設定します。 ・「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
	トグル入力	フリック入力時にトグル入力を利用するかどうかを設定します。 ・「フリック入力」をオンにしていない場合は、選択できません。
	自動スクロール	手書き漢字入力時に入力するエリアが自動的に左へスクロールするかどうかを設定します。
	キー操作音	キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。 ・音量は、音設定の音量の「着信音と通知音」（▶P.120）と連動しています。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	バイブレーションの強さ	スライダを左右にドラッグしてキーをタップしたときの振動の強さを設定します。 ・「キー操作バイブ」をオンにしていない場合は、選択できません。
	キーポップアップ	タップしたキーの拡大表示やフリックのガイドを表示するかどうかを設定します。
	候補表示行数（縦画面）	縦画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。 ・お買い上げ時の表示行数は2行に設定されています。
	候補表示行数（横画面）	横画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。 ・お買い上げ時の表示行数は2行に設定されています。
入力サポート	予測変換	予測変換機能を使って、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示するかどうかを設定します。 ・予測変換候補内で画面下部に向かってフリックすると、予測変換候補の表示領域が拡大され、ソフトウェアキーボードが非表示となります。予測変換候補の下に表示される「前候補」／「次候補」／「確定」をタップして、入力したい文字を選択・確定できます。ソフトウェアキーボードを表示させたいときは、「戻る」または「 」をタップします。 ・ひらがな漢字入力時（手書き漢字入力の場合は文字入力時）に、変換候補内で「直変」をタップすると直変換候補が表示され、「予測」をタップすると予測変換候補が表示されます。

入力サポート	自動大文字変換	半角英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にして入力するように設定します（手書きかな入力と手書き漢字入力を除く）。 ・「自動大文字変換」をオンにしている場合でも、文頭の文字が大文字にならない場合があります。
	入力ミス補正	QWERTYキーボードまたは50音キーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示するかどうかを設定します。 ・「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。
	自動スペース入力	英語予測候補選択時に入力文字の後ろに自動でスペースを入力するかどうかを設定します（手書き漢字入力を除く）。 ・「予測変換」をオンにしていない場合は、選択できません。 ・メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。
キセカエキーボード選択		ソフトウェアキーボードの外観を変更します。 ・ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。ダウンロードしたキセカエキーボードによっては本製品に対応していない場合があります。 ・ダウンロードしたキセカエキーボードを削除するには、ホーム画面で[ ]→[設定]→[アプリ]→「ダウンロード」タブで削除したいキセカエキーボードを選択→[アンインストール]→[OK]→[OK]と操作します。
プラグインアプリの管理		▶P.44「プラグインアプリを追加する」
辞書と学習	日本語ユーザー辞書	▶P.45「ユーザー辞書に登録する」
	英語ユーザー辞書	
	学習辞書	▶P.45「学習辞書を設定する」
	オンライン辞書	▶P.45「オンライン辞書を設定する」
	バックアップと復元	ユーザー辞書と学習辞書に保存された内容を、内部ストレージにバックアップしたり、必要なときに復元したりできます。 ・復元に失敗した場合は、本製品内の辞書は初期化されますが、再度操作することによって復元することができます。
POBox Touch 徹底ガイド		基本から応用まで、高機能なPOBox Touch（日本語）を詳しく解説したガイドを閲覧できます。また、プラグインアプリやキセカエキーボードの紹介サイトから最新の情報を取得できます。 ・手書きかな入力画面で「 」をロングタッチすると、POBox Touch 徹底ガイド内の手書きかな入力の使い方ガイドが起動し、手書き漢字入力画面で「 」をロングタッチすると、手書き漢字入力の使い方ガイドが起動します。

memo

◎POBox Touch（日本語）の設定画面を表示するには、文字入力画面で「 」をロングタッチ（手書き漢字入力の場合は「 」をタップ）→[ ]と操作しても表示できます。また、文字入力中にステータスバーを下にスライド→[入力方法の選択]→[入力方法の設定]と操作し、「POBox Touch（日本語）」の「 」をタップしても表示できます。

プラグインアプリを利用する

文字入力時に定型文や連絡先などのプラグインアプリを使用したり、利用するプラグインアプリをインストールして追加することができます。

memo

◎プラグインアプリの一覧を表示するには、文字入力画面で「 」をロングタッチ（手書き漢字入力の場合は「 」をタップ）→[ ]と操作します。また、文字入力画面で「 」をロングタッチしても表示されます（手書きかな入力を除く）。

「定型文」を利用する

「定型文」は、あらかじめ「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の5つのカテゴリーに分けて保存されています。カテゴリーや定型文を新規追加したり、削除したりして編集できます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]

手書き漢字入力の場合は[ ]→[ ]と操作します。

2 [定型文]→カテゴリーを選択→定型文を選択

■ カテゴリーを追加して定型文を登録する

新しいカテゴリーを作成し、定型文を登録します。

1 ホーム画面で[ ]→[ツール]→[定型文]

定型文のカテゴリー一覧画面が表示されます。

2 [ ]→[カテゴリー追加]→カテゴリー名称を入力→[OK]

3 [新規追加]→定型文を入力→[OK]

memo

◎定型文のカテゴリー一覧画面で各カテゴリーをタップすると、登録されている定型文の一覧が表示されます。定型文をタップして、編集／削除できます。
◎定型文のカテゴリー一覧画面→[ ]→[初期化]→[OK]と操作すると、定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

「連絡先引用2.3」を利用する

連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]

手書き漢字入力の場合は[ ]→[ ]と操作します。

2 [連絡先引用2.3]→「連絡先」タブをタップ

3 引用する連絡先を選択

画面上部の検索ボックスに名前や読みを入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。

4 引用する項目にチェックを入れる→[OK]

「すべて選択」／「すべて選択解除」をタップすると、すべての項目を選択／解除できます。

memo

◎「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先が表示されます。

プラグインアプリを追加する

文字入力時に利用するプラグインアプリをインストールして追加できます。

1 文字入力画面→「 」をロングタッチ→[ ]

手書き漢字入力の場合は[ ]→[ ]と操作します。

2 [プラグインアプリの管理]→[OK]

プラグイン設定画面が表示されます。

3 [新規プラグインのダウンロード]

アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップすると、POBoxプラグイン一覧の画面が表示されます。

基本操作

4 プラグインアプリを選択→画面の指示に従って操作

◎プラグイン設定画面でチェックの入っているプラグインアプリは、文字入力画面で起動することができます。

辞書を利用する

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変換候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」と「英語ユーザー辞書」の2種類があります。

1 文字入力画面→「[あA]」をロングタッチ→[[×]]

手書き漢字入力の場合は[[⊞]]→[[×]]と操作します。

2 [辞書と学習]

3 [日本語ユーザー辞書]/[英語ユーザー辞書]

4 [[⋮]]→[追加]

5 「読み」の入力欄に入力

6 「語句」の入力欄に入力→ソフトウェアキーボードの[完了]

7 [保存]

◎ユーザー辞書に登録できる文字数は「読み」「語句」ともに、全角・半角に関わらず最大50文字まで、登録できる件数は最大500件となります。
◎日本語ユーザー辞書に登録した語句は、12キー/QWERTY/50音/手書きかなのひらがな漢字入力時と、手書き漢字入力時に変換候補として表示されます。
◎英語ユーザー辞書に登録した語句は、12キー/QWERTY/50音/手書きかなの英字入力時に変換候補として表示されます。手書き漢字入力時は変換候補に表示されません。

学習辞書を設定する

変換候補から選択した語句を学習し、文字入力時に優先的に変換候補に表示します。

1 文字入力画面→「[あA]」をロングタッチ→[[×]]

手書き漢字入力の場合は[[⊞]]→[[×]]と操作します。

2 [辞書と学習]→[学習辞書]

3 「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる

◎手順3で[学習辞書リセット]→[削除]と操作すると、学習辞書に保存した内容をリセットします。
◎すでに学習した語句を学習履歴から個別に削除するには、変換候補の中から削除する語句をロングタッチ→[削除]と操作します。

オンライン辞書を設定する

ひらがな漢字入力時(手書き漢字入力の場合は文字入力時)にオンライン辞書を起動して変換候補に表示します。

1 文字入力画面→「[あA]」をロングタッチ→[[×]]

手書き漢字入力の場合は[[⊞]]→[[×]]と操作します。

2 [辞書と学習]→[オンライン辞書]

3 「オンライン辞書」にチェックを入れる

メッセージが表示されたら、内容をご確認のうえ「同意する」をタップします。

◎ひらがな漢字入力時に「[候補]」をロングタッチ(手書き漢字入力の場合は文字入力時に「[☺]」をロングタッチ)するとオンライン辞書を起動できます。

USBキーボード/Bluetooth®キーボード

本製品にUSBキーボードまたはHID(Human Interface Device)プロファイルに対応したBluetooth®キーボードを接続して、文字を入力できます。

■ 日本語配列キーボードを使用する場合

1 USBキーボードまたはBluetooth®キーボードを本製品に接続後、ステータスバーを下にスライド→[キーボードレイアウトの選択]

ステータスバーに通知が表示されない場合は、ホーム画面で[[▦]]→[設定]→[言語と入力]と操作します。

2 本端末に接続中のUSBキーボード名またはBluetooth®キーボード名をタップ

3 [キーボードレイアウトの設定]→[日本語]

日本語配列キーボードが設定されます。[⌂]などをタップして設定を終了します。

◎HIDプロファイルに対応したBluetooth®キーボードでも、機器によっては利用できない場合や正常に動作しない場合があります。
◎本製品のステータスバーに[⌨]が表示された後に、USBキーボードまたはBluetooth®キーボードで文字を入力してください。ステータスアイコンが表示されない場合は、文字入力欄をタップしてください。
◎日本語配列のUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「半角/全角」キーを押すと、ローマ字かな入力と英字入力を切り替えることができます。英字配列キーボードの場合は、「 ` 」キー(グレーブキー)を押すと切り替えることができます。
◎予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「Tab」キー/「↓」キーを押すと、本製品の予測変換候補内の語句を選択できます。
◎予測変換候補内の語句を選択していない状態で、USBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「Space」キーを押すと、本製品の予測変換候補を直変換候補に切り替えることができます。
◎接続したUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードからテキストの編集ができます。本製品のテキストの編集については、「文字入力中のメニューを利用する」(▶P.43)をご参照ください。
- 「Ctrl」キーと「A」キーを押すと、入力したテキストをすべて選択します。
- 「Shift」キーと「←」キー、または「Shift」キーと「→」キーを押すと、入力したテキストをカーソル位置から部分的に選択します。
- 「Ctrl」キーと「X」キーを押すと、選択した文字列を切り取ります。
- 「Ctrl」キーと「C」キーを押すと、選択した文字列をコピーします。
- 「Ctrl」キーと「V」キーを押すと、コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。

◎予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「無変換」キーを押すと、本端末の予測変換候補を英数カナ変換候補に切り替えることができます。
◎予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「Shift」キーと「Alt」キーを押すと、本製品のオンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch(日本語)の設定画面から「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
◎文字入力欄と変換候補欄の間に、現在の変換状態(予測変換/直変換/英数カナ変換/オンライン辞書)を表示し、変換候補の選択方法を表示します。
◎変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetooth®キーボードの「ファンクション」キーを押すと、ひらがな/カタカナ/英字に変換できます。
- 「F6」キーを押すと、ひらがなに変換します。
- 「F7」キーを押すと、全角カタカナに変換します。
- 「F8」キーを押すと、半角カタカナに変換します。
- 「F9」キーを押すと、全角英字に変換します。
- 「F10」キーを押すと、半角英字に変換します。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[ ]

電話番号入力画面が表示されます。
電話番号が未入力の状態で「発信」をタップすると、通話履歴の最後に発信した電話番号が入力されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力します。
電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴に部分一致する電話番号が表示されます。
：入力した数字を1桁削除
（ロングタッチ）：すべての数字を削除
「メッセージを送信」をタップするとSMS作成画面が表示されます。
「連絡先に追加」をタップすると連絡先の登録画面が表示されます。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に を押すと、通話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。

memo

◎送話口をおおっても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。相手の方にこちらの声を聞こえないようにするには、マイクをオフ（▶P.48）にします。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
	通話中に連絡先一覧を表示します。アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
	ハンズフリーで通話できます。タップすると になり、スピーカーから相手の方の声が聞こえるようになります。再度タップすると元に戻ります。
	マイクをオフにします。タップすると になり、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。再度タップするとこちらの声が聞こえるようになります。
	追加する電話番号を入力して連絡先に登録したり、三者通話サービス（▶P.133）に加入している場合は電話をかけることができます。
通話終了	通話を終了します。

履歴を利用して電話をかける

通話履歴から電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[ ]

電話番号入力画面に通話履歴が表示されます。
：発信
：着信
：不在着信
同じ連絡先に対して連続した履歴がある場合は、履歴の件数が表示されます。
「 > 」をタップすると通話詳細画面が表示されます。

2 電話をかける履歴を選択

選択した連絡先に発信されます。

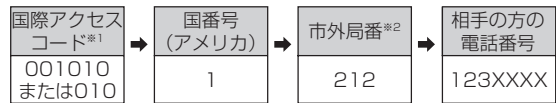
memo

◎通話履歴をロングタッチすると、番号を編集したり、履歴を削除するなどの操作が行えます。
◎通話詳細画面から、番号を連絡先に追加したり、SMSの作成などができます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

◎通話設定（▶P.119）で「国番号表示（日本在圏時）」にチェックを入れると、電話発信時に国番号一覧が表示されます。地域番号（市外局番）＋相手の電話番号を入力→[発信]と操作し、国番号一覧から相手の国を選択すると国際アクセスコードと国番号が自動的に付加され、国際電話をかけることができます。
◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00
◎海外へ電話を転送できます（▶P.129「海外の電話へ転送する」）。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 着信中に「 」(左)を「 」(右)までドラッグ

通話を開始します。

2 通話→[通話終了]

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や相手の方の電話番号または連絡先に登録されている名前などが表示されます。タップすると、電話番号入力画面が表示されます。
不在着信が1件の場合は、「発信」と「メッセージ」が表示される場合があります。「発信」をタップすると、着信のあった相手の方に電話をかけます。「メッセージ」をタップすると、SMS作成画面が表示されます。「発信」と「メッセージ」は、通知パネル内の通知状況により表示されない場合があります。

着信時に着信音/バイブレータを消すには

◎着信時に または を押すと、着信音やバイブレータを消すことができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像を設定しているときは、画像が画面に表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に「非通知」などの理由が表示されます。

着信を拒否する

1 着信中に「 」(右)を「 」(左)までドラッグ

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

自分の電話番号を確認する

連絡先一覧画面の最上部に「自分の連絡先」が表示されます。また、ここから名前やメールアドレスなど、自分の連絡先を編集できます。

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

連絡先一覧画面が表示されます。

2 [自分の連絡先]

自分の電話番号が表示されます。

◎「 」をタップすると連絡先を編集できます。編集できる項目については、「連絡先を編集する」(▶P.77)をご参照ください。
◎「自分の連絡先」には、複数の電話番号、メールアドレスなどを登録できます。
◎「Eメール( )」アプリケーションでPCメールアドレスを設定すると、「自分の連絡先」に表示されます。

電話

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.52)。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.65)。

■ PCメール

「Eメール(✉)」アプリケーションを利用して、Exchange ActiveSyncアカウントや一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます(▶P.67)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます(▶P.69)。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎Eメールは海外でもご利用になれます。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの初期設定について

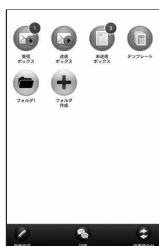
◎初期設定は、「ネットワークモード」を「日本LTE/CDMA」/「日本CDMA」に設定し、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「ただいまメール設定を行っています。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
◎Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.63)をご参照ください。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 **ホーム画面で[✉]**

2 **[切替]**

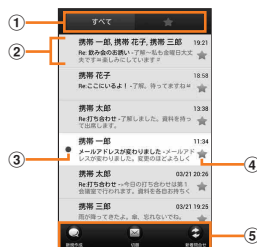
表示モードが切り替わります。

《会話モード》　《フォルダモード》

memo

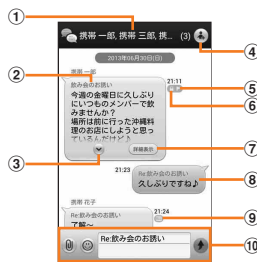
◎本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。

《スレッド一覧画面》

① **すべて表示/お気に入り表示切替ボタン**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
② **スレッド**
③ **●(赤色):新着Eメールあり**
●(青色):未読Eメールあり
④ **★(黄色):お気に入り**
★(灰色):お気に入り解除
⑤ **アクションバー**

■ スレッド内容表示画面の見かた

《スレッド内容表示画面》

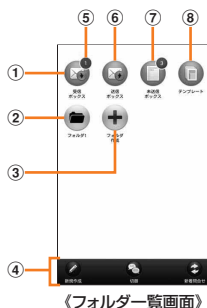
① **スレッド名称(相手先)**
連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。
② **受信したEメール**
③ **続き表示ボタン**
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは「⌃」をタップします。
④ **宛先一覧表示ボタン**
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
⑤ **フラグ付きEメール**
⑥ **保護されたEメール**
⑦ **詳細表示ボタン**
Eメール詳細表示画面を表示します。
⑧ **送信したEメール**
⑨ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。
⑩ **メール作成バー**

⑪ **件名入力欄**
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
⑫ **絵文字ボタン**
絵文字を入力するときに使用します。
⑬ **添付ボタン**
データを添付するときに使用します。

⑭ 送信ボタン
⑮ 本文入力欄

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面の見かた

フォルダ一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《フォルダ一覧画面》

① 受信ボックス
② フォルダ
③ フォルダ作成
④ アクションバー
⑤ フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
⑥ 送信ボックス
⑦ 未送信ボックス
⑧ テンプレート

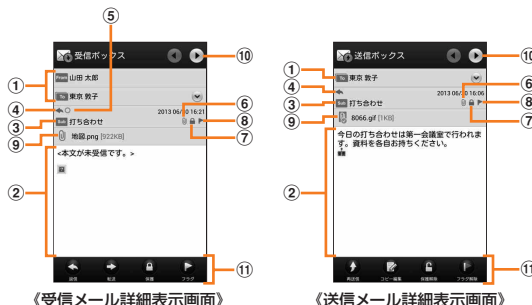
■ Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》　《送信メール一覧画面》

《未送信メール一覧画面》　《フォルダメール一覧画面》

① 宛先／差出人の名前またはメールアドレス
メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
※連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。
② 件名
③ 添付データあり
④ 保護されたEメール
⑤ フラグ付きEメール
⑥ ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
⑦ ：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
⑧ ：返信のEメール
：転送のEメール
⑨ 送信に失敗したEメール／サーバーに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール
⑩ アクションバー
⑪ 受信／送信切替スライダ
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。
⑫ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

memo
◎横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた

《受信メール詳細表示画面》　《送信メール詳細表示画面》

① 受信メール
From：差出人の名前またはメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはメールアドレス
送信メール
To／CC／BCC： 宛先の名前またはメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。「 」をタップすると、その他のメールアドレスを表示できます。
② 本文表示エリア
③ Sub：件名
④ 受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
送信メール
：返信のEメール
：転送のEメール
⑤ ○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
⑥ 添付データあり
⑦ 保護されたEメール
⑧ フラグ付きEメール
⑨ ：通常添付（本体メモリ保存）
：通常添付（ストレージ保存）
：通常添付（保存失敗）
：インライン添付（本体メモリ保存）
：インライン添付（ストレージ保存）
：未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。「 」をタップすると、その他の添付データを表示できます。
⑩ 前のEメール／次のEメールを表示
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のEメール／次のEメールを表示することもできます。
⑪ アクションバー

Eメールを送信する

1 ホーム画面で[ ]

2 [新規作成]

宛先入力画面が表示されます。
- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、手順6へ進みます。

3 [ ]

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4

アドレス帳引用	連絡先のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリを「auスマートパス」の「アプリを探す」からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用／メール送信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 **メールアドレスにチェックを入れる→[選択]** • [ ]→[削除]→メールアドレスにチェックを入れる→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※1	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

6 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

7 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

8 [ ]→[送信]

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 [ ]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.54)の手順4をご参照ください。
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 [件名を入力]→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー(長音) ﾞ(濁点) ﾟ(半濁点)、。･「」』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.62)。
◎フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の[ ]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.54)の手順4へ進みます。
「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレス入力欄の[ ]→[OK]

memo

◎フォルダモードでは入力済みのアドレスの「 」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2

ストレージ	ファイル種別を選択して内部ストレージまたはmicroSDメモリカードのデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	アルバムの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	アルバムの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎添付データを削除するには、削除する添付データの「 」をタップします。
◎フォルダモードではリサイズすることはできません。

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2 [D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたは内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 **[microSD]→[ダウンロード]**

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文入力中にできること

1 **スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→[⋮]**

2

検索	▶P.57「Eメールを検索する」 • 会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.62)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 • フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 • フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます(デコレーションメール)。

1 **フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力**

2 **[装飾]**

3 **装飾の開始位置を選択→[選択開始]→「⇦」/「⇨」で終了位置を選択**

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存された画像やアルバムの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 **[完了]→[送信]→[送信]**

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
◎本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.54)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎手順4で[⋮]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。
◎会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 **送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力**

2 **[速デコ]**

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 **[確定]**

memo

◎装飾結果プレビュー画面で[⋮]→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 **フォルダ一覧画面→[テンプレート]**

テンプレート一覧画面が表示されます。
[⋮]→[ストレージから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたは内部ストレージ内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 **テンプレートをタップ→[メール作成]**

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定で「基本通知設定」（▶P.63）または「個別通知設定」（▶P.63）にてオフにすることができます。

- 端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- 画面ロック解除画面上に通知ポップアップを表示することができます。

《通知ポップアップ》

- ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
  ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で［ ］

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには ●（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには ●（青色）が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- 確認するEメールをロングタッチ→［詳細表示］と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.62）をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」（▶P.62）をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り[E]が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.57）の操作を行い、Eメールを受信してください。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 添付データをタップ→［表示］

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。受信完了後、もう一度添付データをタップ→［表示］と操作してください。

memo

◎添付データをタップ→［ストレージへ保存］→保存先を選択→［保存］と操作すると、添付データを内部ストレージまたはmicroSDメモリカードに保存できます。
◎通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。
◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージまたはmicroSDメモリカードに保存できます。

1 スレッド内容表示画面→本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存する画像にチェックを入れる

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 ［保存］

選択した画像が内部ストレージ、またはmicroSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。※1

※1 本製品では保存したデータは内部ストレージ（/storage/sdcard0/private/au/email/MyFolder）、またはmicroSDメモリカード（/storage/sdcard1/private/au/email/MyFolder）に保存されます。

memo

◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください（▶P.56）。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のメールアドレスをタップ

3

Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。 アプリケーション選択画面が表示された場合は、メールを作成するアプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加※1	選択したメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **［新規振分けフォルダ作成］／［「×××」（×××はフォルダ名）に追加］→［保存］** • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.60「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.64「迷惑メールフィルターを設定する」

※1 フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ→［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。

au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.65「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3

開く	選択したURLのページを表示します。 アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

◎本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.62)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で[ ]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

◎スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で[ ]

2 [ ]→[検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [ ]／ソフトウェアキーボードの[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダー覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

■ 検索結果を絞り込む場合

5 [From]／[To]／[件名]／[本文]

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で[ ]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。
• 新着Eメールがあるスレッドには ●（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには ●（青色）が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→[ ]

2

件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
検索	▶P.57「Eメールを検索する」
削除	選択したスレッドをすべて削除します。 **削除するスレッドにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • スレッド内のEメールはすべて削除されます。 • 「全選択」ですべてのスレッドを選択することもできます。 • スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 • 削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
Eメール設定	▶P.61「Eメールを設定する」

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2

検索	▶P.57「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	インライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 **ホーム画面で[ ]→[切替]**

フォルダー覧画面が表示されます。
受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます。（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります。）

■ 受信メールを確認する場合

2 **[受信ボックス]／フォルダを選択**

受信メール一覧画面が表示されます。

3 **Eメールをタップ**

受信メール詳細表示画面が表示されます。
[返信]：返信のEメールを作成
[転送]：転送のEメールを作成
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 **[送信ボックス]／フォルダを選択**

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 **Eメールをタップ**

送信メール詳細表示画面が表示されます。
[再送信]：同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]：コピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 **[未送信ボックス]**

未送信メール一覧画面が表示されます。
送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 **Eメールをタップ**

未送信メール詳細表示画面が表示されます。
[送信]：宛先が入力されているEメールを送信
[編集]：Eメールを編集
[コピー編集]：保護されたEメールをコピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

memo

◎ 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎ 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎ 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎ 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→[ ]**

2

項目		説明
検索		▶P.57「Eメールを検索する」
移動		Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを入れる→[移動]→移動先のフォルダを選択** ・あらかじめフォルダを作成してください（▶P.60）。 ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除		Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを入れる→[削除]→[削除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 ・保護されたEメールは選択できません。
保護／解除		Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールにチェックを入れる→[保護]／[解除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ		Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを入れる→[つける]／[解除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードに、挿入されていない場合は内部ストレージに保存します。 **保存するEメールにチェックを入れる→[保存]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.64）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.60「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を取得するEメールにチェックを入れる→[受信]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.61「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 **受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ**

2

項目		説明
返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.60）。
拒否リスト登録		選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.64「迷惑メールフィルターを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 **受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面→[⋮]**

2

項目		説明
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.60）。
削除		Eメールを削除します。
本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップ、または「⇦」／「⇨」でカーソルを移動→[選択開始]→「⇦」／「⇨」で選択範囲を指定→[コピー]** • Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をダブルタップ→「」／「」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードに、挿入されていない場合は内部ストレージに保存します。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.64）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。 アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。

※画面により選択できる項目は異なります。

フォルダ一覧画面でできること

1 **フォルダ一覧画面→[ ]**

2

検索		▶P.57「Eメールを検索する」
フォルダ編集		▶P.60「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除		選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け		現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定		▶P.61「Eメールを設定する」
au one メール※1	au one メールTop	au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。 アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
	au one メールへ自動保存	Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。 **[次へ]→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→[OK]→画面に従って設定**

※1 au one メールは、2013年9月30日をもってサービス終了予定です。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 **フォルダ一覧画面→[フォルダ作成]**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力→各項目を設定→[保存]**

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

2 **[ ]**

3 **アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]**

■ フォルダ画像を設定する場合

2 **[ ]→[ギャラリーから写真を選択]**

3 **画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]**

◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 **フォルダ一覧画面→[ ]→[フォルダ編集]→フォルダを選択**

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を設定する場合

2 **[振分け条件追加]→[ ]**

3

メールアドレス	メールアドレスを振分け条件に登録します。 **メールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、メールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 **「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→[保存]**

◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「 」をタップして、条件を編集したり、削除することができます。
◎ 振り分けの対象となるメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>･･･>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、通知LEDの色を設定できます。

1 フォルダ一覧画面→[ ]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダを選択

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDの色を設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、画面ロック解除画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	

4 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.61)。

1 フォルダ一覧画面→[ ]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]／フォルダを選択

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並び替える

1 フォルダ一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する場所までドラッグ

memo

◎作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを設定する

1 ホーム画面で[ ]

2 [ ]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3

受信･表示設定	▶P.62「受信･表示に関する設定をする」	
送信･作成設定	▶P.62「送信･作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.63「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.63「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※1	保存場所の設定	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 **本体メモリに保存**：本体メモリに保存する。 **ストレージに保存**：内部ストレージに保存する。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**：本体メモリから内部ストレージに移動する。 **本体メモリへ一括移動**：内部ストレージから本体メモリに移動する。
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 **パスワードを入力→[OK]** • 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更･その他の設定	▶P.63「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ･復元	▶P.64「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

※1 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.56)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[受信・表示設定]

2

項目		説明
メール自動受信		サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する。 • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[ ]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信※2	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定		Eメールアプリの画面デザインを設定します。
背景画像設定	背景画像(縦画面)／背景画像(横画面)	背景画像を設定します。 **[設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]** アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。
※2 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、[ ]→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

2

項目	説明
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称(全角12／半角24文字まで)を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[ ]→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[ ]→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 • 会話モードでご利用の場合、チェックを入れてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]**

2

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	Eメール受信時の通知LEDの色を設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。 「差出人･件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、画面ロック解除画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	

個別の通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]**

2 **[新規設定]**

3 **[アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択→[選択]**

4

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	Eメール受信時の通知LEDの色を設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、画面ロック解除画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.56「Eメールを受信する」	

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 **Eメール設定画面→[アドレス変更･その他の設定]→[接続する]**

2

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]** ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	**オススメの設定はこちら** ▶P.64「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをバックアップすることができます。また、バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

memo

◎本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/strage/sdcard1/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合は内部ストレージ（/strage/sdcard0/private/au/email/BU）に保存されます。

Eメールをバックアップする

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。

1. **Eメール設定画面→［バックアップ・復元］**
2. **［バックアップ］→［OK］**
3. **バックアップするボックス／フォルダを選択**
   ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
4. **［OK］**

バックアップデータを復元する

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されているバックアップデータを復元できます。

1. **Eメール設定画面→［バックアップ・復元］**
2. **［メールを復元］**
3. **復元するメール種別を選択→［OK］**
4. **復元するバックアップデータにチェックを入れる→［OK］**
   「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
   「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
   「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
5. **［追加保存］／［上書き保存］→［OK］**
   「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付されたデータもバックアップできます。
※バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付メールを削除した上で再度バックアップを行ってください。
◎シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にした上でバックアップ、復元の操作を行ってください。
◎シークレット機能を有効にしてバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされませんのでご注意ください。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールをサーバ転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1. **Eメール設定画面→［アドレス変更・その他の設定］→［接続する］**

■ おすすめの設定にする場合

2. **［オススメの設定はこちら］→［登録］**
   なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2. **［迷惑メールフィルター］→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］**
3.

オススメ一括設定	1.オススメ設定		とにかく迷惑メールでのお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	2.携帯メールのみ受信		パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	個別設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
		迷惑メールおまかせ規制	メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
		なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（中）（低）の3つの設定があります。 ※指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することもできます。
		HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。
		URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。
		ウィルスメール規制	メールサーバーで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染されている場合に、受信規制を行います。
		拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかしないかを設定することができます。
	指定受信リスト設定		個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックを外してOFF（受信拒否）にしてください。 ※指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。
	指定拒否リスト設定		個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	アドレス帳受信設定		Friends Noteもしくはau アドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
設定確認／解除			迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。

PC設定用ワンタイムパスワード発行	パソコンからメールフィルターを設定する場合のパスワードを発行します。 ▶P.65「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
◎指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし･転送メール許可)に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話･PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからの迷惑メールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字･ひらがな･カタカナ･英数字･記号･絵文字･顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [ ]

SMS作成画面が表示されます。
• 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

「 」をタップすると、連絡先から相手先電話番号を選択して入力することもできます。
• 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
「0」「1」「0」＋国番号＋相手先電話番号
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。
• 「 」をタップすると絵文字を入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると送信結果を確認できます。

memo

◎メッセージ作成中に をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
◎SMSセンターは、以下の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、以下の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。
◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに が表示される場合があります。
◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で[▦]→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。
◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎スレッド内容表示画面で「 」をタップすると相手先に電話をかけることができます。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

■返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

「 」をタップし、連絡先から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 [電話]／[SMS]

アプリケーションを選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
「電話」を選択した場合、電話番号入力画面が表示され、選択した電話番号が入力されます。
「SMS」を選択した場合、SMS作成画面が表示されます。

■本文中のメールアドレスを利用する場合

2 本文中のメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択

アプリケーションを選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
メール作成画面が表示されます。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリケーションを選択

アプリケーションを選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
URLのページが表示されます。

memo

◎本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります（▶P.67）。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [⋮]→[アドレス帳への登録]

連絡先の登録画面が表示されます。「連絡先を新規登録」または追加する連絡先をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」（▶P.76）の手順3以降をご参照ください。

- スレッド一覧画面で登録する相手先の[ ]→[はい]と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[🔍]→[メッセージの検索]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 ソフトウェアキーボードの[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

■1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [⋮]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [ ]→[削除]

■すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSの設定を行う

1 ホーム画面で[▦]→[SMS]

2 [⋮]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3

項目	説明
通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[プリセットから選択]／[SDカードから選択]→着信音を選択→[OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]
LED	SMS受信時に通知LEDを点滅するかどうかを設定します。

文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 **[特大]／[大]／[中]／[小]／[極小]→[OK]**
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名(全角20／半角45文字まで)を入力→[設定]**
受信フィルター	▶P.67「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したSMSの時間の左横にチェックを付けるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 **カラーを選択→[OK]**

memo

◎SMS設定メニュー→[⋮]→[初期値に戻す]と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 **SMS設定メニュー→[受信フィルター]**

2

指定番号	「指定番号リスト」で登録した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号を登録します。 **[指定番号を入力]→登録したい電話番号を入力→[追加]** •「 」をタップすると、連絡先から宛先を選択して入力できます。 •スレッド内容表示画面で[⋮]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録することができます。 •登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除したい電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 •電話番号は、最大10件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ぷりペイド送信含む)です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX(伝言お知らせ)、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。(お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。)

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※設定時のSMS送信は無料です。
※設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、メッセージに ⚠ が表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

• PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります(▶P.67「PCメールのアカウントを設定する」)。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

• 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
• PCメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプ(遠隔操作でデータを消去)を設定していると、本製品内のデータが消去される場合があります。

1 **ホーム画面で[ ]→[Eメール( )]**

2 **PCメールのメールアドレスとパスワードを入力→[次へ]**

自動的にメールサーバーの設定が行われます。
設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウントのタイプを選択してアカウントを手動で設定します。

3 **必要な項目を設定→[次へ]**

4 **入力欄にアカウント名とあなたの名前を入力→[次へ]**

設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎「あなたの名前」はメールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名称です。
◎Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、Eメールに表示される名前を設定することはできません。Eメールの初期設定が終わった後、Eメールアカウントの設定の「名前」(▶P.68)から設定してください。

別のPCメールアカウントを設定する

複数のPCメールアカウントを登録できます。

1 **受信トレイ画面→画面上部の[▾]→[アカウントを追加]**

2 **PCメールのメールアドレスとパスワードを入力**

必要に応じて、「いつもこのアカウントでEメールを送信」にチェックを入れます。

3 **[次へ]**

設定を完了できない場合は、「手動セットアップ」をタップし、アカウントを手動で設定します。

4 **必要な項目を設定→[次へ]**

5 **入力欄にアカウント名とあなたの名前を入力→[次へ]**

追加登録したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎複数のPCメールアカウントを設定している場合、画面上部の[▾]→[全アカウント]と操作すると、設定しているすべてのアカウントの受信メールが「統合受信トレイ」として表示されます。
◎画面上部の「 ▾ 」をタップして設定したアカウントを選択すると、選択したアカウントのみの受信トレイ画面が表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 受信トレイ画面→[ ]→[設定]

2 設定を変更するアカウントをタップ

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	メール作成時に挿入することができる定型文を登録します。
優先アカウント	チェックを入れると、PCメールアカウントが複数設定されている場合に、メールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメールの受信確認頻度※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
自動ダウンロード※2	無線LAN(Wi-Fi®)接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
Eメール受信通知	メール受信時、ステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
通知音	メール受信時の通知音を設定します。
バイブレーション	メール受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
通知ライト	メール受信時に通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
送信サーバー設定	
アカウントの削除	▶P.68「PCメールのアカウントを削除する」

※1 「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。
※2 Gmailのメールアカウント(@gmail.com)を設定した場合に表示されます。

memo

◎Exchange ActiveSyncアカウントでは、「外出中の自動返信設定」「同期するEメールの期間」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」なども設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定不要です。

PCメールのアカウントを削除する

1 受信トレイ画面→[ ]→[設定]

2 削除するアカウントをタップ

3 [アカウントの削除]→[OK]

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面→[ ]

優先アカウント以外のPCメールアカウントからメールを送る場合は、受信トレイ画面→画面上部の[ ]→メールを作成するアカウントをタップ→[ ]と操作します。

2 [宛先]→宛先のメールアドレスを入力

「 」をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択できます。
CcまたはBccを追加するには、[ ]→[Cc/Bccを表示]と操作し、Cc欄またはBcc欄にメールアドレスを入力します。
複数の宛先を入力する場合は、カンマで区切って次のメールアドレスを入力します。

3 [件名]→件名を入力

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

添付ファイルを追加するには、「 」をタップします。

5 [ ]

memo

◎受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
◎メール作成中に他の画面に遷移すると、自動的に下書き保存します。
◎PCメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
◎PCメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末でパソコンからのメール受信を拒否する設定を行っていると、メールを受信できません。

PCメールを受信する

1 受信トレイ画面→[ ]

複数のPCメールアカウントを設定している場合は、画面上部の「 」をタップし、受信するPCメールのアカウントをタップします。

2 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。

memo

◎PCメールのアカウント設定(▶P.68)で「Eメール受信通知」にチェックを入れ、「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいメールの受信をお知らせする がステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にスライドして受信したメールを確認できます。
◎PCメールのアカウント設定(▶P.68)で「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信を利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。
◎受信したメールのメールアドレスをタップすると、連絡先に登録することができます。
◎受信トレイ画面で「 」をタップすると「 」(黄色)のスターが付き、メールが「スター付き」フォルダに追加されます。メール詳細画面でスターを付けるには[ ]→[スターを付ける]と操作します。「スター付き」フォルダを確認するには、受信トレイ画面→画面上部の[ ]→[すべてのフォルダを表示]→[スター付き]と操作します。
◎複数のメールにスターを付けるには、受信トレイ画面でスターを付けたいメールにチェックを入れて、画面右下の「 」をタップします。

■ 添付ファイルを保存する

1 受信トレイ画面→添付ファイル付きのメールをタップ

2 [ ]

添付ファイルのリストが表示されます。
添付ファイルがダウンロードされていない場合は、「読込」をタップします。

3 保存するファイルの[保存]

「表示」や「再生」をタップして添付ファイルを表示したり、再生することもできます。

■ 受信トレイ画面の表示を変更する

プレビュー画面をオンに設定して受信トレイ画面で本製品を横向きにすると、メール本文のプレビューを表示することができます。横画面表示に切り替えるには、あらかじめ画面の自動回転をオンに設定する必要があります(▶P.38「縦/横画面表示を自動で切り替える」)。

1 受信トレイ画面→[ ]→[設定]→[全般]

2 [プレビュー画面]

3

OFF	プレビューは表示されません。
ON(横画面時のみ利用可)	横画面時に受信トレイ画面が分割され、選択したメールの本文のプレビューが表示されます。

memo

◎複数のPCメールアカウントを設定している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

PCメールを返信／転送する

1 受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールをタップ

2 [ ]→[返信]／[全員に返信]／[転送]

転送する場合は、転送先のメールアドレスを入力します。

3 本文を入力

4 [ ]

◎メールを返信または転送すると、返信または転送元のメールの内容が引用されます。元のメールの内容の引用を削除するには、「引用あり」のチェックを外します。
◎メールを転送すると、元のメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、「 × 」をタップします。

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面→削除するメールをタップ

2 [ ]→[削除]

memo

◎複数のメールを削除するには、受信トレイ画面→削除するメールにチェックを入れる→[ ]→[削除]と操作します。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。
- Googleアカウントを設定した後、Gmailを同期していない場合は、「アカウントは未同期」画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で[ ]→[Gmail]

アカウント設定したGmail受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎Gmail受信トレイ画面→[ ]→[ラベルの設定]と操作すると、受信トレイの同期と通知設定画面が表示されます。
◎Gmail受信トレイ画面→[ ]と操作すると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。
◎Gmail受信トレイ画面で「 」をタップするとメニュー項目が表示され、設定やヘルプなどの操作が行えます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期して、受信トレイを更新します。

1 Gmail受信トレイ画面→[ ]

受信トレイが更新されます。

memo

◎自動で更新するには、Gmail受信トレイ画面→[ ]→[設定]→自動更新するアカウントを選択→[Gmail同期: OFF]→「データの自動同期」にチェックを入れ、自動更新するアカウントを選択して「Gmailを同期」にチェックを入れてください。

Gmailを送信する

1 Gmail受信トレイ画面→[ ]

2 [To]→宛先を入力

CcまたはBccを追加するには、[ ]→[Cc／Bccを追加]と操作し、Cc欄またはBcc欄にメールアドレスを入力します。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成]→本文を入力

添付ファイルを追加するには、[ ]→[画像を添付]／[動画を添付]と操作し、添付するファイルを選択します。

5 [ ]

◎メール送信前に をタップすると、下書きが保存されます。

Gmailを確認する

1 Gmail受信トレイ画面→受信したメールをタップ

メール

Gmailを返信／転送する

1 **Gmail受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールをタップ**

■ 返信する場合

2 **[ ]**

全員に返信する場合は、[ ]→[全員に返信]と操作します。

3 **[メールを作成]→本文を入力**

元のメールの内容を引用するには、「引用返信」をタップします。

4 **[ ]**

■ 転送する場合

2 **[ ]→[転送]**

3 **[To]→宛先を入力**

4 **[メールを作成]→本文を入力**

転送元のメールの内容を引用するには、「引用返信」をタップします。

5 **[ ]**

memo

◎ 横画面の場合は手順2で「 」(全員に返信)／「 」(転送)をタップします。

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。
- パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.72「パケット通信を利用する」)
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能(▶P.114「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]→[高度な設定]→[LTE NET for DATA接続]→[OK]と操作してください。

◎LTE フラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
auお客さまサポート
https://cs.kddi.com/
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面で[ ]
ブラウザ画面が表示されます。

◎ホーム画面で[▦]→[Chrome]と操作してもインターネットに接続できます。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でウェブページを閲覧できます。
- **タップ**:リンクやキーを選択／実行できます。
- **スライド／フリック**:ページをスクロールできます。
- **ピンチアウト／ピンチイン**:ページを拡大／縮小できます。
- **ダブルタップ**:タップした位置を拡大／縮小できます(ウェブページによっては操作できない場合があります)。

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ
アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

2 URLまたは検索する文字を入力
入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択
入力した文字を直接検索するには、ソフトウェアキーボードの「実行」をタップします。

memo

◎手順2でアドレスバーの「 」をタップすると、検索語句を音声で入力し、ウェブページを検索できます。
◎前のページに戻るには をタップします。

タブを利用する

ウェブページを表示中に新しいタブを開き、最大16のタブを表示することができます。

■ 新しいタブを開く

1 ブラウザ画面→[ ]→[ ]
アイコンが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。
新しいタブが開き、ホームページに設定したウェブページが表示されます。

■ タブを切り替える

1 ブラウザ画面→[ ]→表示するタブをタップ

■ タブを閉じる

1 ブラウザ画面→[ ]→閉じるタブの[ ]

memo

◎閉じるタブを左右にフリックしてもタブを閉じることができます。

インターネット

■ ウェブページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→[⋮]→[ページ内を検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する文字を入力

文字を入力すると、一致する文字が青色でハイライト表示されます。「∧」/「∨」をタップすると、前後の一致項目に移動します。

memo

◎検索バーを閉じるには「✓」をタップします。

■ ウェブページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→コピーするテキストをロングタッチ

2 「●」/「●」をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択

選択されたテキストは青色でハイライト表示されます。

3 [□]

テキストがコピーされると、「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

memo

◎コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先のテキストボックスをロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
◎テキストを選択できないウェブページもあります。

■ ウェブページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像/画像を含むリンクをロングタッチ

2 [画像を保存]

memo

◎ダウンロードした画像は、ホーム画面で[▦]→[アルバム]と操作して確認できます。また、「ダウンロード」アプリケーションからも確認できます。

■ ウェブページの表示を自動調整する

画面に合わせてウェブページの表示やサイズを自動調整します。

• お買い上げ時は、「ページの自動調整」にチェックが入った状態になっています。

1 ブラウザ画面→[⋮]→[設定]

2 [高度な設定]→「ページの自動調整」にチェックを入れる

リンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 リンクをタップ

リンクが青色でハイライト表示され、リンク先のページへ移動します。

memo

◎リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクを保存、URLをコピーなどの操作が行えます。また、画像や画像を含むリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、画像の保存や壁紙に設定などの操作が行えます。
◎ブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
◎Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマーク/履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→[⋮]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

memo

◎ブラウザ画面→[≡]→[☐]と操作しても、ブックマーク画面が表示されます。

ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面→ブックマークに登録するウェブページを表示する

2 [⋮]→[ブックマークに保存]

3 必要に応じてラベルなどの項目を編集→[OK]

memo

◎履歴からもブックマークに登録できます。ブックマーク画面→[履歴]→各履歴の[☆]→項目を編集→[OK]と操作すると、★に変わり、ブックマークに登録されます。
◎ブックマーク画面でブックマークをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

履歴を確認する

1 ブックマーク画面→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ

3 確認するURLをタップ

よく閲覧するウェブページを確認するには、「よく見るサイト」をタップします。

memo

◎ブラウザ画面で[↩]をロングタッチしても、履歴画面を表示できます。

履歴を削除する

1 履歴画面→削除する履歴をロングタッチ→[履歴から削除]

memo

◎履歴をすべて削除するには、ブラウザ画面→[⋮]→[設定]→[プライバシーとセキュリティ]→[履歴削除]→[OK]と操作します。

ブラウザを設定する

ブラウザの表示やコンテンツに関する設定、プライバシーとセキュリティの設定などを行うことができます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 ブラウザ画面→[⋮]→[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更

memo

◎ブラウザ設定画面→[全般]→[ホームページを設定]→[現在のページ]と操作すると、表示されているウェブページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは新しいタブを開くと表示されます。
◎キャッシュなどの一時インターネットファイルを削除するには、ブラウザ設定画面で「プライバシーとセキュリティ」の各項目を設定してください。

ツール・アプリケーション

連絡先

連絡先を登録する

連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、SNSの更新情報を表示したりすることもできます。

memo

◎ 連絡先に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ アカウントの同期設定(▶P.123)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください)。

1 ホーム画面で[ ]→[連絡先]

連絡先一覧画面が表示されます。
初めて連絡先を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、au Micro IC Card (LTE)や内部ストレージなどから連絡先を読み込んだり、Googleアカウントなどと本製品の連絡先の同期を行うことができます。
「完了」をタップすると、連絡先をご利用になれます。

2 [ ]

3 [本体連絡先]/[(Googleアカウント)]

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体連絡先」に保存されます。

4 名前を入力

5 必要に応じて他の項目を入力

電話番号やメールアドレス、着信音などを設定できます。
「フィールドを追加」をタップして項目を増やすことができます。

6 [完了]

memo

◎「ふりがな(姓/名)」を登録した場合、連絡先一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。

■ 連絡先一覧画面

① 画面切替タブ
　連絡先/電話/お気に入り/グループタブを切り替えます。
② 自分の連絡先
③ 連絡先に登録された名前
④ 新しい連絡先の追加アイコン
⑤ 検索アイコン(▶P.78)
⑥ 検索バー
　名前を五十音順、アルファベット順などで検索します。
⑦ Facebookの更新情報
⑧ Googleトークオンライン状況※1
⑨ オプションメニューアイコン

※1 使用状況によりGoogleトークのオンライン表示と異なる場合があります。

連絡先を利用する

連絡先の登録内容を利用して、電話をかけたり、メールを送信したりできます。

連絡先から電話をかける

1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

2 電話番号をタップ

登録したメールアドレスにメールを送る

1 連絡先一覧画面→メールを送る連絡先をタップ

2 [ ]/メールアドレスをタップ

アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」/「今回のみ」をタップします。
「 」をタップするとSMSを作成できます。
メールアドレスをタップするとメールを作成できます。

連絡先を送信する

登録した連絡先や自分の連絡先の情報を、Bluetooth®機能やメール添付、赤外線通信などを利用して送信できます。

1 連絡先一覧画面→連絡先をロングタッチ

2 送信する連絡先にチェックを入れる

3 [ ]

■ Bluetooth®機能を利用する場合

4 [Bluetooth]

送信先の機器を検索します。
Bluetooth®機能がオフになっている場合は、「ONにする」をタップします。

5 送信先の機器をタップ

■ メールに添付する場合

4 [Eメール( )]/[Gmail]/[Eメール( )]

「Eメール( )」を設定していない場合、「Eメール( )」をタップするとEメール設定画面が表示されます。画面に従って設定してください。
「Eメール( )」アプリケーションにPCメールアカウントを登録している場合に「Eメール( )」が表示されます。

5 メールを作成して送信

■ 赤外線通信を利用する場合

4 [赤外線通信]

送信先の機器に赤外線ポートを向かい合わせると送信を開始します。
複数の連絡先を送信する場合は、認証パスコードの入力が必要になります。認証パスコードは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
赤外線通信について詳しくは、「赤外線の利用について」(▶P.112)をご参照ください。

memo

◎ 連絡先の送信が可能なアプリケーションをダウンロードした場合、手順3で「 」をタップすると、連絡先の送信方法としてアプリケーション名が表示されますが、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

連絡先のショートカットを利用する

連絡先一覧画面で写真（画像）部分をタップしてショートカットを表示し、電話をかけたり、メールを作成したりできます。

ショートカット	説明
	電話番号をタップし、登録した電話番号に電話をかけます。 「 」をタップするとSMSを作成できます。
	メールアドレスをタップし、アプリケーションを選択してメールを作成します。 • アプリケーションを選択後、「常時」／「今回のみ」を選択します。 • 「Eメール（ ）」アプリケーションにアカウントを設定している場合は、 が表示されます。
写真（画像）	連絡先の情報フィルター画面を表示します。

memo

◎ショートカットを使って、登録した住所から地図を表示するなどの機能を利用することもできます。
◎連絡先一覧画面で写真（画像）部分以外をタップすると、ショートカットは表示されず、情報フィルター画面が表示されます。

連絡先を編集する

一度登録した連絡先を修正します。

1 連絡先一覧画面→編集する連絡先をタップ

2 [ ]

連絡先編集画面が表示されます。

3 項目を選択して編集

電話番号やメールアドレス、着信音などを設定できます。
「フィールドを追加」をタップして項目を増やすことができます。

4 [完了]

連絡先の着信音を設定する

1 連絡先編集画面→着信音の項目をタップ→[サウンドピッカー]

アプリケーション選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。

2 着信音を選択→[完了]

着信音を選択すると、選択した曲が再生されます。
「 」をタップすると、お買い上げ時に登録されている着信音以外の音を設定できます。

3 [完了]

◎アプリケーション選択画面で「メディアストレージ」や「LISMO Player」を選択しても着信音を設定できます。

連絡先の画像を設定する

1 連絡先編集画面→[ ]

連絡先によっては画像のアイコンが異なる場合があります。

■画像をアルバムから選択して設定する場合

2 [アルバム]→[アルバム]／[ファイルコマンダー]

アプリケーション選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
「ファイルコマンダー」を選択した場合は、画像が含まれているフォルダをタップします。

3 登録する画像をタップ→連絡先の画像として登録する部分に青色の枠をドラッグ→[トリミング]

4 [完了]

■写真を撮影して設定する場合

2 [新しい写真を撮影]→[カメラ]／[ピクチャーエフェクト]

アプリケーション選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
「ピクチャーエフェクト」を選択した場合は、撮影効果を選択します。

3 写真を撮影→連絡先の画像として登録する部分に青色の枠をドラッグ→[トリミング]

4 [完了]

◎写真の撮影方法について詳しくは、「静止画を撮影する」（▶P.81）をご参照ください。
◎トリミング方法について詳しくは、「画像をトリミングする」（▶P.83）をご参照ください。
◎「アルバム」アプリケーションからも画像を設定できます（▶P.84「画像を連絡先に登録する」）。

連絡先をリンクする

複数の連絡先として登録された連絡先を1つにリンクさせて、まとめることができます。

1 連絡先編集画面→[連絡先をリンク]

2 リンクさせる連絡先をタップ→[OK]

◎連絡先一覧画面→[ ]→[リンク候補を検索]→リンクさせる連絡先の[ ]→[完了]→[OK]と操作しても、連絡先のリンクができます。
◎リンクを解除するには、連絡先編集画面→[リンクを解除]→[OK]と操作します。

オートリンク機能について

保存先が異なり、同じ名前などで別々に登録された連絡先が、自動でリンクされて1つの連絡先にまとめられます。

■ オートリンクされる場合

姓名が一致する連絡先は、保存先（本体連絡先／Googleアカウントなど）の異なる連絡先が登録されている場合、リンクの候補が自動的に表示されます。
また、保存先（アカウント種別）が異なっていて、次のいずれかの内容で連絡先が登録されている場合もリンクの候補が自動的に表示されます。

• 姓／名を入れ替えて連絡先が登録されている
• 姓／名に分けずに、姓または名にだけ連絡先が登録されている
• 姓／名は異なるが、ふりがなの姓／名が一致している
• 姓／名と、ふりがなの姓／名が一致している
• 姓／名がなく、電話番号またはメールアドレスが一致している（類似した姓／名で登録された連絡先もオートリンクされる場合があります。）
• 次の内容で姓／名が連絡先に登録されている
 ･ 全角ひらがな／全角カタカナ／半角カタカナ
 ･ アルファベットの大文字／小文字
 ･ アクセント記号や発音記号の有無

連絡先をお気に入りに登録する

連絡先をお気に入りに登録することができます。連絡先一覧画面で「お気に入り」タブ（▶P.76）をタップすると、お気に入り登録した連絡先にすばやくアクセスできます。

1 連絡先一覧画面→お気に入りに登録する連絡先をタップ

2 名前の横の[ ]

 （黄色）に変わります。

◎「お気に入り」タブで画面下部の「 」をタップして連絡先を選択しても、お気に入りに登録できます。
◎お気に入りから削除するには、手順2で「 」（黄色）をタップします。

ツール・アプリケーション

連絡先をグループに登録する

連絡先をグループに登録することができます。連絡先一覧画面で「グループ」タブ(▶P.76)をタップすると、グループごとに連絡先を表示したり、Eメールを送信できます。

1 連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ

2 [ ]

3 [本体グループ]/[Google]

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体グループ」に保存されます。

4 グループ名入力欄をタップ→グループ名を入力

5 [メンバーを追加]→追加する連絡先にチェックを入れる

6 [完了]→[完了]

memo

◎ 既存のグループに連絡先を追加するには、「グループ」タブで既存のグループをタップ→[ ]→追加する連絡先にチェックを入れる→[完了]と操作するか、それぞれの連絡先の連絡先編集画面でグループの項目をタップし、グループを選択します。

◎ グループを編集/削除するには、「グループ」タブで編集/削除するグループをタップ→[⋮]→[グループを編集]/[グループを削除]と操作します。なお、お買い上げ時に設定されているグループは削除できません。

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→連絡先をロングタッチ

2 削除する連絡先にチェックを入れる

3 画面下部の[ ]→[OK]

memo

◎ 連絡先を個別に削除する場合は、連絡先一覧画面→削除する連絡先をタップ→[⋮]→[連絡先を削除]→[OK]と操作します。

連絡先を検索する

1 連絡先一覧画面→[ ]→検索する名前や読みを連絡先検索ボックスに入力

入力した文字で始まる連絡先が表示されます。

連絡先の表示を設定する

連絡先一覧画面に表示する情報を設定します。

連絡先の表示条件を変更する

連絡先一覧画面で[⋮]→[連絡先フィルター]と操作すると、表示条件を設定したり、アカウントごとの連絡先の表示/非表示を設定したりできます。

■ 表示条件

次の項目にチェックを入れて設定します。

項目	表示
電話番号のある連絡先のみ	電話番号を登録している連絡先のみを表示
オンラインの連絡先のみ	Googleトークでオンライン中の方の連絡先のみを表示

■ 表示/非表示の設定

連絡先の保存先やアカウント設定したSNS名をタップし、「他のすべての連絡先」や「すべての連絡先」などにチェックを入れると、同期している連絡先が表示されます。チェックを外すと表示されなくなります。

SNSの連絡先情報を表示する

SNSのアカウント設定を行っている場合、連絡先を同期させて、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報を表示することができます。また、各サービスのステータス更新情報を表示させることもできます。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[設定]

2 [アカウントと同期]

アカウントを設定していない場合は、「アカウントを追加」をタップして設定できます(▶P.124「アカウントを追加/削除する」)。

3 同期するアカウントをタップ

4 同期する項目をタップ

同期が完了すると、連絡先一覧画面にSNSに登録した連絡先情報が表示されます。

■ ステータス更新情報の表示/非表示を設定する

あらかじめ、アカウント設定したSNSのウィジェットをホーム画面に追加し、同期しておくことで、ステータス更新情報の表示/非表示を設定できるようになります。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[設定]

2 [ステータス表示設定]

3 ステータス更新情報を表示する項目をタップ

「すべて」をタップすると、すべてのサービスのステータス更新情報を表示できますが、1つの連絡先に複数のサービスアカウントがある場合は、ステータス更新の新しい方の更新情報が表示されます。
「OFF」をタップすると、ステータス更新情報を非表示に設定します。

memo

◎ ネットワークまたはSNSサーバーへの接続状況により、ホーム画面に追加したSNSのウィジェットに表示する情報を取得できない場合は、「ステータス表示設定」を設定できないことがあります。

連絡先をエクスポート/インポートする

連絡先をau Micro IC Card (LTE)やmicroSDメモリカード、内部ストレージなどへエクスポート/インポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がエクスポート/インポートされない場合があります。

エクスポートする

すべての連絡先をau Micro IC Card (LTE)やmicroSDメモリカード、内部ストレージなどへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[連絡先エクスポート]

2 [SIMカード]/[内部ストレージ]/[SDカード]→[OK]

外部ストレージを接続している場合は「USBストレージ」も選択できます。
「SIMカード」を選択した場合は、連絡先を選択して[エクスポート]→[連絡先を追加]/[連絡先を上書き]と操作します。

インポートする

au Micro IC Card (LTE)やmicroSDメモリカード、内部ストレージなどに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→[⋮]→[連絡先インポート]

2 [SIMカード]/[内部ストレージ]/[SDカード]

外部ストレージを接続している場合は「USBストレージ」も選択できます。

3 [本体連絡先]/[(Googleアカウント)]

Googleアカウントを設定していない場合は、「本体連絡先」に保存されます。

4 インポートするvCardファイルを選択→[OK]

ファイルの中に複数の連絡先がある場合は、すべて一度にインポートされます。
手順2で「SIMカード」を選択した場合は、連絡先を選択します。

カメラ

撮影ボタンまたは画面をタップするか、カメラキー（ ）を使用して静止画の撮影や動画の録画ができます。静止画撮影は、横向きと縦向きのどちらでも利用できます。スイングパノラマ撮影／動画撮影は横向きのみ利用できます。

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- 本製品は強い光が出ますので、フラッシュ／フォトライトを目に近づけて点灯させないでください。フラッシュ／フォトライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- お客様が本製品で撮影･録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用･改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影･録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

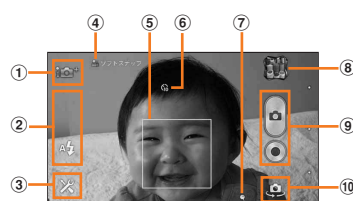
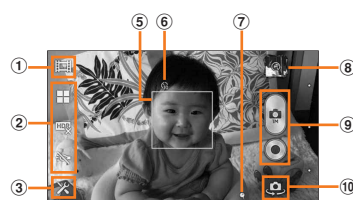
■ スイングパノラマのご注意

- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  - ・動きのある被写体がある場合
  - ・主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - ・空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - ・大きな被写体がある場合
  - ・波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。
  この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - ・カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  - ・ブレすぎた場合
  - ・カメラを撮影方向と逆に動かした場合

カメラを起動する

1 **（1秒以上長押し）**

本製品が振動し、撮影画面が表示されます。
カメラを閉じるには をタップします。
ホーム画面で［ ］→［カメラ］と操作しても撮影画面を表示できます。

カメラ画面の見かた

《静止画撮影画面》

《動画撮影画面》

① **撮影モードアイコン**

② **設定項目アイコン表示エリア**

最大で3つの設定項目アイコンが表示されます。アイコンをタップすると、設定を変更できます。
表示されるアイコンは設定した内容によって異なります（▶P.80「撮影画面設定項目」）。
アイコンを入れ替えたり、削除することもできます（▶P.81）。

③ **「設定」アイコン**

タップすると設定項目を表示します。

④ **シーン認識アイコン（静止画のみ）**

「撮影モード」（▶P.80）を「プレミアムおまかせオート」に設定している場合、 ソフトスナップなどの認識したシーンのアイコンや、カメラが固定されているか、または被写体が動いているかの状態アイコンが表示されます。

⑤ **オートフォーカス枠****（▶P.82）**

⑥ **セルフタイマーアイコン：**

（ON（10秒）） （ON（2秒）） 非表示（OFF）

⑦ **ジオタグアイコン：** （ON） 非表示（OFF）

⑧ **サムネイル表示**

撮影した静止画／動画がサムネイル表示されます。

撮影画面でサムネイルに触れたまま画面の左方向（撮影画面が縦向きの場合は上方向）に向かってスライドすると、最新5件分の撮影履歴を表示できます。

サムネイルをロングタッチすると、アイコンが表示され次の操作ができます（連写撮影ファイルを除く）。

：静止画／動画の再生画面を表示

：共有

：削除

サムネイルをタップすると、撮影した静止画／動画の再生画面が表示されます。

連写撮影ファイルのサムネイルには連写撮影枚数も表示されます。タップすると連写撮影した静止画の一覧画面が表示されます。

⑨ **撮影ボタン**

⑩ **フロントカメラ切り替えアイコン**

カメラの設定をする

1 撮影画面→[ ]／画面上の設定項目アイコンをタップ

設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。

2 設定項目を選択し、必要に応じて設定を変更

■ 撮影画面設定項目

設定項目		説明
撮影モード	プレミアムおまかせオート	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンとシーン名が表示されます。「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光＆人物」「夜景」「夜景＆人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」「赤ちゃん」「スポットライト」のシーンが認識されます。また、カメラが固定されているか（ ）被写体が動いているか（ ）の状態を検出するとアイコンが表示されます。
	ノーマル	標準的な撮影モードです。
	ビデオカメラ	▶P.82「動画を録画する」
	連写	を長く押し続けたり、撮影ボタン（ ）をロングタッチし続けることで連写撮影ができるモードです。
	ピクチャーエフェクト	静止画に設定する撮影効果を選択します。 「ノスタルジック」「ミニチュア」「カラフル」「フィルター」「魚眼レンズ」「スケッチ」「パートカラー」「ハリスシャッター」「万華鏡」
	スイングパノラマ	▶P.82「スイングパノラマを撮影する」
	シーンセレクション	▶P.80「シーン」
	フロントカメラ	▶P.82「フロントカメラを使用して撮影する」
	フロントビデオカメラ	▶P.82「フロントカメラを使用して録画する」

設定項目		説明
シーン		撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。撮影モードが「シーンセレクション」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 「美肌」「ソフトスナップ」 「人物ブレ軽減」「風景」「逆光補正HDR」「夜景＆人物」「夜景」「手持ち夜景」「高感度」 「料理」「ペット」「ビーチ」 「スノー」「パーティー」 「スポーツ」「ドキュメント」 「打ち上げ花火」 • 動画の場合は、「OFF」「ソフトスナップ」「風景」「夜景」「ビーチ」「スノー」「スポーツ」「パーティー」の設定ができます。
解像度※1	13MP 4:3／12MP 4:3	標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。 次のいずれかを設定した場合は解像度が12MPになります。 • 撮影モードで「プレミアムおまかせオート」を設定 • 撮影モードが「ノーマル」で「HDR」を「ON」に設定 • 撮影モードが「シーンセレクション」で「逆光補正HDR」を設定
	9MP 16:9	フルHDより高解像度です。ワイドスクリーンの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
	5MP 4:3	標準サイズの画面に表示するのに適しています。
	2MP 16:9	ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	VGA	縦横比4：3のVGA形式です。
ビデオ解像度※2	Full HD	縦横比16：9のフルワイドHD形式です（1920×1080ピクセル）。撮影モードが「ビデオカメラ」のときに利用できます。
	HD	縦横比16：9のHD形式です（1280×720ピクセル）。撮影モードが「ビデオカメラ」のときに利用できます。
	VGA	縦横比4：3のVGA形式です（640×480ピクセル）。
	QVGA	縦横比4：3のQVGA形式です（320×240ピクセル）。撮影モードが「フロントビデオカメラ」のときに利用できます。
フラッシュ※1		暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。 「自動」「強制発光」「赤目軽減」「OFF」
照明		暗い場所や逆光での撮影時に、フォトライトを点灯させるかどうかを設定します。撮影モードが「連写」「スイングパノラマ」「ビデオカメラ」のときに利用できます。 「ON」「OFF」
セルフタイマー		セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。 「ON（10秒）」「ON（2秒）」 「OFF」
スマイルシャッター※1		スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。検出した顔が、設定した笑顔のレベルになると自動的に撮影されます。 「大笑い」「笑顔」「ほほ笑み」 「OFF」

ツール・アプリケーション

設定項目	説明
クイック起動	クイック起動利用時の動作を設定します(▶P.82)。 「起動&静止画撮影」 「起動のみ(静止画)」 「起動&動画撮影」 「起動のみ(動画)」「OFF」
フォーカスモード	ピントの合わせかたを設定します。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 **シングルオートフォーカス**：撮影画面の中央に自動的にピントを合わせる **マルチオートフォーカス**：撮影画面の複数箇所にピントを合わせる **顔検出**：複数の顔(最大5人)を検出し、ピントを合わせる **タッチフォーカス**：撮影画面でタップした箇所にオートフォーカス枠を移動し、ピントを合わせる **追尾フォーカス**：被写体を追尾してピントを合わせる • 動画の場合は、「シングルオートフォーカス」「顔検出」「追尾フォーカス」から選択します。
明るさ(EV補正)	バーをタップまたはドラッグして明るさ(露出補正)を調整します。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。
HDR※1/HDRビデオ※2	ハイダイナミックレンジ撮影機能を設定します。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 **HDR** 「ON」「OFF」 **HDRビデオ** 「ON」「OFF」
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 「自動」「電球」「蛍光灯」 「太陽光」「曇り」
ISO※1	ISO感度を設定します。光量の少ない場所でも明るく、手ブレを軽減して撮影します。撮影モードが「ノーマル」のときに利用できます。 「自動」「100」「200」 「400」「800」「1600」
測光	画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 「中央」「平均」「スポット」
手ぶれ補正	撮影時の手ブレを軽減することができます。撮影モードが「ノーマル」または「ビデオカメラ」のときに利用できます。 「ON」「OFF」
ジオタグ	静止画/動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ(ジオタグ)を付けるかどうかを設定します。 「ON」「OFF」 • あらかじめ位置情報の設定を有効にする必要があります。位置情報の詳細については、「GPS機能を利用する」(▶P.95)をご参照ください。 • ジオタグの付加により、静止画/動画の撮影場所を特定できるようになります。 • 位置情報取得中はが表示されます。位置情報取得中に撮影をしても、ジオタグは付加されません。
自動アップロード※1	撮影した写真をau CloudまたはPlayMemories Onlineへ自動的にアップロードするかどうかを設定します。 「au Cloud」または「PlayMemories Online」をタップした場合は、それぞれの設定画面が表示されます。 PlayMemories Onlineへアップロードする場合、「PlayMemories Online」にチェックを入れ、以降は表示される画面の指示に従って操作してください。
マイク※2	録画時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
タッチ撮影	撮影画面をタップして撮影できます。 「ON」「OFF」
連写速度	連写撮影の速度を設定します。撮影モードが「連写撮影」のときに利用できます。 「高速」「中速」「低速」 • 連写速度によって解像度が異なります。
撮影方向	スイングパノラマの撮影方向を設定します。撮影モードが「スイングパノラマ」のときに利用できます。 「右」「左」「下」「上」
保存先	撮影した静止画/動画の保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」

※1 静止画撮影画面でのみ表示されます。
※2 動画撮影画面でのみ表示されます。

memo

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。
◎ 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを入れ替えるには、撮影画面→[]→表示された設定項目アイコンをロングタッチ→撮影画面の設定アイコン表示エリアの点線枠にドラッグします。削除するには、撮影画面の設定項目アイコンをロングタッチして、画面中央にドラッグします。
• 撮影モードを「連写」「ピクチャーエフェクト」「スイングパノラマ」に設定している場合は、設定項目アイコンの入れ替え/削除はできません。
• 撮影モードアイコンと「設定」アイコンは移動/削除できません。
◎ 保存先を「SDカード」に設定し連写撮影した場合、microSDメモリカードの書き込み速度によりコマ落ちが発生する場合があります。連写速度を「高速」、「中速」で快適にお使いいただくには保存先を「内部ストレージ」に設定してください。

静止画を撮影する

■ 撮影ボタンをタップして撮影する

1 **[] (1秒以上長押し)**

撮影画面が表示されます。
ホーム画面で[]→[カメラ]と操作しても撮影画面を表示できます。
[]：ズームを調整
撮影画面をピンチしてもズームを調整できます。

2 **撮影ボタン()をタップ**

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に設定した保存先(▶P.81)に保存されます。
撮影したデータは撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

■ 画面をタップして撮影する

1 **静止画撮影画面→[]→[タッチ撮影]→[ON]**

2 **画面をタップして撮影**

■ カメラキーを押して撮影する

1 **静止画撮影画面→[]**

「タッチ撮影」を「ON」に設定している場合でも、[]を押して撮影できます。

■ フロントカメラを使用して撮影する

1 静止画撮影画面→[ ]

撮影モードアイコンをタップ→[フロントカメラ]と操作してもフロントカメラに切り替えることができます。

2 静止画を撮影

memo

◎ フロントカメラの解像度は「VGA」です。解像度の変更はできません。
◎ 撮影モードを「フロントカメラ」「スイングパノラマ」に設定している場合は、ズームを使用できません。
◎ 静止画撮影画面で約3分間(「クイック起動」で起動した場合は約30秒間)何も操作しないと、カメラが終了します。

オートフォーカスロックについて

◎ 静止画撮影画面で[カメラ]を半押しすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が青色に変化してロック音が鳴り、そのまま[カメラ]を止まるまで押すと撮影されます。ロックできなかった場合、オートフォーカス枠は表示されません。
撮影ボタン( )で撮影する場合や「タッチ撮影」を「ON」に設定している場合は、撮影ボタン( )／画面をロングタッチするとフォーカスロックができます。指を離すと撮影されます。
◎「タッチ撮影」を「ON」に設定している場合は撮影モードが「ノーマル」「スイングパノラマ」のときに利用できます。

顔検出オートフォーカスについて

◎「フォーカスモード」(▶P.81)を「顔検出」に設定している場合は、撮影画面でカメラが最大5つの顔を自動的に検出し、顔の位置にオートフォーカス枠を表示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、そのうち1つをオートフォーカスの対象に選択します。選択された顔のフレームは黄色で表示され、自動的にピントが合わせられます。オートフォーカス枠をタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

オートフォーカス枠の移動操作について

◎「フォーカスモード」(▶P.81)を「タッチフォーカス」に設定している場合は、タップした箇所にオートフォーカス枠を移動できます。

スイングパノラマを撮影する

スイングパノラマを使用すると、ワイドなアングルのパノラマ撮影ができます。
画面の白枠と黒枠を合わせながらカメラを設定した撮影方向へゆっくりと動かして撮影します。

1 撮影画面→撮影モードアイコンをタップ→[スイングパノラマ]

必要に応じて、「撮影方向」や「照明」を設定します。

2 [カメラ]

画面に、白枠と大きい黒枠が表示されます。

3 白枠を大きい黒枠に合わせながらカメラを左から右へゆっくり動かす

スイングパノラマで撮影方向を変更した場合は、設定した方向へゆっくり動かして撮影します。
撮影が成功すると、撮影終了音が鳴り、撮影したデータが自動的に設定した保存先(▶P.81)に保存されます。
撮影したデータは撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

動画を録画する

■ 撮影ボタンをタップして録画する

1 [カメラ](1秒以上長押し)

撮影画面が表示されます。
ホーム画面で[ ]→[カメラ]と操作しても撮影画面を表示できます。
[◁ ▷]:ズームを調整
撮影画面をピンチしてもズームを調整できます。

2 撮影ボタン( )をタップ

録画開始音が鳴り、録画中画面が表示されます。

3 撮影ボタン( )をタップ

録画終了音が鳴り、録画したデータが自動的に設定した保存先(▶P.81)に保存されます。
録画したデータは動画撮影画面にサムネイル表示されます。サムネイル表示をタップすると確認できます。

■ 画面をタップして録画する

1 静止画撮影画面→撮影モードアイコンをタップ→[ビデオカメラ]

動画撮影画面が表示されます。

2 [ ]→[タッチ撮影]→[ON]

3 画面をタップして録画を開始

4 画面をタップして録画を停止

■ カメラキーを押して録画する

1 静止画撮影画面→撮影モードアイコンをタップ→[ビデオカメラ]

動画撮影画面が表示されます。

2 [カメラ]を押して録画を開始

3 [カメラ]を押して録画を停止

「タッチ撮影」を「ON」に設定している場合でも、[カメラ]を押して録画を開始／停止できます。

■ フロントカメラを使用して録画する

1 動画撮影画面→[ ]

撮影モードアイコンをタップ→[フロントビデオカメラ]と操作してもフロントカメラに切り替えることができます。

2 動画を撮影

memo

◎ 動画撮影時は、マイク(送話口)を指などでふさがないようにしてください。
◎ 撮影モードを「フロントビデオカメラ」に設定している場合は、ズームを使用できません。
◎ 動画撮影画面で約3分間(「クイック起動」で起動した場合は約30秒間)何も操作しないと、カメラが終了します。
◎ 動画撮影時のディスプレイの明るさは、「画面設定」の「画面の明るさ」(▶P.120)で調節した明るさとは異なる場合があります。
◎ 動画撮影画面(▶P.79)や動画撮影中に、撮影ボタンをタップすると写真を撮影できます。撮影される画像サイズは、ビデオ解像度の設定により異なります。
Full HD／HD:1メガピクセル(1280×720)、縦横比16:9
VGA:VGA形式(640×480)、縦横比4:3
QVGA:QVGA形式(320×240)、縦横比4:3

クイック起動を利用して撮影する

クイック起動を利用すると、他のアプリの起動中、または画面ロック解除画面やホーム画面などから、カメラを起動して撮影することができます。

1 [カメラ](1秒以上長押し)

お買い上げ時は「起動のみ(静止画)」に設定されているため、カメラが起動します。

memo

◎ 画面ロック解除画面でクイック起動アイコン(／)を左へドラッグしてもクイック起動できます。
◎ クイック起動の動作を変更するには、撮影画面から設定します。詳しくは、「クイック起動」(▶P.81)をご参照ください。

アルバムを利用する

アルバムを使って、画像やカメラで撮影した静止画／動画を閲覧･再生できます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.143)をご参照ください。
また、Media Goを使って本製品のmicroSDメモリカードや内部ストレージにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳しくは、「パソコンとデータのやりとりをする」(▶P.107)をご参照ください。

画像／動画を表示する

撮影した静止画／動画やパソコンから取り込んだ画像／動画を表示します。

1 ホーム画面で[▦]→[アルバム]

アルバム内の画像／動画データが時系列で一覧表示されます。
ピンチすると、表示を拡大／縮小することができます。
「マイアルバム」タブをタップすると、内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存された画像などがアルバムごとに表示されます。

memo

◎Facebook／Picasa／au Cloudなど同期可能なオンラインサービスにログインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムが「マイアルバム」タブに表示されます。
◎「マップ」アルバムをタップすると、ジオタグの付いた画像が地図上に表示されます。
◎連写撮影ファイルには▣が付与されています。
◎保存されている画像の枚数により、画面にすべての画像を読み込むのに時間がかかる場合があります。

画像／動画を共有する

画像／動画を複数選択して、オンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信したり、microSDメモリカードにコピーすることができます。

1 ホーム画面で[▦]→[アルバム]

2 [⋮]→[アイテムを選択]

画像／動画を青色の枠で選択されるまでロングタッチしても、データを選択することができます。

3 送信する画像／動画を選択

データをタップすると選択状態となり、もう一度タップすると、選択を解除します。
キャンセルする場合は「」をタップします。

4 [<]→送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法により異なります。

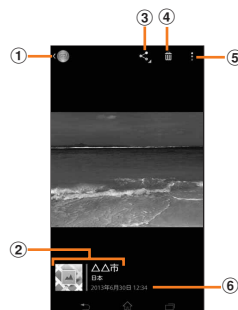
memo

◎画像／動画をmicroSDメモリカード(/storage/sdcard1/copied_data)にコピーするには、手順4で「SDカードにコピー」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
◎Facebook／Picasa／au Cloudなどのオンラインサービスへのアップロードが可能です。オンラインサービスのアカウントを設定していない場合は、転送方法でオンラインサービスを選択すると、設定ウィザードに従って設定できます。
◎共有可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またデジタル著作権管理(DRM)コンテンツは共有することができません。

画像を再生する

1 ホーム画面で[▦]→[アルバム]

2 画像をタップ

画像再生画面が表示されます。
連写撮影ファイルをタップした場合は、続けて画像をタップしてください。
画面をタップすると、撮影日時などの情報やアイコンなどが表示されます。

《画像再生画面》

① 画像の一覧に戻る
② 位置情報
ジオタグが付加された画像の場合は国名や地名が表示され、アイコンをタップすると地図上に画像が表示されます。
③ 共有メニューアイコン(▶P.83)
④ 画像の削除
⑤ オプションメニューアイコン
⑥ 画像の撮影日時

memo

◎Facebookのアルバムの画像再生画面では、Facebook上にコメントを投稿したり「いいね！」を付けることができます。

スライドショーを開始する

1 画像再生画面→[⋮]→[スライドショー]

memo

◎スライドショーを停止するには、画面をタップしてください。

画像を共有する

画像をオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信したり、microSDメモリカードにコピーすることができます。

1 画像再生画面→[<]

2 送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法により異なります。

memo

◎画像をmicroSDメモリカード(/storage/sdcard1/copied_data)にコピーするには、手順2で「SDカードにコピー」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
◎Picasaにアップロードする場合、本製品に設定したGoogleアカウントで行います。

画像をトリミングする

1 画像再生画面→[⋮]→[画像を編集]→[▣]→[トリミング]

2 トリミング枠を調整

トリミング枠を中央または外側に向かってドラッグするとサイズを変更できます。トリミング枠を画像の別の部分に移動させるには、枠の内側に触れたまま移動先までドラッグします。

3 [保存]

画像を壁紙に使用する

1 画像再生画面→[⋮]→[登録]→[壁紙]

必要に応じて画像をトリミング(▶P.83)してください。

2 [トリミング]

画像を連絡先に登録する

1 画像再生画面→[⋮]→[登録]→[連絡先の画像]→[連絡先]

アプリケーション選択後、「常時」/「今回のみ」をタップします。

2 登録する連絡先を選択

必要に応じて画像をトリミング(▶P.83)してください。
新規の連絡先に登録する場合は、「連絡先を新規登録」をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」(▶P.76)の手順3以降をご参照ください。

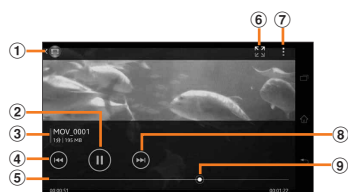
3 [トリミング]

動画を再生する

1 ホーム画面で[▦]→[アルバム]

アルバム内の画像/動画データが時系列で一覧表示されます。
動画データには ▶ が付与されています。

2 動画をタップ→[▶]→[ムービー]

アプリケーション選択後、「常時」/「今回のみ」をタップします。
動画再生画面が表示されます。

《動画再生画面》

① **動画再生前に戻る**
もう一度タップすると画像の一覧に戻ります。
② **再生/一時停止**
③ **動画ファイル名**
④ **巻き戻し**
再生中の動画の先頭へ巻き戻しします。
⑤ **プログレスバー**
⑥ **全画面表示/元のサイズで表示**
動画サイズが小さい場合に表示されます。
⑦ **オプションメニューアイコン**
⑧ **早送り**
再生中の動画の最後へ早送りします。
⑨ **マーカー(▶P.84)**

■ 再生中のキー操作

[音量キー]: 音量を調節

◎動画再生画面→[⋮]→[音設定]/[画面設定]と操作して音や画面を設定することができます。
◎アプリケーション選択画面で「LISMO Player」を選択しても動画を再生できます。

動画の再生位置を変える

1 動画再生画面→プログレスバーをタップ/マーカーを右または左にドラッグ

マーカーが移動し、再生位置を変更できます。

動画を共有する

動画をYouTubeやFacebookにアップロードしたり、Bluetooth®や赤外線、メール添付で送信したり、microSDメモリカードにコピーすることができます。

1 動画再生画面→[⋮]→[共有]

2 送信方法を選択

以降の操作は、選択した送信方法により異なります。

◎動画をmicroSDメモリカード(/storage/sdcard1/copied_data)にコピーするには、手順2で「SDカードにコピー」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

テレビに接続して静止画や動画を見る

本製品はMHL接続に対応しております。MHL対応のテレビの場合は、市販のMHLケーブルを本製品のmicroUSB接続端子とテレビのMHL対応端子に差し込んで接続します。
HDMI対応のテレビの場合は、市販のHDMI変換コネクタ(MHL変換アダプタ)とHDMIケーブルなどを利用して本製品と接続できます。
テレビに接続すると、写真や動画などをテレビの画面に表示させることができます。

1 MHLケーブルで本製品とテレビを接続

TV launcherが起動します。
起動しない場合は、ステータスバーを下にスライドして「TV launcher」をタップします。

2 テレビをMHL入力のモードに切り替える

本製品の画面がテレビの画面に表示されます。

3 アイコンを左右にスライド/フリックして、使用するアプリケーションを選択

◎ステータスバーを下にスライド→[MHL接続]と操作すると、出力の設定やテレビリモコンの使用方法の確認などができます。
◎本製品からMHLケーブルを取り外すと接続を終了しますが、テレビがMHL入力やHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って、地デジテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。
◎MHL接続を使用しないときはMHLケーブルやHDMI変換コネクタなどを本製品から取り外してください。MHL接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。
◎本製品では、MHLによるテレビ出力において、解像度720×576p(50Hz)はサポートしておりません。
◎次の機器と接続することで、テレビのリモートコントローラーを使用してTV Launcher画面、ホーム画面やさまざまなアプリケーションを操作できます。
- リモコン操作制御規格(RCP)をサポートしているMHL対応テレビ
- リモコン操作制御規格(CEC)をサポートしているHDMI対応テレビ

HDMI対応テレビと接続する場合は、RCPに対応している市販のHDMI変換コネクタ(MHL変換アダプタ)が必要です。
また、アプリケーションによっては、リモコン操作に対応していない場合もあります。

スクリーンショットを撮る

現在表示されている画面を画像として撮影(スクリーンショット)できます。

1 スクリーンショットを撮影する画面で ⓞ と [音量キー] の下を同時に1秒以上長押し

スクリーンショットが撮影され、ステータスバーに ▣ が表示されます。

◎ ⓞ を1秒以上長押しして[スクリーンショット]と操作してもスクリーンショットを撮影できます。
◎ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットを保存]と操作すると、撮影した画像をアルバムで確認できます。また、「共有」をタップすると、撮影した画像をアプリケーションに添付して送信したり、共有したりできます。「共有」は、通知パネル内の通知状況により表示されない場合がありますが、通知パネル上でピンチアウトすると表示されます。

WALKMANを利用する

WALKMANを使用すると、音楽やプレイリストなどを視聴することができます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.143)をご参照ください。

楽曲データを検索して再生する

microSDメモリカードや内部ストレージに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

• 楽曲再生中にmicroSDメモリカードのマウント解除(▶P.121)は行わないでください。

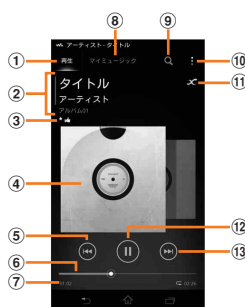
1 ホーム画面で[▦]→[WALKMAN]

2 [マイミュージック]

マイミュージック画面が表示されます。

3 カテゴリーを選択

4 再生する楽曲を選択

楽曲再生画面が表示されます。

《楽曲再生画面》

① **再生タブ**

② **曲名、アーティスト名、アルバム名**

③ **お気に入り／「いいね！」アイコン**

お気に入りに追加したり、「いいね！」を付けた場合に表示されます。

④ **アルバムアート**

左右にフリックすると、曲を切り替えることができます。

タップすると、「いいね！」／お気に入りに追加／シャッフルモード／リピートモードのアイコンを表示します。

「いいね！」は、Facebookにログインしている場合に表示されます。

⑤ **前へ**

再生中の楽曲の先頭、もしくは現在のプレイリスト内の前のタイトルに戻ります。

⑥ **プログレスバー**

ドラッグまたはタップすると、指定位置から再生を再開します。

⑦ **再生時間**

⑧ **マイミュージックタブ**

カテゴリーやプレイリスト、友達の音楽などを表示します。

友達の音楽では、Facebookで登録した友達が共有している音楽を一覧表示します。

⑨ **検索**

⑩ **オプションメニューアイコン**

⑪ **インフィニットボタン**

GoogleやWikipedia、YouTubeなどに接続して再生中の楽曲に関連する情報を表示します。

⑫ **再生／一時停止**

⑬ **次へ**

現在のプレイリスト内の次のタイトルに進みます。

■ 再生中のキー操作

[◁ ▷]：音量を調節

[⌂]：ホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生

memo

◎楽曲再生中は、ステータスバーに[WALKMAN]が表示されます。

◎バックグラウンド再生中に楽曲再生画面に戻るには、ホーム画面で[▦]→[WALKMAN]と操作するか、ステータスバーを下にスライドして、再生中の曲名をタップします。

◎ホーム画面にWALKMANウィジェットを表示している場合は、再生／一時停止などの操作ができます。また、アルバムアート部分をタップすると、楽曲再生画面を表示できます。

◎楽曲再生中は、画面ロック解除画面にもWALKMANウィジェットが表示され、画面ロックを解除しなくても操作できます。

楽曲再生画面のメニューを利用する

1 楽曲再生画面→[⋮]

2

Throw			表示されたデバイスをタップすると、DLNA機器で再生できます(▶P.109)。
再生リスト			▶P.85「再生リストについて」
ミュージック情報を編集			楽曲情報を編集します。
ビジュアライザー			楽曲の音の波形を元に模様などを表示します。
設定	ClearAudio+		ソニーが推奨する音楽のためのサウンド設定で、デジタル信号処理技術の設定をワンタッチで最適化します。
	サウンドエフェクト※1	イコライザー	音楽のジャンルなどに合わせて音質を設定できます。
		設定	▶P.85「サウンドエフェクトについて」

※1 Xperia™に搭載するオーディオ技術を、お好みに合わせて個別に設定・確認できます。ClearAudio+がオンのときには、ご利用いただけません。

■ サウンドエフェクトについて

サウンドエフェクトの「設定」タブでは次の設定ができます。

• **サラウンド(VPT)**：VPT機能を使った音響効果を設定し、市販のヘッドフォンなどからの再生音に臨場感を与えます。

※VPTとは、Virtualphones Technology(バーチャルホンテクノロジー)の略で、ソニーが独自に開発した特殊音響効果です。

• **クリアステレオ**：市販のヘッドフォンなどでの再生時に左右から出る音をくっきりと区別して、よりステレオ感を強調した音で再生します。

• **Clear Phase™**：内蔵スピーカーに適した音質に設定します。

• **xLOUD™**：内蔵スピーカーで迫力のある音を再生します。

• **ダイナミックノーマライザー**：楽曲によって異なる音量の差を小さくする効果があります。音量レベルの異なる複数の楽曲をシャッフル再生しても、同程度の音量で再生されます。

■ 再生リストについて

再生リストでは、再生中の楽曲とその楽曲を含む一覧が表示されます。

• 再生中の楽曲をタップすると再生／一時停止でき、一覧から他の楽曲をタップすると再生曲の変更ができます。

• 楽曲をロングタッチすると、楽曲の共有やプレイリストへの追加、着信音設定や再生リストからの削除などのメニューが表示されます。

• 「[保存]」をタップすると、一覧に表示されている楽曲をプレイリストとして保存できます。

• 楽曲名の左の「▮」を上下にドラッグすると、一覧の曲順を変更できます。

• 一覧に他の楽曲を追加するには、マイミュージック画面→曲／アルバム／アーティスト／プレイリスト／お気に入りのカテゴリーから追加する楽曲をロングタッチ→[再生リストに追加]と操作します。

楽曲を共有する

楽曲データをBluetooth®や赤外線、メール添付で送信することができます。

1 **マイミュージック画面→カテゴリーを選択**

2 **送信する楽曲をロングタッチ→[送信]**

3 **アプリケーションを選択**

アプリケーションを選択後、「常時」／「今回のみ」をタップします。
以降の操作は、選択したアプリケーションにより異なります。

memo

◎共有（送信）可能な容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、送信するアプリケーションにより制限される場合があります。またデジタル著作権管理（DRM）コンテンツは共有することができません。

楽曲を着信音として使用する

1 **マイミュージック画面→カテゴリーを選択**

2 **着信音として使用する楽曲をロングタッチ→[着信音に設定]**

楽曲の再生／一時停止中でも設定できます。

プレイリストを利用する

WALKMANでは、自動的に「お気に入り」「新規追加」「再生回数トップ」「未再生」のプレイリストが作成されます。また、新しいプレイリストを作成することもできます。
Media Go（▶P.108）を使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。自分用に作成するプレイリストはm3u形式で保存されます。

プレイリストを再生する

1 **マイミュージック画面→[プレイリスト]**

プレイリスト画面が表示されます。
自分で作成したプレイリストも表示されます。

2

新規プレイリストの作成	▶P.86「プレイリストを作成する」
お気に入り	お気に入りに追加した楽曲のリストを表示します。
新規追加	新しく追加した楽曲のリストを表示します。
再生回数トップ	再生回数の多い楽曲のリストを表示します。
未再生	再生可能で再生し終えていない楽曲の一覧を表示します。

3 **楽曲を選択**

タップした楽曲から再生されます。

プレイリストを作成する

1 **プレイリスト画面→[新規プレイリストの作成]**

2 **タイトル入力欄をタップ→タイトルを入力→[OK]**

3 **追加する楽曲にチェックを入れる→[保存]**

LISMOを利用する

LISMO Playerを利用してmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存した音楽を再生したり、最新の楽曲情報を調べたりできます。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[LISMO Player]**

初めて起動したときは、アクセス許可画面の内容を確認して「閉じる」をタップします。続けて、通信設定画面で、歌詞情報やアーティスト／楽曲情報の閲覧などで通信を行うかどうかを設定してください。また、個人情報の外部送信について画面の内容を確認し、お客様のau IDと音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを設定してください。

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/lismo/lismo-port/download/
LISMO Portを利用する場合は、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Xperia™]→[USB接続設定]→[USB接続モード]→[メディア転送モード(MTP)]→[OK]と操作してください。

TrackIDを利用する

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索することができます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、データ接続が可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「本製品の状態を知る」（▶P.36）をご参照ください。

楽曲情報を検索する

1 **ホーム画面で[アプリ]→[TrackID™]**

2 **本製品を音源に向ける→[TrackID]**

楽曲情報画面が表示されます。

TrackIDの結果を利用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人にすすめたり、YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりすることができます。楽曲情報は、検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

- 楽曲が認識されると楽曲情報画面が表示されます。楽曲情報画面の項目やアイコンをタップすると、Facebookで「いいね！」を付けたり、アーティスト情報を表示、楽曲のダウンロード、共有、YouTubeで検索などを行うことができます。
- 楽曲情報画面は、「履歴」／「チャート」をタップし、リストから楽曲を選択しても表示できます。

FMラジオを利用する

本製品でFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局でき、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、市販のイヤホンやヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索してお気に入りに登録する

1 **市販のイヤホンやヘッドフォンを本製品に接続**

イヤホンについては、「イヤホンを使用する」(▶P.141)をご参照ください。

2 **ホーム画面で[▦]→[FMラジオ]**

FMラジオ画面が表示されます。
自動的に放送局を検索し、放送局の電波をキャッチすると、検索が終了します。
さらに検索する場合は、[⋮]→[チャンネルを検索]と操作します。

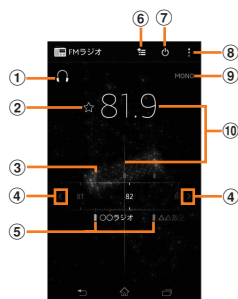
3 **「◀」/「▶」をタップして選局**

画面中央を左右にドラッグしても選局できます。

4 **[☆]**

5 **任意の名前を入力し、色を選択→[保存]**

任意の名前は8文字まで入力できます。
検索した放送局の帯域がお気に入りに登録されます。

■ FMラジオ画面

① ヘッドフォン/スピーカー
② お気に入りアイコン
お気に入りを追加/編集/削除します。
③ 帯域ポイント
受信状態が良い場合に表示されます。
④ 選局ボタン
⑤ お気に入りに登録した放送局
⑥ お気に入りリスト※1
⑦ FMラジオのオン/オフを切り替え
⑧ オプションメニューアイコン
⑨ サウンド種別表示
⑩ 選局中の放送局※2

※1 お気に入りを登録している場合にタップできます。
※2 登録しているお気に入りの放送局の帯域を聴取している場合は、お気に入りに登録している名前が表示されます。

■ 再生中のキー操作

[◁ ▷]: 音量を調節
[⌂]: ホーム画面に戻り、バックグラウンドで再生

memo

◎バックグラウンド再生中は、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。
◎バックグラウンド再生中にFMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で[▦]→[FMラジオ]または、ステータスバーを下にスライド→[FMラジオ]と操作します。
◎FMラジオを停止するには、FMラジオ画面で「⏻」をタップします。

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1 **FMラジオ画面→[🎧]/[🔊]**

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
- 本製品はキャプチャ、BGM再生には対応しておりません。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグをご利用になる前に

■ ワンセグ利用時のご注意

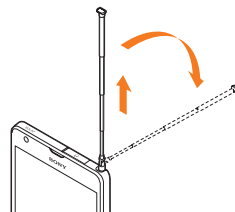
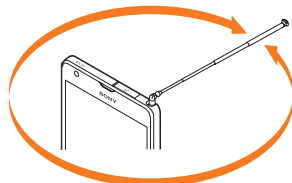
- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を使用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中はワンセグを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気をとられ、交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。
- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ ホイップアンテナについて

ワンセグを視聴する際は、放送波を十分受信できるようにホイップアンテナを伸ばしてご利用ください。
ホイップアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、ホイップアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

memo

◎ホイップアンテナを操作するときは、以下の点に注意してください。
- ホイップアンテナの向きを変えるときは、ホイップアンテナの根元付近を持ち、方向をよく確認してください。
- ホイップアンテナを収納するときは、ホイップアンテナを縮めて、まっすぐ上に向け、ホイップアンテナの先端の向きに注意して収納してください。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、エリアを選択してチャンネル設定を行います。設定が完了すると、ワンセグを視聴することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

2 [エリアを選択する]→登録する地方、都道府県、地域を選択

受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

3 視聴するチャンネルをタップ

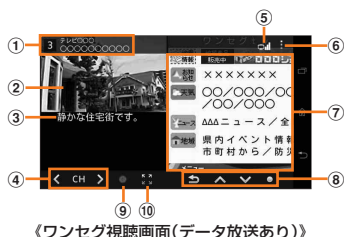
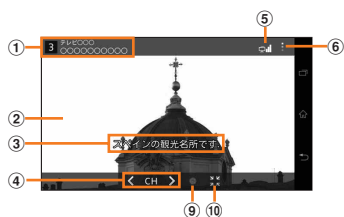
ワンセグ視聴画面が表示されます。

memo

◎手順2で[自動で設定する]と操作してもチャンネルを設定できます。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で[▦]→[ワンセグ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。
放送用保存領域の確認画面が表示される場合があります。
映像または字幕をタップすると一時的に番組名などの番組情報が表示されます。

《ワンセグ視聴画面(データ放送あり)》

《ワンセグ視聴画面 (全画面)》

① **リモコン番号、放送局名、番組情報**
② **映像**
③ **字幕**
④ **チャンネル選局キー**
チャンネル選局、チャンネルリスト表示など、チャンネルを操作するキーが表示されます。
⑤ **受信レベル**
⑥ **オプションメニューを表示(▶P.88)**
⑦ **データ放送**
データ放送コンテンツが表示されます。
⑧ **データ放送用リモコン**
戻る、フォーカス移動、フォーカス選択など、データ放送中に操作するキーが表示されます。
⑨ **録画アイコン**
⑩ **画面表示切り替え(全画面／データ放送あり)**

memo

◎縦画面ではデータ放送をタップするとデータ放送用リモコンを表示できます。再度チャンネル選局キーや録画アイコンを表示するには、映像または字幕をタップしてください。
◎ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ワンセグを視聴中に音声着信があったときは、ワンセグは中止され、通話終了後再開します。

■ ワンセグ視聴中の操作

縦横切替

ワンセグ視聴中は本体の向きを縦横にすることで、自動的に画面表示が縦横に切り替わります。
- あらかじめ画面の自動回転を有効にしておく必要があります(▶P.38)。

音量調節

[◁ ▷]を押します。

チャンネル切替

- 視聴するチャンネルを切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。
  - ・チャンネル選局キーをタップする。
  - ・ワンセグ視聴画面の映像または字幕を左右にフリックする。
  - ・ワンセグ視聴画面の映像または字幕をロングタッチして表示されるチャンネルリストからチャンネルを選択する。

ワンセグを終了する

ワンセグ視聴画面を表示中に[⮌]をタップします。
- [⌂]をタップしてホーム画面に戻っても、ワンセグは終了しません。ワンセグを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。
データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

ワンセグの設定をする

ワンセグ視聴画面、データ放送の設定や各種初期化を行うことができます。

ワンセグの操作メニューを利用する

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]

2

項目		説明
番組表		番組表を表示します(▶P.90)。
録画ファイル一覧		録画ファイル一覧画面を表示します(▶P.90)。
録画／視聴予約		録画、視聴の予約をしたり、予約失敗一覧を表示したりします(▶P.89)。
テレビリンク		テレビリンクのリスト画面を表示します(▶P.89)。
設定	データ放送設定	通信確認の有無や、位置情報、端末情報の利用の有無を設定したり、放送局メモリを削除します。
	オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
	字幕／音声	字幕表示のオン／オフや、字幕言語、主／副音声の設定をします。
	エリア切替	放送エリアを登録したり変更したりします。
サービス選局		1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けたマルチ編成番組の放送が行われている場合は、サブチャンネルを選択できます。

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域(放送エリア)によって視聴できるチャンネルは異なります。

■ 放送エリアを登録する

放送エリアは10件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]

2 [設定]→[エリア切替]→[未設定]

3 [自動で設定する]

受信可能なチャンネルを検索し、検索が終了するとチャンネルリストが表示されます。

4 視聴したいチャンネルをタップ

ワンセグ視聴画面が表示されます。

memo

◎手順3で「エリアを選択する」をタップし、現在の地域を選択してもチャンネルを登録できます。

■ 放送エリアを変更する

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]

2 [設定]→[エリア切替]

3 登録されているエリアを選択

選択したエリアのチャンネルに切り替わります。

memo

◎手順3で、登録されているエリアをロングタッチすると、詳細情報の表示やエリア情報設定、チャンネル更新、エリア名変更、設定削除の操作が行えます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 ワンセグ視聴画面→映像または字幕をロングタッチ

チャンネルリストが表示されます。

2 リモコン番号を変更する放送局をタップ

3 設定するリモコン番号をロングタッチ

4 [チャンネル登録]

別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、「はい」をタップします。

memo

◎設定した放送局を削除するには、手順2で削除する放送局をロングタッチ→[チャンネル削除]→[はい]と操作します。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクを本製品に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

テレビリンクは、最大50件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面(データ放送)→登録するテレビリンクを選択

memo

◎テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

テレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]→[テレビリンク]

テレビリンクのリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

リンク先にアクセスします。
リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は「はい」をタップします。

memo

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る・削除する

1 テレビリンクのリスト画面→テレビリンクをロングタッチ

2

プロパティ		タイトル、説明、有効期限など、登録情報の詳細を表示します。
削除	1件削除	登録されているテレビリンクを1件削除します。
	全件削除	登録されているテレビリンクをすべて削除します。

memo

◎テレビリンクのリスト画面で「⋮」をタップしても全件削除することができます。

テレビ番組を視聴予約/録画予約する

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]

2 [録画/視聴予約]→[＋]

3 [手動で設定]

4 [視聴予約]/[録画予約]

5 番組名、チャンネル、開始日時、終了日時などを設定→[保存]→[はい]

memo

◎手順3で「番組表から」をタップしても、視聴予約/録画予約ができます。

ワンセグを録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

1 ワンセグ視聴画面→[●]

録画が開始されます。

2 ワンセグ視聴画面→[■]

録画が停止し、データが保存されます。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
◎録画保存できる最大ファイルサイズは2GB、連続録画可能時間は約24時間です。保存できる保存件数は99件までです。
◎録画中に他のアプリケーションからmicroSDメモリカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画したテレビ番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]

2 [録画ファイル一覧]

録画データリスト画面が表示されます。

3 再生する番組をタップ

memo

◎ 番組をロングタッチすると、タイトルの変更や削除などを行えます。
◎ 録画データを複数削除するには、録画データリスト画面→[⋮]→[選択削除]／[全件削除]と操作します。

番組表を利用する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。
- 「auテレビ.Gガイドプレミアム（月額210円、税込）」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要です。au IDは、「au IDの設定をする」（▶P.25）をご参照ください。

1 ワンセグ視聴画面→[⋮]→[番組表]

番組表画面が表示されます。
初めて起動したときは、利用規約や視聴地域などの設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組表詳細画面が表示されます。
番組情報の確認やワンセグ視聴画面の表示、視聴／録画の予約などができます。

memo

◎ ホーム画面で[▦]→[auテレビ.Gガイド]と操作しても番組表を表示できます。

番組表のメニューを利用する

1 番組表画面→[⋮]→[その他の設定]

2

地域設定	表示する番組表の地域を設定します。
視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
ワンセグの予約一覧	視聴、録画の予約をしたり、予約の結果を表示します（▶P.89）。
リモート録画予約	本製品を使って、対応する録画機器の録画予約を行うことができます。
番組詳細情報を表示する	番組表に番組詳細情報を表示させるかどうかを設定します。
再読み込み	番組表を更新します。
バージョン情報	バージョン情報が確認できます。
ヘルプ	番組表のヘルプページを表示します。

おサイフケータイ®

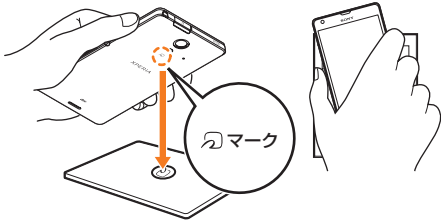
おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R／W）機能、機器間通信（P2P）機能がご利用いただけます。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCa™チップまたはau Micro IC Card (LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（▶P.154）をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCa™チップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCa™チップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCa™チップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCa™チップ内またはau Micro IC Card (LTE)内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池パックを取り外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCa™チップ内またはau Micro IC Card (LTE)内のデータをやりとりできます。

- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量が無い場合はご利用できません。その場合は充電後、もしくは電池パック交換後に一度本体の電源を入れることでご利用になれます。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合はご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

おサイフケータイ®のロックや、NFC R/W P2P機能のオン／オフを設定します。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]**

2 **[NFC／おサイフケータイ 設定]**

NFC／おサイフケータイ設定画面が表示されます。

3

NFC／おサイフケータイ ロック	▶P.91「おサイフケータイ®の機能をロックする」
NFC R/W P2P	▶P.91「NFC R/W P2P機能をオンにする」
Androidビーム	

memo

◎「おサイフケータイ」アプリケーションの「ロック設定」や、「NFCメニュー」アプリケーションの「NFCロック」からもNFC／おサイフケータイ設定画面を表示することができます。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

- おサイフケータイ®のロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 **NFC／おサイフケータイ設定画面→[NFC／おサイフケータイ ロック]**

2 **ロックNo.を入力→[次へ]**

おサイフケータイ®の機能がロックされ、ステータスバーにが表示されます。

NFC／おサイフケータイ ロックを解除する

1 **NFC／おサイフケータイ設定画面→[NFC／おサイフケータイ ロック]**

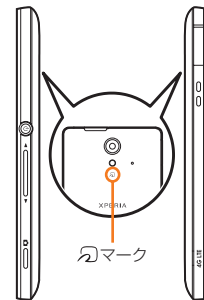
2 **ロックNo.を入力→[次へ]**

「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除されます。

memo

◎「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCa™チップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
◎ロックNo.はau Micro IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Micro IC Card (LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.13)をご参照ください。
◎ロックNo.を変更するには、NFC／おサイフケータイ設定画面→[⋮]→[NFC／おサイフケータイ ロックNo.変更]→現在のロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。
◎ロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。ロックNo.を再設定するには、NFC／おサイフケータイ設定画面→[⋮]→[NFC／おサイフケータイ ロックNo.初期化]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。
◎本製品を紛失してしまった場合は、安心セキュリティパックの「3LM Security」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「安心セキュリティパックでできること」(▶P.100)をご参照ください。

NFCを利用する

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFC R/W P2P機能をオンにしてください(▶P.91「NFC R/W P2P機能をオンにする」)。
- 2台の携帯電話を平行にしてマークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリケーションによって異なります。画面に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと向かい合わせると送信／受信を失敗することがあります。

NFC R/W P2P機能をオンにする

本製品でNFCやワンタッチ機能(▶P.92)、NFCタグリーダー(▶P.92)を利用する場合は、あらかじめ次の操作でNFC R/W P2P機能をオンに設定します。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]**

2 **[NFC／おサイフケータイ 設定]**

3 **「NFC R/W P2P」にチェックを入れる→[OK]**

NFC R/W P2P機能がオンになり、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎ホーム画面の「NFCカンタン起動ウィジェット」(▶P.29)を利用しても、NFC R/W P2P機能のオン／オフを設定できます。
◎「NFC R/W P2P」にチェックを入れると、「Androidビーム」にもチェックが入り、Androidビームがオンになります。Androidビームをオンにすると、NFC搭載機器との間で、ウェブサイトやYouTubeのURL、連絡先、地図の位置情報などを共有することができます。
◎非接触ICカード機能は、NFC R/W P2P機能のオン／オフにかかわらず利用できます。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中は、NFC R/W P2P機能をオンにできません。

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

NFC搭載機器との間で、URLや連絡先などを送信したり受信したりできます。また、NFCを搭載したソニー製品との間でワンタッチ機能を利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した写真や動画を送ったり、受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFC R/W P2P機能をオンにしておいてください(▶P.91「NFC R/W P2P機能をオンにする」)。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 **送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う**

2 **送信側の機器と、マークを向かい合わせる**

データを受信すると、受信データに対応するアプリケーションが起動します。

■ データを送信する

例：Googleマップの位置情報を送信する場合

1 **ホーム画面で[▦]→[マップ]**

2 **マップ画面をロングタッチ→送信する位置情報を表示**

3 **受信側の機器と、マークを向かい合わせる**

表示されている画面が小さくなり、「タップしてビーム」と表示されます。

4 **小さくなった画面をタップ**

位置情報が送信されます。

memo

◎ウェブサイトやYouTubeのURLなどを送信する場合は、送信するURLの画面を本製品に表示させてマークを向かい合わせます。
◎写真、動画、音楽の送信／受信は、NFCを搭載したソニー製品との間で行ってください。
◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグのデータの読み込みや書き込みができます。

1 **ホーム画面で[▦]→[NFCタグリーダー]**

NFC R/W P2P機能がオフになっている場合は、注意画面が表示されます。画面に従って操作して、NFC R/W P2P機能をオンにしてください。
許可画面や利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2

Share		NFC搭載機器との間で連絡先など各種データを送信します。
Writing		本製品で設定した情報を、NFCタグにかざして書き込みます。
History		NFCの利用履歴を表示します。
Setting	NFC Setting	おサイフケータイ®のロックや、NFC R/W P2P機能のオン／オフを設定します(▶P.91)。
	App Setting	NFCタグリーダーの設定を行います。

NFCタグリーダーでデータを送信／受信する

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間で、NFCタグリーダーを利用してデータを送信／受信できます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFC R/W P2P機能をオンにしておいてください(▶P.91「NFC R/W P2P機能をオンにする」)。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 **ホーム画面で[▦]→[NFCタグリーダー]**

2 **送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う**

3 **送信側の機器と、マークを向かい合わせる**

データを受信すると、受信データが表示されます。

■ データを送信する

例：連絡先を1件送信する場合

1 **ホーム画面で[▦]→[NFCタグリーダー]**

2 **[Share]→[Address]**

3 **送信する連絡先にチェックを入れる→[OK]**

4 **受信側の機器と、マークを向かい合わせる**

表示されている画面が小さくなり、「タップしてビーム」と表示されます。

5 **小さくなった画面をタップ**

連絡先データが送信されます。

memo

◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応したアプリケーションを一覧表示したり、NFCロックなど、各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面で[▦]→[NFCメニュー]**

NFCメニュー画面が表示されます。
初めて起動したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 **アプリケーションを選択**

アプリケーションによっては、ダウンロードや初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

NFCメニュー画面の設定をする

1 **NFCメニュー画面→[•••]**

2

サービス一覧更新		NFCに対応したアプリケーションの一覧を更新します。
NFCポータルサイト		NFCポータルサイトを表示します。 • アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
NFCロック		▶P.91「おサイフケータイ®の機能をロックする」
ヘルプ		NFCメニューのヘルプを表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCに対応したアプリケーションをカテゴリー別表示に切り替えます。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリータイプの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面をアニメーション表示するかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。

FeliCa™に対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリケーションから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面で[▦]→[おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

サービス一覧画面に表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になるサービスを選択してください。
サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

「おサイフケータイ」アプリケーションのメニューを利用する

1 サービス一覧画面→[⋮]

2

表示形式切替		表示モードを切り替えます。
サービス表示情報更新		サービス一覧画面を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況		FeliCa™チップのメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	おサイフケータイ アプリ ご利用規約	「おサイフケータイ」アプリケーションのご利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高情報表示機能のご利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	「おサイフケータイ」アプリケーションに関するガイドを表示します。
	設定リセット	サービス一覧情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリケーションやデータは削除されません。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.94)でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ステータスバーを下にスライド→[モバイルデータ]と操作します。設定がオフになると▦(グレー)になります。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションを検索してインストールする

1 ホーム画面で[Playストア]

利用規約の同意画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面→[⋮]→[ヘルプ]→アプリケーションを選択→[常時]／[今回のみ]と操作して、Google Playヘルプページに進みます。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円(税込)で、500本以上のアプリ取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「サイドメニューボタン」をタップしてヘルプをご参照ください。

memo

◎ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

1 ホーム画面で[▦]→[auスマートパス]

アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップします。
auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「非会員の方　新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認いただき同意のうえ、登録してください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

2

人気のアプリが使い放題！	500本以上のアプリからお好きなアプリを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
あなたのスマートフォンを守ります！	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。
会員だけのおトクな特典！	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
他にも便利なサービスがいっぱい！	FMラジオやデータお預かりなど、便利なサービスです。

memo

◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリケーションについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[セキュリティ]

2 「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる

3 表示される内容を確認して[OK]

■ ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[アプリ]

アプリ管理画面が表示されます。

2 [ダウンロード]

アプリケーションを強制終了する

1 アプリ管理画面→強制終了するアプリケーションをタップ

2 [強制終了]→[OK]

memo

◎アプリケーションを強制終了したくないときには、「キャンセル」をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

- アプリケーションによっては削除できない場合があります。

1 アプリ管理画面→削除するアプリケーションをタップ

2 [アンインストール]→[OK]

アプリケーションがアンインストールされます。

3 [OK]

■ アプリケーションを無効化する

アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効化することができます。無効化したアプリケーションはアプリケーション画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

1 アプリ管理画面→画面を左にスライド→[すべて]

2 無効化するアプリケーションをタップ

3 [無効にする]→[OK]

再度有効化するには「有効にする」をタップします。

memo

◎Google Playからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
◎アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを削除]→[OK]と操作します。
◎アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを削除]と操作します。
◎アプリケーションの起動時の設定を削除する場合は、アプリ管理画面→設定を削除するアプリケーションをタップ→[設定を削除]と操作します。
◎アプリケーションの設定をリセットする場合は、アプリ管理画面→[⋮]→[アプリの設定をリセット]→[設定をリセット]と操作します。
◎開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[YouTube]

YouTube画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、内容をご確認のうえ「OK」をタップします。

2 再生する動画を選択

memo

◎動画コンテンツのダウンロード・アップロードの際に、パケット通信料がかかる場合があります。
◎アップロード中は、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルでアップロードの進捗状況を確認できます。
◎YouTubeの詳細については、YouTube画面→[⋮]→[ヘルプ]→アプリケーションを選択→[常時]／[今回のみ]と操作して確認してください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteを利用して、電話帳の連絡先やFacebook・TwitterなどのSNSの友達リストをまとめて管理することができます。
また、バックアップも可能なアドレス帳、メッセージ、タイムライン(友達のSNSやニュース)などのスマートフォンでよく使う機能が簡単な切り替えで利用できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要です。au IDについては、「au IDの設定をする」(▶P.25)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[Friends Note]

初回起動時はFriends Noteの紹介画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。続けて、許可画面と利用規約が表示されます。[同意する]→[Friends Note利用規約]→アプリケーションを選択→[常時]／[今回のみ]と操作して利用規約を確認します。

2 [同意する]

au IDが未設定の場合は、設定画面／ログイン画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

3 [今すぐ]／[後で]

memo

◎機種変更前のau電話やFriends Noteでご利用の連絡先データを保存することができます。設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

Googleサービス

Googleトークを利用する

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。

Googleトークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で[▦]→[トーク]

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

memo

◎Googleトークの詳細については、Googleトークの画面→[⋮]→[ヘルプ]→アプリケーションを選択→[常時]／[今回のみ]と操作するか、Googleトークの画面→[⋮]→[設定]→アカウントを選択→[利用規約とプライバシー]→アプリケーションを選択→[常時]／[今回のみ]→[Help Center]と操作して確認してください(Talk Helpは英語で表示されます)。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

- Googleマップの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[マップ]

マップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎Googleマップを利用するには、データ接続が可能な状態にあるか、Wi-Fi®接続が必要です。
◎Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
◎LTE／3G／Wi-Fi®の接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

GPS機能を利用する

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi®(無線ネットワーク)またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPSの両方を有効にすると、両方のメリットを生かして測位することができます。
本製品には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナをおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

《GPSアンテナ位置》

memo

◎GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
◎本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
◎衛星利用測位（GPS）は、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
◎ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
◎各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
◎当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本製品の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

■ GPS機能／位置情報サービスを有効にする

GPS機能やWi-Fi®、モバイルネットワーク基地局からの情報をもとにした現在地の特定などができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[位置情報サービス]

2 「位置情報にアクセス」の[OFF]

3 GPS機能についての注意文を読んで[同意する]→位置情報についての注意文を読んで[同意する]

「GPS機能」「Google位置情報サービス」にチェックが入ります。
先に位置情報についての注意文が表示される場合があります。

memo

◎ステータスバーを下にスライド→[GPS]→[同意する]と操作してもGPS機能を有効にできます。GPS機能が有効になると（青色）になります。
◎無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。
◎「GPS機能」と「Google位置情報サービス」は個別に設定することができます。

■ Googleアプリケーションで現在地情報を利用する

GoogleマップなどのGoogleアプリケーションで現在地を特定するには、Googleアプリケーションに位置情報へのアクセスを許可する必要があります。
Googleアカウントを設定している場合はアカウントのプライバシー項目から位置情報設定を行います。Googleアカウントの詳細については、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.25）をご参照ください。

- あらかじめ位置情報サービスを有効にしておきます（▶P.96）。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

2 [Google]→[位置情報の設定]

3 「Googleアプリに位置情報へのアクセスを許可する」の[OFF]

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面→[◈]

現在地が地図上で青い印の点滅で表示されます。

memo

◎現在地を検出するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にし（▶P.96）、Googleアプリケーションに位置情報へのアクセスを許可する必要があります（▶P.96）。Googleアカウントを設定していない場合は、マップ画面→[⋮]→[設定]→[現在地設定]と操作して設定します。

地図を拡大／縮小する

1 マップ画面をピンチして拡大／縮小

画面をダブルタップしても拡大できます。
画面を2本の指でタップしても縮小できます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

2 表示された吹き出しをタップ

3 [ストリートビュー]

メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
ストリートビュー表示中に[⋮]→[コンパスモード]と操作すると、本製品の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。
ストリートビュー非対応地域の場合は、アイコンが薄いグレー表示となります。

興味のある場所を検索する

1 マップ画面→[🔍]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索する場所を入力

住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
検索バーをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 ソフトウェアキーボードの[⌕]

地図上に検索した場所が表示されます。
マップ画面下部に「検索結果一覧」と表示された場合は、「検索結果一覧」をタップして表示する場所を選択することができます。
マップ画面上部に「もしかして･･･」と表示された場合は、「もしかして･･･」をタップして表示する場所を選択することができます。

4 目的の場所をタップ

詳細情報画面が表示されます。

memo

◎詳細情報画面では、「地図」「経路」「通話」などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。
◎マップ画面→[📍]と操作すると、検索した地点を中心にして「レストラン」「カフェ」などのカテゴリーを選択して検索し、地図表示できます。詳しくは、「Googleローカルを利用する」（▶P.97）をご参照ください。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面→[ ]

2

交通状況	交通状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	▶P.97「Google Latitudeを利用する」
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本製品からは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	Ⓦを表示します。「Ⓦ」をタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

※交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面→[ ]

2 上の入力欄に出発地を入力し、下の入力欄に目的地を入力

入力欄の右にある「 」をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 [ ](車)/[ ](公共交通機関)/[ ](徒歩)

公共交通機関を選択した場合は、優先する交通機関や条件を選択することができます。

4 [経路を検索]

公共交通機関で検索した場合は、リストの中から好みの経路をタップします。
車や徒歩で検索した場合は、経路が地図で表示されます。
「経路一覧」をタップすると、経路の詳細が表示されます。
「 」をタップすると、経路のポイントが表示されます。

memo

◎手順4で「ナビ」をタップ、または経路表示画面で「 」をタップすると「ナビ」アプリケーションが利用でき、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用になれます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面→[ ]→[地図をクリア]

クリアする内容がない場合には「地図をクリア」はタップできません。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.25)をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 マップ画面→[マップ]→[Latitude]

初めてLatitudeに参加するときに、友人とGoogleに現在地の共有を許可するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。

memo

◎マップ画面のLatitudeレイヤ(▶P.97)からもLatitudeに参加できます。
◎Latitudeの設定および位置情報の共有の解除などは、マップ画面→[ ]→[設定]→[現在地設定]と操作して、設定画面から行います。

Googleローカルを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

1 ホーム画面で[ ]→[ローカル]

2 検索するカテゴリーをタップ

「 」をタップしてキーワード入力欄に地名や店名を入力しても検索できます。
カテゴリーを追加する場合は、[ ]→[検索を追加]と操作してカテゴリーなどを入力します。

3 検索結果から目的の情報をタップ

memo

◎マップ画面のメニューからもGoogleローカルを利用できます。
◎利用する場所によって、使用できる機能が異なります。
◎サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Socialifeを利用する

FacebookやTwitterなどのSNS、ニュースサイトなどをまとめて閲覧･管理できるアプリケーションです。

- Socialifeを利用するには、FacebookまたはSony Entertainment Networkのアカウントが必要です。

1 ホーム画面で[ ]→[Socialife]

以降の操作は、画面に従って操作してください。

メニューについて

次のメニューからさまざまな操作ができます。

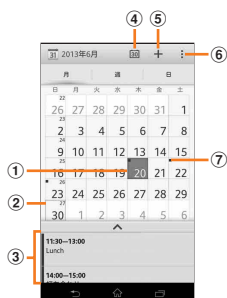
マイストリーム	登録したネットワークサービスやニュースサイトのタイムラインをひとつにまとめて表示します。Facebook、Twitter、ニュースなどカテゴリーごとに絞り込んで表示することもできます。
お気に入り	マイストリームでお気に入りに登録したSNSのメッセージやニュース記事などを表示します。
見つける	Socialifeユーザーに人気のニュースサイトや、おすすめのニュースサイトなどを表示します。
設定	ニュースサイトの登録、サインインIDの管理をしたり、ヘルプやお知らせの表示などの操作ができます。

カレンダーを利用する

本製品には予定を管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、本製品のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「アカウントと同期の設定をする」(▶P.123)をご参照ください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で[▦]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。
「月」／「週」／「日」をタップして表示を切り替えることができます。
1週間表示、1日表示で画面をピンチすると、カレンダーの表示を拡大／縮小することができます。
左右にフリックすると、1ヶ月表示では前後の月、1週間表示では前後の週、1日表示では前後の日を表示します。

《カレンダー画面（1ヶ月表示の場合）》

① **選択されている日付**
色が付きます。

② **今日の日付**
枠が付きます。

③ **予定一覧**
選択されている日付の予定が時系列で一覧表示されます。上下にスライドして予定を確認できます。

④ **「今日」アイコン**
現在の日時にカーソルを移動します。
アイコンの数字は現在の日付によって異なります。

⑤ **予定作成アイコン**
選択されている日付の予定を作成できます(▶P.98「カレンダーの予定を作成する」)。

⑥ **オプションメニューアイコン**

⑦ **予定**
登録した予定があるときに表示されます。
予定が登録されているカレンダーアカウントによって色が異なります。カレンダー画面→[⋮]→[マイカレンダー]と操作すると、カレンダーアカウントと色が確認できます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[⋮]

2

項目	説明
今日※1	今日の日付にカーソルを移動します。
予定を作成※1	▶P.98「カレンダーの予定を作成する」
更新	カレンダーを最新の状態に更新します。
予定リスト	選択した日付から1ヶ月間の予定を表示します。
予定の検索	検索ボックスを表示し、予定を検索します。
マイカレンダー	設定されているカレンダーアカウントを表示します。同期や表示の設定ができます。
設定	カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、通知音、バイブレーション、通知間隔などを設定します。

※1 カレンダー画面に検索ボックスを表示している場合に表示されます。

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面→[＋]

カレンダー画面をロングタッチ→[予定を作成]と操作しても作成できます。

2 予定のタイトル、日時、場所、内容などを入力

Googleアカウントを設定している場合は、「カレンダー」で目的のアカウントを選択します。
予定に新しい通知を追加するには、「通知を追加」の「＋」をタップします。
「その他」の「∨」をタップすると、「繰り返し」「参加者」などを設定できます。

3 [完了]

■ カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面→予定のある日付／時間を表示

1ヶ月表示の場合は、予定のある日付をタップします。

2 詳細を表示する予定をタップ

memo

◎Facebookのカレンダーと同期している場合は、Facebookのイベントもカレンダーの予定に表示されます。

予定のリマインダーに解除またはスヌーズを設定する

1 ステータスバーに31(リマインダーアイコン)が表示されたら、ステータスバーを下にスライド

リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2 [スヌーズ]／[解除]

「スヌーズ」をタップすると、ポップアップメニューが表示され、スヌーズ間隔を選択できます。選択した時間の経過後に再度通知が表示されます(スヌーズとは、いったん通知を解除してもしばらくして再度通知する機能です)。
「解除」をタップすると、通知が消去されます。

memo

◎予定作成時に「参加者」を設定すると、通知パネルに「返信」も表示され、クイック返信を利用して簡単に参加者へメールを作成・送信することができます。Googleアカウントの設定や選択が必要になります。
◎複数の予定がまとめて通知パネルに表示される場合があります。通知をタップして、「すべてスヌーズ」／「すべて解除」を設定したり、予定の「▸」をタップして、予定ごとにスヌーズ間隔や解除を設定することもできます。

アラームと時計を利用する

「アラームと時計」を利用すると、アラームを設定できるほか、世界時計を表示させたり、ストップウォッチやタイマーを使用できます。

1 ホーム画面で[▦]→[アラームと時計]

アラーム画面が表示されます。

《アラーム画面》

① **時計表示**
タップすると日付と時刻の設定画面(▶P.124)が表示されます。
② **アラームの追加**
③ **アラーム設定一覧**
④ **時計を全画面表示**
⑤ **アラーム画面を表示**
⑥ **世界時計を表示**
⑦ **ストップウォッチを表示**
⑧ **タイマーを表示**
⑨ **アラームの削除**

アラームを設定する

1 アラーム画面→[アラームを追加]

2

項目		説明
時間		数字を上下にスライドして時間を設定します。
繰り返し		アラームを使用する曜日を設定します。
アラーム音※1		アラーム音を設定します。
スヌーズ間隔		アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
詳細設定		全ての設定項目が表示されます。
	アラームテキスト	アラーム鳴動中に表示されるテキストを入力して設定します。
	スタイル設定	チェックを入れてからタップして、アラーム鳴動中に表示される画像とアラーム音を設定します。
	バイブレーション	アラーム時刻に振動するかどうかを設定します。
	アラームの音量	スライダを左右にドラッグして音量レベルを調整します。
	マナーモード中の鳴動	マナーモードに設定中でもアラームが鳴動するかどうかを設定します。
	サイドキーの動作	アラーム鳴動中に[◁ ▷]/[📷]を押したときの動作を設定します。
	自動消音時間	アラーム鳴動が自動で止まる時間を設定します。

※1 「スタイル設定」にチェックを入れている場合は設定できません。「アラーム音」を設定するには「スタイル設定」のチェックを外してください。

3 [完了]

アラーム画面に戻ります。
アラーム画面に、設定したアラームが追加され、ステータスバーに[⏰]が表示されます。

アラームをオフにする

1 アラーム画面→[⏰]

[⏰]の下の青色のラインが消灯し、アラームがオフになります。

◎ アラーム画面→アラームをロングタッチ→[アラームをOFFにする]と操作してもアラームをオフにできます。

アラームを削除する

1 アラーム画面→削除するアラームをロングタッチ

2 [アラームを削除]→[はい]

memo

◎ 複数のアラームを削除する場合は、アラーム画面→[🗑]→削除するアラームにチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。

アラームを止める

1 アラームが鳴っているときの画面で「スヌーズ-XX分」をタップ/「[⏰]」を右にスライド

XXには設定した時間が入ります。
「スヌーズ-XX分」ではアラームを一定時間止めて、XX分後に再度鳴らします。「[⏰]」を右にスライドするとアラームは停止します。
アラームが鳴っている画面が表示されていない場合は、ステータスバーを下にスライドし、アラームをタップすると画面を表示させることができます。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、青少年に不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限することができます。
お子様の年代に合わせて、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から保護者の方が簡単にアクセス制限レベルを変更することができます。
3G・LTE・Wi-Fi®すべての通信経路でご利用いただけます。

- ログインするには、au IDが必要です。au IDについては、「au IDの設定をする」(▶P.25)をご参照ください。

1 ホーム画面で[▦]→[安心アクセス]

初めて起動したときは、「はい」をタップしてau Marketからアプリケーションをダウンロードしてください。ダウンロード後の初回起動時は、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
ログインしていない場合は、画面の指示に従ってログインします。

2 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

3

項目	説明
小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※1が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※1が認定するサイト/アプリは利用可能です。

高校生向け	・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 ・EMA※1が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※1 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

4 ［規約に同意してサービスを利用開始する］→［OK］

利用規約を必ずご確認ください。
デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

5 ［有効にする］

ウェブページが表示されます。

管理者情報を登録する

1 ホーム画面で［▦］→［安心アクセス］

2 ［⋮］→［その他］→［管理者登録］

3 仮パスワードを入力→［仮パスワードを照会する］

4 管理者IDを入力→管理者ID（確認）を入力→［管理者ID確認へ進む］

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 ［パスワードを送付する］

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→［管理者登録を行う］→［OK］

memo

◎管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。
以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 ホーム画面で［▦］→［安心アクセス］

2 ［⋮］→［その他］→［設定］→［管理者ページ］

3 管理者IDとパスワードを入力→［管理者ページにログイン］

4

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。 ・詳しくは、auホームページをご参照ください。 http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［MENU］→［ヘルプ］と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で［▦］→［auお客さまサポート］

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。
初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「アカウントを設定せずに利用する」をタップします。
サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイトにて行えます。
https://cs.kddi.com/
利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート＆サービス	各種サポートアプリを利用できます。
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへのアクセスなどができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は「⋮」をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

■ 3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

ツール・アプリケーション

■ ウイルスバスター™ for au

- 不正アプリ対策
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上ご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能」をオフにしていると位置情報は通知されません。位置情報を通知する設定については、「GPS機能／位置情報サービスを有効にする」(▶P.96)をご参照ください。
- ご契約いただいているau Micro IC Card (LTE)情報と利用開始設定時のau Micro IC Card (LTE)情報が一致している端末の検索ができます。
- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - ･利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - ･利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - ･利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
    また、お客様のau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

3LM Securityを利用する

安心セキュリティパックの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

2 [サポート＆サービス]

3 [安心セキュリティパック]→[3LM Security]

初回起動時は、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します]→[有効にする]と操作してください。

◎ホーム画面で[▦]→[3LM Security]と操作しても利用することができます。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

3 [サポート＆サービス]

4 [安心セキュリティパック]→[リモートサポート]

初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

5 オペレータの指示に従って操作

◎ホーム画面で[▦]→[リモートサポート]と操作しても利用することができます。

ウイルスバスター™ for auを利用する

「ウイルスバスター™ for au」をご利用になるには、最初にアプリをインストールする必要があります。

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

2 [サポート＆サービス]

3 [安心セキュリティパック]→[ウイルスバスター for au]

初めて起動したときは、「OK」をタップしてau Marketからアプリケーションをダウンロードしてください。ダウンロード後の初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

4 項目を選択

5 画面の指示に従って操作

◎Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

スマートフォン自動診断を利用する

スマートフォン自動診断でできること

- スマートフォンの設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- スマートフォンの設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- コンディションレコーダーの機能により、スマートフォンを好調だった時点に戻すことができます。
- スマートフォンの状態によっては、インストール済みのアプリケーションをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- 診断コードを使用した修理相談ができます。

1 ホーム画面で[▦]→[auお客さまサポート]

2 [サポート＆サービス]

3 [スマートフォン自動診断]

利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

4

自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリケーションのバージョンアップによる修復を行います。アプリケーションの種類（「Playストア」または「au Market」）を選択してください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりスマートフォンの調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。 詳細は「ヘルプ」をタップしてください。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

◎ トップニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

◎ 診断終了後に「よくあるご質問」が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダー

◎ 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更（アプリのインストール、アンストール含む）が元に戻ります。

◎ 本アプリは、本アプリをインストールしてから、スマートフォンの状態を記録し始めます。本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。

◎ 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です（ただし、一部データをのぞく）。詳細は「ヘルプ」をタップしてください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面で[▦]→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」（▶P.61）をご参照ください。

◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害･避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※ お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害･避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害･避難情報の設定にてご利用いただけます。緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害･避難情報**：災害･避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害･避難情報**：災害･避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報･津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
◎ 災害･避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料･通信料とも無料です。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達･遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎ SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

■ 音声を送る（送信）

1 au災害対策メニュー画面→［災害用音声お届けサービス］

2 ［声をお届け］

3 「①お届け先を選択」の入力欄をタップ→電話番号を入力

「　」をタップして、連絡先から選択することもできます。

4 ［声を録音］→［開始］

5 音声を録音

6 ［完了］→［送信］／［再生］／［保存］

録音した音声を確認する場合は、「再生」をタップします。
録音した音声を送信せずに保存する場合は、「保存」をタップします。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面もしくはSMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを起動していないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ 音声メッセージの送受信は、LTE／3Gネットワークのみで利用可能です。無線LAN（Wi-Fi®）通信などは無効にしてご利用ください。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au携帯電話間、及びNTTドコモ･ソフトバンクモバイルの携帯電話と相互にやりとりが可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体メモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存･再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくは、auホームページをご覧ください。

ファイル管理

内部ストレージ

本製品では、microSDメモリカードとは別に本製品の内部ストレージにデータを保存できます。
内部ストレージには、赤外線通信で受信したデータやEメール(@ezweb.ne.jp)のバックアップデータなどが保存されます。
アプリケーションによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード／内部ストレージのどちらかを選択することができる場合もあります。
Eメール(@ezweb.ne.jp)のバックアップデータは、microSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードに、microSDメモリカードが挿入されていない場合は内部ストレージの「SDカード」領域に保存されます(▶P.64)。
「ファイルコマンダー」アプリケーションを利用して内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、フォルダやファイルのコピー／貼り付けによって管理したりすることができます。

- 「ファイルコマンダー」アプリケーションの操作について詳しくは、「ファイルコマンダーを使ってファイルをコピー／移動する」(▶P.108)をご参照ください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHC／microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎ microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.109)をご参照ください。
◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.109)をご参照ください。

保護データについて

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

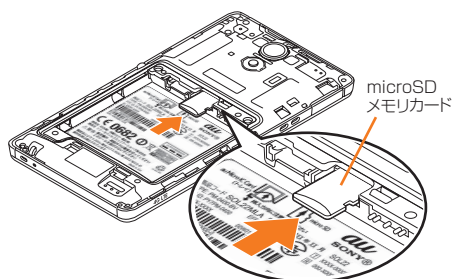
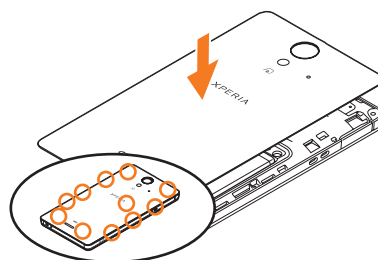
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電池パックを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本製品のmicroSDメモリカード挿入口には、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品では市販の2GBまでのmicroSDメモリカード、32GBまでのmicroSDHCメモリカード、64GBまでのmicroSDXCメモリカードに対応しています(2013年4月現在)。
- 本製品はmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHC／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。
- microSDXCメモリカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込むと、microSDXCメモリカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCメモリカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCメモリカードの初期化を行う必要があります(microSDXCメモリカードのデータはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード(microSDHCメモリカードやmicroSDメモリカードなど)をご利用ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外してから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。
電池パックの取り付け／取り外しかたについては、「電池パックを取り付ける／取り外す」(▶P.21)をご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

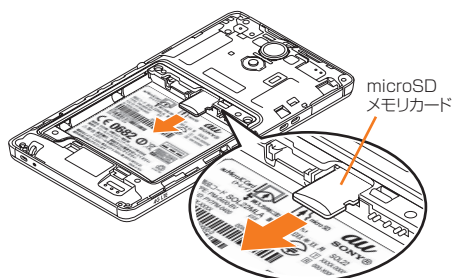
1 電池フタと電池パックを取り外し、microSDメモリカードの挿入方向を確認して、矢印の方向へまっすぐ差し込む

microSDメモリカードの端子面を下にして差し込みます。

2 電池パックを取り付けて、電池フタを装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 電池フタと電池パックを取り外し、microSDメモリカードを指の先で押さえながら、手前(矢印の方向)にすべらせるように取り出す

まっすぐ引き抜いてください。
microSDメモリカードが出てこない場合は指で軽く引き出して取り外してください。
microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

2 電池パックを取り付けて、電池フタを装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

memo

◎アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンとデータのやりとりをする

本製品本体とパソコンを接続すると、本体の内部ストレージおよびmicroSDメモリカードがパソコンに認識され、データをドラッグ＆ドロップできるようになります。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。

memo

◎次の場合には、パソコン側でmicroSDメモリカードがマウント（読み書き可能状態）されないことがあります。
- microSDメモリカードがセットされていない場合
- ステータスバーが表示されないようなフルスクリーンで画面表示するアプリケーションが起動している場合

◎一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されていない場合もあります。
◎USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSBケーブルを使用してファイルを転送できます。
- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP

◎パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。

microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンを接続すると、本製品とパソコンの間でデータをやり取りできるようになります。お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP）」で接続されます。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。
- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

1 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続

初めてmicroUSBケーブルで接続したときは、パソコンに本製品のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionのインストール確認画面が表示されます。

2 ［スキップ］

内部ストレージおよびmicroSDメモリカードがパソコンに接続されます。

■メディア転送モード（MTP）で接続する場合

3 パソコン上の画面に、ポータブルデバイスとして本製品が表示されていることを確認

本製品の内部ストレージおよびmicroSDメモリカードにアクセスできるようになります。

■ファイル転送モード（MSC）で接続する場合

3 パソコン上の画面に、リムーバブルディスクとして表示されていることを確認

microSDメモリカードにアクセスできるようになります。

memo

◎ホーム画面で［ ］→［設定］→［Xperia™］→［USB接続設定］と操作すると、接続状態の確認や以下の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを起動します。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」および「ファイル転送モード（MSC）」から選択できます。
信頼された機器	Wi-Fi®ネットワーク経由でホストとなる機器と本製品とをペア接続します（▶P.108）。

USB接続モードを「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えてパソコンに接続するとリムーバブルディスクとしてmicroSDメモリカードにアクセスします。本体側でmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラ、アルバム、WALKMANなどでmicroSDメモリカードを使用する機能が利用できなくなる場合があります。

◎PC Companionをインストールすると、本体のソフトウェア更新をパソコンに接続して行うことができます（▶P.142）。また、パソコンと接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成するなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認できます。

Support Zone	本製品のソフトウェア更新をパソコンに接続して行います（▶P.142）。
Contacts Setup	以前ご利用の携帯電話の連絡先を本製品にコピーできます。
Media Go	▶P.108「Media Goを利用する」
Sync Zone	電話帳やカレンダーを、パソコンやGoogleと本製品の間で同期します。
バックアップと復元	本製品に保存したデータのバックアップや、別の携帯電話への移動などができます。
ファイルマネージャ	本製品内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

◎パソコンに接続すると自動的に充電を開始します。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用する方法を説明します。

■メディア転送モード（MTP）の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSBケーブルを取り外す

■ファイル転送モード（MSC）の場合

1 データ転送中でないことを確認

2 ステータスバーを下にスライド

3 ［SDカードが接続されました］

ステータスバーに「SDカードが接続解除されました」と表示されます。

4 microUSBケーブルを取り外す

本体とパソコンでデータをドラッグ＆ドロップする

画像や音楽などのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されていない場合もあります。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。

1 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続（▶P.107）

2 本製品とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ＆ドロップ

memo

◎microSDメモリカードがパソコンにマウントされると、本体からはmicroSDメモリカードにアクセスできなくなるため、カメラなどでmicroSDメモリカードを使用する機能が利用できなくなる場合があります。

Wi-Fi®機能を使って本製品とパソコンを接続する

Wi-Fi®ネットワーク上で本製品とパソコン※1がペアになるように接続設定しておくことで、本製品のユーザーがWi-Fi®ネットワークエリア内に出入りした際、本製品の内部ストレージとパソコンが自動的に接続／切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージ内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。

※1 パソコンのオペレーティングシステム（OS）は、Microsoft Windows 7またはMicrosoft Windows 8である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のオペレーティングシステム（OS）ではペア接続の設定はできません。

1 ペア接続するパソコンを、Wi-Fi®ネットワークに接続

2 本製品をWi-Fi®ネットワークに接続（▶P.114）

3 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続

本製品上にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、「スキップ」をタップしてください。

4 パソコン上の画面に、ポータブルデバイスとして本製品が表示されていることを確認

5 ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックし、「次へ」をクリック

6 本製品上のポップアップ画面で［ペア］

7 パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリック

8 microUSBケーブルを取り外す

9 本製品のホーム画面で［▦］→［設定］→［Xperia™］→［USB接続設定］→「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ→［接続］

Wi-Fi®ネットワーク上でパソコンと本製品が「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやりとりできるようになります。

memo

◎初めてご利用になる場合は、手順9の後でパソコン側にドライバをインストールする必要があります。ドライバをインストールするには、パソコンのスタートメニューから「コンピューター」→「ネットワーク」をクリック→表示されている本製品のアイコンを右クリックし、「インストール」をクリックします。

◎接続設定を解除するには、本製品のホーム画面で［▦］→［設定］→［Xperia™］→［USB接続設定］→「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップ→［除外する］と操作します。
「除外する」をタップするまでは、Wi-Fi®ネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。

◎Wi-Fi®ネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。

Media Goを利用する

Media Goは、本製品とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、本製品へ転送することができます。

- Media GoはPC Companionからインストールすることができます。パソコンにインストールしたPC Companionを起動し、「Sony PC Companion」画面でMedia Goをインストールしてください。
PC Companionのインストール方法については、「PC Companionがパソコンにインストールされていない場合」（▶P.142）をご参照ください。

◎Media Goは、下記のホームページからダウンロードして入手することもできます。
http://www.sonymobile.co.jp/mediago/

◎Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのヘルプをご参照ください。

ファイルコマンダーを使ってファイルをコピー／移動する

「ファイルコマンダー」アプリケーションを利用してファイルのコピー／貼り付けなどができます。
microSDメモリカードのフォルダは「Sdcard1」と表示されます。

memo

◎初めて使用するときは、名前などを登録する画面が表示されます。「後で登録」または「今すぐ登録」のどちらかを選択してください。

本製品からmicroSDメモリカードにファイルをコピー／移動する

1 ホーム画面で［▦］→［ファイルコマンダー］

ファイルコマンダー画面が表示されます。

2 ［内部ストレージ］→フォルダを選択

3 コピー／移動するファイルにチェックを入れる→［切り取り］／［コピー］

4 ファイルコマンダー画面が表示されるまで［↩］をタップ→［Sdcard1］

microSDメモリカードが確認できます。

5 任意の場所で［編集］→［貼り付け］

microSDメモリカードから本製品にファイルをコピー／移動する

1 ファイルコマンダー画面→［Sdcard1］

microSDメモリカードが確認できます。
ファイルコマンダー画面が表示されていない場合はファイルコマンダー画面が表示されるまで［↩］をタップします。

2 フォルダを選択

3 コピー／移動するファイルにチェックを入れる→［切り取り］／［コピー］

4 ファイルコマンダー画面が表示されるまで［↩］をタップ→［内部ストレージ］

本製品の内部ストレージが確認できます。

5 任意の場所で［編集］→［貼り付け］

Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する

Wi-Fi®機能を利用して、他のクライアント(DLNA: Digital Living Network Alliance)機器と本製品のメディアファイルを共有し再生できます。
操作の前にあらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi®接続(▶P.114)を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]**

2 **[メディアサーバー設定]**
メディアサーバー設定画面が表示されます。

3

サーバー名の変更	クライアント機器上で見える本製品(サーバー)の名称を変更できます。
コンテンツ共有	クライアント機器からWi-Fi®経由で本製品に接続できるように設定します。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	本製品に登録されたクライアント機器を管理します。

memo
◎メディアサーバー設定画面→[⋮]→[Wi-Fi設定]と操作すると、Wi-Fi®接続を設定できます。
◎「アルバム」/「ムービー」/「WALKMAN」アプリケーションからもメディアサーバーを設定することができます。

DLNA機器のメディアファイルを本製品で再生する

あらかじめDLNA機器をWi-Fi®接続し、本製品からのアクセスを許可しておいてください。

1 **ホーム画面で[▦]→[アルバム]/[ムービー]/[WALKMAN]**

2 **[マイアルバム]/[Devices]/[マイミュージック]**

3 **接続するデバイス名を選択→フォルダを選択**

4 **メディアファイルをタップ**

本製品のメディアファイルをDLNA機器で再生する

あらかじめDLNA機器をWi-Fi®接続しておいてください。

1 **ホーム画面で[▦]→[アルバム]/[ムービー]/[WALKMAN]**

2 **再生するファイルをタップ**

3 **[⋮]→[Throw]**

4 **表示されたデバイスをタップ**
DLNA機器で再生されます。

メモリを管理する

メモリの使用量を確認する

本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード、USBストレージの容量を確認できます。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**
本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード、USBストレージの合計容量と空き容量が表示されます。

memo
◎microSDメモリカードを認識していない場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]→[SDカードをマウント]と操作してください。

メモリをフォーマットする

microSDメモリカード、USBストレージを初期化できます。
- USBストレージとは、市販のリーダー/ライターケーブルを使って本製品に接続されたmicroSDメモリカードなどの外部記録媒体のことです。

microSDメモリカードをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**

2 **[SDカード内データを削除]**

3 **[SDカード内データ削除]→[すべて削除]**

USBストレージをフォーマットする

あらかじめ、microSDメモリカードなどの外部記録媒体を挿入した市販のリーダー/ライターケーブルを、本製品に接続しておきます。
フォーマットを行うと、USBストレージ(microSDメモリカードなどの外部記録媒体)に保存されているデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で[▦]→[設定]→[ストレージ]**

2 **[USBストレージ内データ削除]**

3 **[削除]→[すべて削除]**

本製品の本体メモリの空き容量を増やす

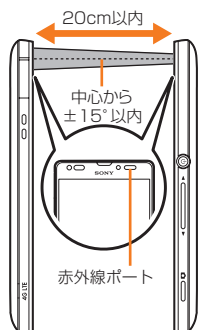
本製品の本体メモリの空き容量が少ない場合、次の操作を行うと空き容量を増やすことができます。
- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳細については、「履歴を削除する」(▶P.73)をご参照ください。
- 使用しないアプリケーションをアンインストールします。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」(▶P.94)をご参照ください。

データ通信

赤外線通信

本製品と赤外線通信機能を持つ他の端末との間で、連絡先、カメラで撮影したデータ、アルバムで表示されるデータなどを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかい布で赤外線ポートを拭いてください。
◎送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎赤外線通信中に着信した場合は、赤外線通信を終了して着信画面を表示します。
◎赤外線通信中にアラームの設定時刻になった場合は、赤外線通信を終了してアラームが鳴ります。
◎赤外線通信中は、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。
◎データの送受信が完了すると、「着信音/標準の通知音を設定する」(▶P.120)で設定した標準の通知音で通知します。通知音量の設定については、「各種音量を調節する」(▶P.120)をご参照ください。マナーモード設定中には通知音は消音されます。通知音のオン/オフを切り替えるには、ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]→[通知音]と操作します。

■ 送受信できるデータについて

- 連絡先
- 自分の連絡先
- アルバムで表示されるデータ
- オーディオ(オーディオファイル)

memo

◎送受信できるデータ容量は2MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。
◎受信したデータは本製品の内部ストレージに保存されます。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]

赤外線通信ウィジェットに関する確認画面が表示されたら、「OK」をタップします。
「次回から表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [1件受信]/[複数件受信]

「複数件受信」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

3 データを受信したら[はい]

連絡先を受信したときに、同期しているアカウントがある場合は、「本体連絡先」/同期しているアカウントの連絡先から保存先を選択できます。

memo

◎画像、動画、オーディオの複数件の受信はできません。
◎本体メモリの容量がいっぱいの場合は、連絡先を保存できないことがあります。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が127文字(Unicode)以上のデータは正しく保存できない場合があります。

赤外線でデータを送信する

各機能の共有メニューや「赤外線通信」アプリケーションからデータを送信できます。

■各機能の共有メニューから送信する場合

1 各機能の共有メニューで[赤外線通信]

連絡先を赤外線通信で送信する場合は、ホーム画面で[▦]→[連絡先]→送信する連絡先を選択→[⋮]→[連絡先を送信]→[OK]→[赤外線通信]と操作します。

■「赤外線通信」アプリケーションから送信する場合

1 ホーム画面で[▦]→[赤外線通信]

赤外線通信ウィジェットに関する確認画面が表示されたら、「OK」をタップします。
「次回から表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [送信]

3 送信するデータの種別を選択

アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」/「今回のみ」をタップします。
「連絡先全件」を選択した場合は、認証パスコードを入力します。

memo

◎画像、動画、オーディオの複数件の送信はできません。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。障害物のない10m以内の範囲での使用を推奨します。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。本製品とBluetooth®機器のペア設定を行う必要がある場合もあります。

Bluetooth®

Bluetooth®機能でできること

■ オーディオ出力

ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。

■ ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■ データ送受信

連絡先、カメラで撮影したデータ、アルバムで表示中のデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎本製品で対応しているBluetooth®のプロファイルについては、「主な仕様」(▶P.143)をご参照ください。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ソニーモバイルACアダプタ05(別売)のmicroUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペア設定中)」「データ送受信中」「登録機器一覧からの検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

オーディオ機器と本製品の間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、「 」を右方向にドラッグすると通話することができます。Bluetooth®で音楽再生中は、音楽が一時停止します。Bluetooth®でデータ通信中は、Bluetooth®通信を継続します。
- アラームを設定した時刻と重なった場合は、アラーム画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→Bluetoothの[ ]

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに (接続待機中のアイコン)が表示されます。

2 [Bluetooth]→[Xperia UL]

本製品が、他のBluetooth®機器から2分間検出可能になります。

memo

◎初期設定では、Bluetooth®機能はオフです。オンにして本製品の電源を切ると、Bluetooth®機能もオフになります。電源を再度入れると、Bluetooth®機能は自動的にオンになります。
◎Bluetooth®をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。
◎オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

■ Bluetooth®の起動状態を示すアイコンについて

アイコン	説明
	Bluetooth®オン(接続待機中)
	Bluetooth®接続中
	Bluetooth®機能の接続要求通知あり

■ 本製品の名前を変更する

Bluetooth®機能を使用するときに、Bluetooth®デバイスに表示される本製品の名前を入力できます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[Bluetooth]

2 [ ]→[端末の名前を変更]→端末の名前を入力→[名前を変更]

■ ハンズフリー通話について

Bluetooth®をオンにした状態で、ハンズフリー機器(最後に接続した機器または優先接続先設定で設定した機器)やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

◎ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」/「HFP」です。
◎ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー通話中に を押すと、ハンズフリー対応機器の受話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。
◎ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

Bluetooth®機器を登録する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器をペアに設定します。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[Bluetooth]

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 [機器の検索]

検出されたBluetooth®機器名が、一覧表示されます。

3 ペア設定を行うBluetooth®機器名を選択

ペア設定リクエスト画面が表示されます。

4 [ペア設定する]

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4〜16桁の数字)を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器を使用できます。
Bluetooth®機器によっては、ペア設定完了後、接続やスマートコネクトの設定を行う機器もあります。

memo

◎Bluetooth®機器と接続中は、「機器の検索」を実行できない場合があります。
◎ペア設定を行う機器側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎セキュアシンプルペアリング(SSP)機能に対応したBluetooth®機器とペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。
◎接続するBluetooth®機器名が表示されていないときは、「機器の検索」をタップして、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

■ ペア設定について

一度本製品とBluetooth®機器のペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。本製品と他のBluetooth®機器のペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力を必要とする場合があります。本製品は、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。ペア設定を行ったBluetooth®機器に次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。
2つのBluetooth®ヘッドセットとペア設定するという使い方はできませんが、同じBluetooth®プロファイルを使用していない状態で、複数のBluetooth®機器とペア設定を行うことはできます。

他のBluetooth®機器と接続する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続するBluetooth®機器名をタップ

機器と接続中は、ステータスバーに[Bluetooth]が表示されます。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名をタップ

2 [OK]

再接続するときは、機器名をタップします。

Bluetooth®機器の登録を解除する

1 Bluetooth設定画面→Bluetooth®機器リストで、接続中のBluetooth®機器名の[設定]

2 [ペアを解除]

接続が切断され、ペア設定も解除されます。

Bluetooth®でデータを送受信する

各機能のメニューからBluetooth®でデータを送受信できます。

Bluetooth®でデータを受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

1 相手のBluetooth®機器からデータを送信

ステータスバーに[Bluetooth]が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Bluetooth共有：ファイル受信]→[受信]

Bluetooth®でデータを送信する

1 各機能の共有メニューで[Bluetooth]→送信するBluetooth®機器を選択

連絡先をBluetooth®で送信する場合は、ホーム画面で[▦]→[連絡先]→送信する連絡先を選択→[⋮]→[連絡先を送信]→[OK]→[Bluetooth]と操作し、送信するBluetooth®機器を選択します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機（Wi-Fi®ネットワーク）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎Wi-Fi Direct機能（▶P.115）を利用中、またはスクリーンミラーリング（▶P.121）中にWi-Fi®接続を開始した場合は、Wi-Fi Direct機能／スクリーンミラーリングは終了します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにする

Wi-Fi®を使用するには、Wi-Fi®をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→Wi-Fiの[OFF]

Wi-Fi®が起動します。
※Wi-Fi®接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。

◎Wi-Fi®がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®が優先されます。
◎Wi-Fi®ネットワークが切断された場合には、自動的にLTE／3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
◎Wi-Fi®を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi設定画面が表示されます。
利用可能なWi-Fi®ネットワークが表示されます。
[Wi-Fi]が表示されているWi-Fi®ネットワークは、オープンネットワークです。
[Wi-Fi（鍵）]が表示されているWi-Fi®ネットワークは、セキュリティで保護されています。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）の入力が必要になります。
接続が完了すると、ステータスバーに[Wi-Fi]が表示されます。

memo

◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎次回接続時には、本体にセキュリティキーが記憶されています。
◎アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、「認証に問題」や「接続が制限されています」などと表示されます。

■ ステータスバーに表示されるWi-Fi®ネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fi®ネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	Wi-Fi®ネットワークに接続すると表示されます。
	Wi-Fi®ネットワークで通信すると表示されます。
	Auto IP機能を使ってWi-Fi®ネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※1

※1 Wi-Fi®ネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fi®ネットワークの通知をオンにしておく必要があります（▶P.115）。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のオープンネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

• あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.114）。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［詳細設定］→「ネットワークの通知」にチェックを入れる

ネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fi®ネットワークを手動でスキャンする

• あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.114）。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［スキャン］

スキャンが開始され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→［接続］

Wi-Fi®ネットワークに接続します。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

• あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.114）。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティタイプを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 ［保存］

◎手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

◎Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークを変更］と操作すると、パスワードを編集できます。

WPS対応機器でWi-Fi®ネットワークに接続する

WPSとは、無線LAN（Wi-Fi®）機器の接続やセキュリティに関する複雑な設定を簡単に行うことができる機能です。本製品のWPS機能を使うと、WPSに対応している無線LAN（Wi-Fi®）機器をアクセスポイントにしてWi-Fi®ネットワークに接続できます。必要に応じて、WPS対応機器の設定を行ってください。

• あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.114）。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］

2 画面の指示に従って操作

Wi-Fi®ネットワークに接続します。

memo

◎Wi-Fi設定画面→［ ］→［WPS PIN入力］と操作しても、Wi-Fi®ネットワークに接続できます。

接続中のWi-Fi®ネットワーク情報を確認する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

ネットワーク情報の詳細が表示されます。

◎手順1で［ ］→［詳細設定］と操作すると、Auto IP機能のオン／オフを切り替えたり、「MACアドレス」および「IPアドレス」を確認できます。

Wi-Fi®を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 ［切断］

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークから切断］と操作しても、Wi-Fi®接続を切断できます。

◎切断すると、再接続のときにセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®のスリープ設定をする

Wi-Fi®のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本製品のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［詳細設定］→［スリープ時のWi-Fi接続］

2 Wi-Fi®のスリープ設定を選択

「使用する」「充電時にのみ使用する」「使用しない（モバイルデータ使用量増加）」のいずれかをタップします。

Wi-Fi Direct機能を利用する

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応したデバイス間で直接Wi-Fi®接続ができます。

• あらかじめWi-Fi®機能をオンにしておく必要があります（▶P.114）。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［Wi-Fi Direct］

検出されたWi-Fi Direct対応機器名が一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択

Wi-Fi®ネットワーク接続中は注意文が表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップします。

「機器の検索」をタップすると、検出一覧を更新できます。

検出されたWi-Fi Direct対応機器側で表示される本製品の名前を変更するには、「機器名を変更」をタップします。

memo

◎Wi-Fi Direct機能を利用するには、Wi-Fi Direct機能に対応したアプリケーションが必要です。対応するアプリケーションをインストールすることで利用可能となります。

◎Wi-Fi®ネットワークに接続しているときに、Wi-Fi Directの接続を開始すると、Wi-Fi®接続が切断され、自動的にLTE／3Gネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままパケット通信をご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品をUSB対応のパソコンと接続し、モデムとして利用することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[テザリング]

2 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続

初めてmicroUSBケーブルを接続したときは、パソコンに本製品のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionのインストール確認画面が表示されます。

3 [スキップ]

内部ストレージおよびmicroSDメモリカードがパソコンに接続されます。

4 [USBテザリング]→注意事項画面の内容を確認して[OK]

◎USBテザリングに必要なパソコンのオペレーティングシステム（OS）は以下の通りです。

- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP※1
- Linux

※1 Microsoft Windows XPはPC Companionのインストールが必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリング]

2 注意事項画面の内容を確認して[OK]

◎Wi-Fi®ネットワークに接続しているときに、Wi-Fi®テザリングを開始するとWi-Fi®接続は切断されますが、Wi-Fi®テザリングを終了すると自動的に接続されます。また、Wi-Fi®機能を利用してDLNA機器と本製品を接続しているときにも、Wi-Fi®テザリングを開始／終了すると自動的に切断／接続されます。

◎ステータスバーを下にスライドして、通知パネルを開き、「テザリング」をタップしても、オン／オフを切り替えることができます。ただし、通知パネルからWi-Fi®テザリングをオフにした場合、Wi-Fi®接続は自動的に接続されません。

ポータブルWi-Fi®アクセスポイントを設定する

本製品を無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントとして利用し、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器をインターネットに10台まで同時に接続することができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリング設定]→[Wi-Fiテザリング設定]

2 設定するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

お買い上げ時には「Xperia UL_XXXX」が設定されています。

3 セキュリティタイプを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

◎お買い上げ時にはパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。

Bluetooth®テザリングを利用する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[テザリング]→[Bluetoothテザリング]

2 注意事項画面の内容を確認して[OK]

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを起動する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

◎ステータスバーを下にスライド→[設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
Wi-Fi	Wi-Fi®を設定します。	P.114
Bluetooth	Bluetooth®を設定します。	P.112
データ使用	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.118
その他の設定	機内モード、VPN、テザリングなどの通信に関する設定をします。	P.118
通話設定	留守番電話、転送電話などネットワークサービスを設定します。	P.119
音設定	音声着信音、操作音、バイブレータ(振動)、メディア再生音量などを変更できます。	P.119
画面設定	モバイルブラビアエンジン2、画面の自動回転(縦横表示の切り替え)、スリープなど、画面表示に関する設定をします。	P.120
ストレージ	microSDメモリカード、USBストレージ、内部ストレージの容量を表示します。また、microSDメモリカード、USBストレージの初期化を行います。	P.121
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.121
アプリ	ダウンロードしたアプリケーションの確認や、実行中のアプリケーションに関する設定をします。	P.121
Xperia™	パソコンや他の機器にUSB接続またはWi-Fi®で接続するときの設定などをします。	P.121
位置情報サービス	Wi-Fi®やGPS機能などを使った位置情報に関する設定をします。	P.121
セキュリティ	画面ロックの設定などセキュリティに関する設定をします。	P.122
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定をします。	P.123
バックアップとリセット	Googleアカウントを使用して、アプリケーションなどのバックアップの設定をしたり、データの初期化を行います。	P.123
セットアップガイド	セットアップガイドを表示し、初期設定(各機能の設定)を行います。	P.123
アカウントを追加	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定をします。	P.123
日付と時刻	日付と時刻の表示形式の設定などをします。	P.124
ユーザー補助	通話終了の操作や、ユーザー補助サービスを設定します。	P.125
開発者向けオプション	USBデバッグや擬似ロケーションなど、開発者向けの設定をします。	P.125
端末情報	電話番号や電池状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もできます。	P.125

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面

2

Wi-Fi	▶P.114「無線LAN(Wi-Fi®)機能」	
Bluetooth	▶P.112「Bluetooth®機能」	
データ使用	データ使用量の確認や、データ通信を使用するかどうかなどを設定します。 ・「モバイルデータ通信」の「[ ]」をタップすると、Eメールの送受信などができなくなります。 ・「モバイルデータの制限を設定」にチェックを入れると、データ使用量の上限を設定することができます。 ・[⋮]→[データローミング]/[バックグラウンドデータ制限]→[OK]と操作して、データ通信の詳細な設定を行うことができます。 ・[⋮]→「Wi-Fiの使用状況を表示」にチェックを入れると、「Wi-Fi」タブが表示され、Wi-Fi®のデータ使用量を確認できます。 ・[⋮]→[モバイルアクセスポイント]→制限したいWi-Fi®ネットワークにチェックを入れると、特定のWi-Fi®ネットワークの利用を制限することができます。	
その他の設定	機内モード	▶P.118「機内モードの設定をする」
	VPN	▶P.119「VPNを設定する」
	テザリング	▶P.116「テザリング機能を利用する」
	メディアサーバー設定	▶P.109「Wi-Fi®機能を使ってDLNA機器とファイルを共有する」
	モバイルネットワーク	▶P.119「モバイルネットワークを設定する」 ▶P.135「ネットワークモードを設定する」 ▶P.135「PRL(ローミングエリア情報)を取得する」
	NFC/おサイフケータイ設定	▶P.90「おサイフケータイ®」

memo

◎ステータスバーを下にスライド→[モバイルデータ]と操作しても、モバイルデータ通信のオン/オフを設定できます。

機内モードの設定をする

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、NFC R/W P2P機能)がすべてオフになります。

■ 機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面→[その他の設定]

2 「機内モード」にチェックを入れる

「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。
機内モードが設定されると、ステータスバーに✈が表示されます。

memo

◎ⓟ(1秒以上長押し)→[機内モード]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[機内モード]と操作しても、オン/オフを切り替えることができます。
◎機内モードがオンの場合でもWi-Fi®、Bluetooth®、NFC R/W P2P機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fi®、Bluetooth®、NFC R/W P2P機能を使用しないよう注意してください。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN: Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - ・PPTP
  - ・L2TP/IPSec PSK
  - ・L2TP/IPSec RSA
  - ・IPSec Xauth PSK
  - ・IPSec Xauth RSA
  - ・IPSec Hybrid RSA

■ VPNを追加する

1 **設定メニュー画面→[その他の設定]→[VPN]**
初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.122)をご参照ください。

2 **[VPNプロフィールの追加]**

3 **ネットワーク管理者の指示に従いVPN設定の各項目を設定**

4 **[保存]**
VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

memo

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。
編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[プロフィールを編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[プロフィールを削除]と操作します。

■ VPNに接続する

1 **設定メニュー画面→[その他の設定]→[VPN]**
VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 **接続するVPNをタップ**

3 **ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力→[接続]**
VPNに接続すると、ステータスバーに が表示されます。

■ VPNを切断する

1 **ステータスバーを下にスライド**

2 **VPN接続中を示す通知をタップ→[切断]**

memo

◎設定メニュー画面→[その他の設定]→[VPN]→接続中のVPNをタップ→[切断]と操作しても、VPN接続を切断できます。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■ データ通信を設定する

1 **設定メニュー画面→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]**
モバイルネットワーク設定画面が表示されます。

2 **「モバイルデータ通信」にチェックを入れる→[はい]**
通信料に関するメッセージが表示されます。
お買い上げ時は「モバイルデータ通信」はオンに設定されています。

memo

◎「モバイルデータ通信」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)/LTE通信でのパケット通信ができなくなります。
◎ローミング設定については、「データローミングを設定する」(▶P.135)をご参照ください。
◎通常は、モバイルネットワーク設定画面の「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にするとデータ通信が行えなくなる場合があります。

通話関連機能の設定をする

1 **設定メニュー画面→[通話設定]**

2

留守番電話	▶P.130「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」
転送電話	▶P.128「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」
割込通話	▶P.129「割込通話サービスを利用する(標準サービス)」
国番号表示(日本在圏時)	日本国内での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
国番号表示(海外在圏時)	海外での電話発信時に国番号一覧を表示するかどうか設定します。
発信者番号通知	▶P.130「発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)」
マイクのノイズ抑制	通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
イコライザー	音質を設定できます。
スピーカー音拡張設定	通話中の音声を聞き取りやすくします。通話中はオン/オフを切り替えることができません。
会話速度を下げる	通話相手の会話速度を下げて、聞き取りやすくします。
アカウント	インターネット通話(SIP)アカウントの設定をします。
通話方法	インターネット通話(SIP)の通話方法を設定します。

音の設定をする

1 **設定メニュー画面→[音設定]**

2

Clear Phase™	内蔵スピーカーに適した音質に設定します。
xLOUD™	オーディオ再生レベル強調技術("xLOUD")を設定すると、WALKMAN、LISMO Player、YouTube、アルバムなどの再生時に、内蔵スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。
音量	▶P.120「各種音量を調節する」
着信音	▶P.120「着信音/標準の通知音を設定する」
着信時のバイブレーション	▶P.120「バイブレータを設定する」
標準の通知音	メール着信などの通知音を設定します。▶P.120「着信音/標準の通知音を設定する」
ダイヤルパッド操作音	▶P.120「操作音をオンにする」
タッチ操作音	
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本製品を振動させるかどうかを設定します。

memo

◎マナーモードの設定については、「マナーモードを設定する」(▶P.38)をご参照ください。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[音設定]→[音量]

次の項目の音量を調節します。
- 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
- 着信音と通知音
- アラーム

2 スライダを左右にドラッグ

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 [OK]

◎音設定でアラームの音量を設定していても、「アラームと時計」アプリケーションで設定している「アラームの音量」(▶P.99)が優先されます。

着信音/標準の通知音を設定する

Media Go(▶P.108)から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音や標準の通知音として設定できます。

1 設定メニュー画面→[音設定]→[着信音]/[標準の通知音]

アプリケーション選択画面が表示された場合は、アプリケーションを選択し、「常時」/「今回のみ」をタップします。

2 画面の指示に従って操作

◎音量キーの上下を押すと、音量のスライダが表示され、着信音量を調節することができます。
◎着信時に音量キーまたは電源キーを押すと、着信音を消音にすることができます。

バイブレータを設定する

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「着信時のバイブレーション」にチェックを入れる

着信中に着信音と着信バイブレータが鳴動します。

◎チェックを外すと、バイブレータは作動しません。

操作音をオンにする

1 設定メニュー画面→[音設定]

2 「ダイヤルパッド操作音」/「タッチ操作音」にチェックを入れる

「ダイヤルパッド操作音」はダイヤルパッドをタップしたときの操作音、「タッチ操作音」はメニュー項目をタップしたときの操作音です。チェックを外すと、タップしたときに操作音が鳴らないようになります。

◎ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、設定メニュー画面→「言語と入力」の各キーボードの設定画面から設定します。

画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2

項目	説明
モバイルブラビアエンジン2	色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理(モバイルブラビアエンジン2)を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。
画面の明るさ	画面の明るさレベルを調節します。
ホワイトバランス	▶P.120「ホワイトバランスを調整する」
壁紙	ホーム画面の壁紙を「Xperia™の壁紙」/「アルバム」/「ライブ壁紙」から選択できます。また、ホーム画面からも設定できます(▶P.29)。
画面の自動回転	▶P.38「縦/横画面表示を自動で切り替える」
スリープ	画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
テーマ	ホーム画面や画面ロック解除画面などの画像を設定します。
クイック設定ツール	▶P.120「通知パネルに表示するクイック設定ツールを編集する」
ロック画面	▶P.120「画面ロック解除画面の壁紙を変更する」

memo

◎ステータスバーを下にスライド→[バックライト]と操作すると、画面の明るさを最大/暗め(最大から約30%程度の明るさ)の設定に切り替えることができます。

ホワイトバランスを調整する

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[ホワイトバランス]

2 「彩度」/「色相」のスライダを左右にドラッグ

「ここを長押しすると以前の設定が確認できます」と表示された部分をロングタッチすると、調整前の設定を確認することができます。

3 [完了]

memo

◎手順2で[⋮]→[初期値に戻す]と操作すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

通知パネルに表示するクイック設定ツールを編集する

通知パネルに表示するクイック設定ツール(▶P.37)の数とその並び順を編集できます。

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[クイック設定ツール]

■表示するクイック設定ツールを選択する場合

2 表示したいツールにチェックを入れる

最大10個まで表示できます。

■クイック設定ツールの並び順を変更する場合

2 並び順を変更したいツールの「▦」を上下にドラッグ

画面ロック解除画面の壁紙を変更する

画面ロックの解除方法(▶P.122)を「スワイプ」に設定した場合の壁紙のみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[画面設定]→[ロック画面]

2 [壁紙]→アプリケーションを選択

設定する壁紙を選択し、画面の指示に従って設定します。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2

内部ストレージ	合計容量	内部ストレージのアプリ、画像・動画、オーディオ(音楽・着信音など)、ダウンロード、その他、空き容量などを確認します。
SDカード	合計容量	microSDメモリカードの空き容量などを確認します。
	SDカードのマウント解除※1	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードを安全に取り外します。
	SDカードをマウント※1	microSDメモリカードを認識させます。
	SDカード内データを削除※1	▶P.109「microSDメモリカードをフォーマットする」
外部USBストレージ	合計容量	USBストレージの空き容量などを確認します。
	USBストレージのマウント解除※1	USBストレージの認識を解除して、USBストレージを安全に取り外します。
	USBストレージをマウント※1	USBストレージを認識させます。
	USBストレージ内データ削除※1	▶P.109「USBストレージをフォーマットする」
その他	SDカードへデータ転送	内部ストレージの画像、動画、音楽データをmicroSDメモリカードへ転送します。

※1 microSDメモリカードやUSBストレージの認識状態によって表示が変わります。

memo

◎USBストレージとは、市販のリーダー/ライターケーブルを使って本製品に接続されたmicroSDメモリカードなどの外部記録媒体のことです。

■ ファイルコマンダーを使ってデータをコピーする

「ファイルコマンダー」アプリケーションを利用して、本製品とmicroSDメモリカードとの間でデータのコピー/移動ができます。詳しくは、「ファイルコマンダーを使ってファイルをコピー/移動する」(▶P.108)をご参照ください。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー画面→[電池]

電池残量や電池使用時間などが表示されます。

アプリケーションの設定をする

1 設定メニュー画面→[アプリ]

2

ダウンロード	▶P.94「アプリケーションを管理する」
実行中	現在実行中のサービスを表示/管理します。
すべて	すべてのアプリケーションの容量や使用状況などを表示します。

Xperia™の設定をする

1 設定メニュー画面→[Xperia™]

2

MirrorLink™の開始	ソニーモバイルACアダプタ05(別売)のmicroUSBケーブルなどを使用して、MirrorLink™に対応した機器から本端末を操作できるように設定します。
PlayStation Certifiedについて	PlayStationの商標を確認します。
Throw設定	本製品のさまざまなコンテンツを他の機器で再生できます。
USB接続設定	▶P.107「microUSBケーブルでパソコンと接続する」
シンプルホーム	▶P.31「シンプルホームに切り替える」
スクリーンミラーリング※1	スクリーンミラーリングに対応したテレビ※2に接続し、本製品の画面を表示します。

※1 使用環境によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
Wi-Fi アンテナ部付近を手でおおうと、転送する映像の品質に影響を及ぼす場合があります。
Wi-Fi® ネットワークに接続しているときに、スクリーンミラーリングを開始すると、Wi-Fi® 接続が切断され、自動的に LTE / 3G ネットワークでの接続に切り替わります。
※2 HDCPに対応した機器のみ接続可能です。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報サービス]

2

位置情報にアクセス	GPS機能やWi-Fi®機能、モバイルネットワークを使用して現在地を測位できます。
GPS機能	▶P.96「GPS機能/位置情報サービスを有効にする」
Google位置情報サービス	

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]

2

画面のロック	▶P.122「画面ロックの解除方法を設定する」
顔認識の精度を改善※1	フェイスアンロックの精度を改善します。
生体検知※1	フェイスアンロックでの解除時に、まばたきが必要かどうかを設定します。
パターンを表示する※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうか設定します。
自動ロック※1	画面消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック※1	ⓟを押すと、画面ロックするかどうかを設定します。
タッチ操作時のバイブ※1	画面ロック解除の操作時に、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。
所有者情報	ロック画面に所有者の情報を表示します。
端末の暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにPINコードまたはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定※2	本製品使用時にPIN入力が必要になります。▶P.122「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	▶P.94「アプリケーションを管理する」
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
内部ストレージからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージのデータ削除	認証情報ストレージ※3からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。

※1 「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。
※2 au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は表示されません。
※3 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

画面ロックの解除方法を設定する

本製品の電源を入れたり、画面のバックライトが消灯している状態から復帰するたびに画面ロック解除が必要になることで、データを保護します。画面ロックの設定には、「スワイプ」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」の5種類があります。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[画面のロック]

2 [スワイプ]/[フェイスアンロック]/[パターン]/[PIN]/[パスワード]

「フェイスアンロック」をタップした場合は、画面の指示に従って、顔認証を設定します。顔認証による画面ロック解除ができない場合の解除方法として、「パターン」または「PIN」を選択して設定する必要があります。
「パターン」をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
「PIN」をタップした場合は、画面の指示に従って、4~16桁の数字を入力します。
「パスワード」をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4~16桁の文字を入力します。

■ 画面ロックの解除方法を変更する

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[画面のロック]

2 現在のロック解除パターン/PIN/パスワードを入力

3 新しく変更する項目を選択

設定方法は「画面ロックの解除方法を設定する」(▶P.122)をご参照ください。

■ 画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定(▶P.122)した後に、ⓟを押す、または自動的に画面のバックライトが消灯してから「自動ロック」の設定時間が経過すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する

1 ⓟを押して、バックライトを点灯

2 画面のロック解除方法を入力

設定されている画面ロックの解除方法(スワイプ/フェイスアンロック/パターン/PIN/パスワード)を入力します。

memo

◎「フェイスアンロック」/「パターン」/「PIN」/「パスワード」を設定している場合、画面ロック解除画面→[緊急通報]と操作すると、緊急通報ができます。

■ ロック解除パターンを忘れた場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。

- 「次へ」をタップすると、「秘密の質問」画面が表示されます。画面ロック解除パターン作成時に設定した「秘密の質問」に答えて「ロック解除」をタップすると、画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントを設定している場合は、「パターンが違います」画面で「次へ」をタップすると、「画面のロックを解除」画面が表示されます。
  「質問に回答」にチェックを入れて「次へ」をタップし、「秘密の質問」に答えて「ロック解除」をタップすると、画面ロックを解除できます。
  「Googleアカウント情報を入力」にチェックを入れて「次へ」をタップし、Googleアカウントのユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」をタップすると、画面ロックを解除できます。
- 画面ロックを解除した後に新しくロック解除パターンを設定する場合は、「画面のロックが解除されました」と表示されたら「はい」をタップして、ロック解除パターンを設定し直してください。
- 「やり直す」をタップすると、30秒後にパターンの入力を再試行できます。
  [やり直す]→[パターンを忘れた場合]と操作すると、「秘密の質問」画面または「画面のロックを解除」画面が表示されます。

memo

◎複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。
◎「PIN」/「パスワード」を設定している場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[画面のロック]

2 現在のロック解除パターン/PIN/パスワードを入力

3 [設定しない]

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.14)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]→「SIMカードをロック」にチェックを入れる

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

memo

◎SIMカードのロックを解除するには、同様の操作で解除できます。

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面で、PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

SIMカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 **設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]**

2 **現在のPINコードを入力→[OK]**

3 **新しいPINコードを入力→[OK]**

4 **もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

言語と入力に関する設定をする

1 **設定メニュー画面→[言語と入力]**

2

地域／言語		▶P.123「言語の表示を切り替える」
スペルチェッカー		スペルチェックを行うかどうかを設定します。
単語リスト		単語を登録します。
現在の入力方法		入力方法を選択します。
Google音声入力		音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
POBox Touch(日本語)		▶P.43「POBox Touch(日本語)を設定する」
中国語キーボード		▶P.43「文字入力の設定をする」
外国語キーボード		
音声検索	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	音声出力	常時またはハンズフリー時のみ音声で入力するように設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に利用するための音声認識データをダウンロードします。
テキスト読み上げ	Googleテキスト読み上げエンジン※1	テキストを読み上げる言語を設定し、Googleテキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。
	Pico TTS※1	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
ポインターの速度		マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

※1 日本語には対応しておりません。

言語の表示を切り替える

1 **設定メニュー画面→[言語と入力]→[地域／言語]**

2 **地域／言語を選択→[OK]**

日本語を選択すると「OK」が表示されますが、選択した地域／言語によって表示は異なります。

memo

◎間違った地域／言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、下記のFAQをご覧ください。
http://www.sonymobile.co.jp/sol22/faq.html

バックアップとリセットの設定をする

1 **設定メニュー画面→[バックアップとリセット]**

2

データのバックアップ	アプリケーションや設定、データなどをGoogleサーバーにバックアップするように設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データの初期化	▶P.123「本製品をリセットする」

本製品をリセットする

本製品をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本製品は初期状態(お買い上げ時の状態)に戻ります。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

1 **設定メニュー画面→[バックアップとリセット]→[データの初期化]→[携帯端末をリセット]**

必要に応じて画面のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力します。
内部ストレージに保存したデータも削除する場合は、「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れてください。

2 **[すべて削除]**

「すべて削除」をタップすると本製品は自動的に再起動します。
本製品の再起動または初期化中は、そのままお待ちください。再起動または初期化中に電池パックを取り外すと、本製品が故障するおそれがあります。

memo

◎データの初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCa™チップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。

セットアップガイドを表示する

1 **設定メニュー画面→[セットアップガイド]**

セットアップガイドが表示されます。詳しくは「初期設定を行う」(▶P.24)をご参照ください。

アカウントと同期の設定をする

自動同期を設定する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailやその他のオンラインサービスなどの自動同期を設定します。本製品およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

• 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 **設定メニュー画面→[データ使用]**

2 **[⋮]→[データの自動同期]→[OK]**

■ 手動で同期する

自動同期がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 **設定メニュー画面→アカウントの種類を選択**

2 **同期するアカウントを選択**

3 **同期する項目を選択**

■ 同期を中止する

1 **同期中(◎が表示中)に[⋮]**

2 **[同期をキャンセル]**

アカウントを追加／削除する

■ Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録･ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に表示させることができます。

1 **設定メニュー画面→[アカウントを追加]**
アカウントの追加画面が表示されます。

2 **[Facebook]**
ログイン画面が表示されます。

3 **アカウント情報を入力→[ログイン]**
Facebookアカウントをお持ちでない場合は、画面の指示に従ってアカウント登録を行ってください。

4 **[すべて同期]／[既存の連絡先と同期]／[同期しない]**

5 **[同期]／[完了]**
自動同期がオフの場合は、「手動で同期する」(▶P.123)をご参照ください。

memo

◎Facebookアカウントをお持ちでない場合は、下記のホームページからもアカウントを新規作成することができます。
http://www.facebook.com

■ Xperia™用Facebookを設定する

「Xperia™用Facebook」アカウントを設定すると、本製品のアプリケーションの機能と同期できます。

1 **設定メニュー画面→[アカウントを追加]**

2 **[Xperia™用Facebook]**

3 **アカウント情報を入力→[ログイン]**
Facebookアカウントをお持ちでない場合は、画面の指示に従ってアカウント登録を行ってください。

4 **[完了]**

memo

◎Facebookのアカウントを設定すると、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスライド→[Xperia™用Facebook]→[完了]と操作しても設定できます。
◎設定したアカウントをタップすると、次の設定ができます。

カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントを本製品のカレンダーに同期します。
友達の音楽を同期	友達がFacebookで「いいね！」を指定した音楽を本製品のWALKMANに同期します。
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールを本製品の連絡先に同期します。

◎「Xperia™用Facebook」アカウントをタップし、[アプリケーション管理設定]→各機能にチェックを入れると、本製品のアプリケーションとFacebookが同期します。

■ その他のアカウントを追加する

1 **設定メニュー画面→[アカウントを追加]**

2 **追加するアカウントの種類を選択**

3 **画面の指示に従って操作**

■ アカウントを削除する

1 **設定メニュー画面→アカウントの種類を選択→削除したいアカウントを選択→[ ]→[アカウントを削除]**

2 **[アカウントを削除]**

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。
◎Googleアカウント設定時に、「バックアップと復元」画面で「Googleアカウントでこの端末を常にバックアップする」にチェックを入れて登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。バックアップアカウントを削除すると、ステータスバーに注意メッセージが表示されます。

日付と時刻の設定をする

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付･時刻情報を使って、自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.124「日付を設定する」
時刻設定	▶P.124「時刻を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付形式	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「日付と時刻を自動設定」にチェックが入っているとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「日付と時刻を自動設定」にチェックが入っています。
◎日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定する場合、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。
◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、「タイムゾーンの選択」でタイムゾーンを設定してください。

日付を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2 **「日付と時刻を自動設定」のチェックを外す→[日付設定]**

3 **数字を上下にスライドして日付を合わせる**

4 **[完了]**

時刻を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2 **「日付と時刻を自動設定」のチェックを外す→[時刻設定]**

3 **数字を上下にスライドして時間と分を合わせる**
「24時間表示」のチェックを外している場合は、「AM」／「PM」をスライドして午前／午後を切り替えます。

4 **[完了]**

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2

TalkBack	ユーザー補助サービス(TalkBack)を設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを変更します。
電源ボタンで通話を終了	ⓞで通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	▶P.38「縦/横画面表示を自動で切り替える」
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
テキスト読み上げ	▶P.123「言語と入力に関する設定をする」
長押し感知までの時間	ロングタッチの時間を設定します。
ウェブアクセシビリティの拡張	Googleからスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

memo

◎初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、「タッチガイド」のチェックを外します。

開発者向けオプションに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[開発者向けオプション]

アプリケーション開発時に使用するオプションを設定します。

端末情報に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2

ソフトウェア更新	▶P.141「ソフトウェアを更新する」
端末の状態	自分の電話番号や電池の状態、電池残量などを確認できます。
法的情報	使用許諾条件や利用規約、本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.65
	着信お知らせサービス	P.128
	着信転送サービス	P.128
	割込通話サービス	P.129
	発信番号表示サービス	P.130
	番号通知リクエストサービス	P.130
有料オプションサービス※1	お留守番サービスEX	P.130
	三者通話サービス	P.133
	迷惑電話撃退サービス	P.133
	通話明細分計サービス	P.134

※1 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページをご確認ください。

http://www.au.kddi.com/

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、本製品の電源を切っていた場合や、機内モード（▶P.118）をオンにしているとき、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.131）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.130）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.130）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ 無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎ 無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［無応答転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⠿」をタップして表示します。
ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力→［発信］と操作しても設定できます。

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［1］［2］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
◎ 国際ローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 **ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［話中転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⠿」をタップして表示します。
ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力→［発信］と操作しても設定できます。

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［1］［3］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 話中転送と割込通話サービス（▶P.129）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 **ホーム画面で［▦］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［フル転送］→［発信］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「⠿」をタップして表示します。
ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［4］＋転送先電話番号を入力→［発信］と操作しても設定できます。

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［📞］→［1］［4］［2］［1］［4］→［発信］と操作して設定できます。
◎ フル転送を設定している場合は、お客様のXperia™ ULは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]／[話中転送]／[フル転送]→[発信]

ホーム画面で[☎]→[1][4][2][2]／[1][4][2][3]／[1][4][2][4]→[発信]と操作しても設定できます。

2 音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「▦」をタップして表示します。
転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番	→	転送先電話番号
001010 または010	→	1	→	212	→	123XXXX

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[発信]

ホーム画面で[☎]→[1][4][2][0]→[発信]と操作しても停止できます。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のXperia™ UL以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のXperia™ ULの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.13）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎国際ローミング中はご利用になれません。
◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話開始]→[発信]

ホーム画面で[☎]→[1][4][5][1]→[発信]と操作しても開始できます。

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.130）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.133）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[割込通話]→[割込通話停止]→[発信]

ホーム画面で[☎]→[1][4][5][0]→[発信]と操作しても停止できます。

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中に着信を受けられます。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [応答]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「全て通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[☎]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のXperia™ ULのディスプレイに表示されるサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号（お客様の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が表示されます。相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知」（Withheld number）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Pay phone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Unknown）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→「発信者番号通知」にチェックを入れる

memo

◎電話をかけるときは、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をオンにしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」をオフに設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
◎海外でのローミング中は、電話番号が通知されない場合があります。
◎国際ローミング中は、「発信者番号通知」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービスEX（▶P.130）、着信転送サービス（▶P.128）、割込通話サービス（▶P.129）、三者通話サービス（▶P.133）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.133）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][8][1]→[発信]

2 [通話終了]

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][8][0]→[発信]

2 [通話終了]

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード（▶P.118）をオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- Xperia™ ULご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.128）は同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.130）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.131）の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	315円(税込)
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[発信]

ホーム画面で[✆]→[1][4][1][1]→[発信]と操作しても開始できます。

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[発信]

ホーム画面で[✆]→[1][4][1][3]→[発信]と操作しても開始できます。

memo

◎ 国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

■ お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、Xperia™ ULの状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)

memo

◎ お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎ 国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[発信]

ホーム画面で[✆]→[1][4][1][0]→[発信]と操作しても停止できます。

memo

◎ お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎ お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.132「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する
[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする
[9]：録音した伝言を消去して、取り消す
[*]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[✆]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。
伝言お知らせは、SMSに保存されます。

memo

◎ 同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「」をタップして表示します。

[1]：同じ伝言をもう一度聞く
[4]：5秒間巻き戻して聞き直す
[5]：伝言を一時停止（20秒間）※1
[6]：5秒間早送りして聞く
[9]：伝言を消去
[0]：伝言再生中の操作方法を聞く
[#]：次の伝言を聞く
[*]：前の伝言を聞く

※1「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [通話終了]

memo

◎ホーム画面で[]→[1][4][1][7]→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.131）も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[発信]

ホーム画面で[]→[1][4][1][4]→[発信]と操作しても設定できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「」をタップして表示します。

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「」をタップして表示します。

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「」をタップして表示します。

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「」をタップして表示します。

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」（▶P.132）をご参照ください。

1 ホーム画面で[]→[1][6][1][0]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のXperia™ UL以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のXperia™ ULの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.13）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[英語ガイダンス]→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面で[✆]→[1][4][1][9][1]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

2 [通話終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[日本語ガイダンス]→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面で[✆]→[1][4][1][9][0]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

2 [通話終了]

memo

◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [✆]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「切替」を2回タップするとAさんとの通話に戻ります。

4 [切替]

3人で通話できます。
「切替」をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「全て通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎国際ローミング中はご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービスEX(▶P.130)、着信転送サービス(▶P.128)、割込通話サービス(▶P.129)、三者通話サービス(▶P.133)、番号通知リクエストサービス(▶P.130)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][4][2]→[発信]

memo

◎登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
◎国際ローミング中は、次の条件からの着信時は登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録/削除はできません。日本で登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を削除する

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][4][8]→[発信]

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で[✆]→[1][4][4][9]→[発信]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 **ホーム画面で[ ]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[発信]**

2 **[通話終了]**

◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のXperia™ ULをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。Xperia™ ULは渡航先に合わせてGSMネットワークとUMTSネットワークをご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSMのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

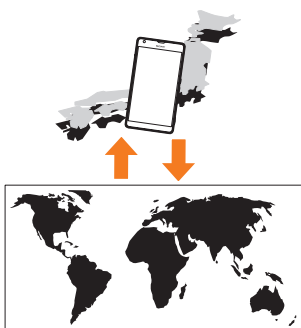
◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略です。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。
◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

1 **国内では、auのネットワークでご利用になれます。**

2 **Xperia™ ULの「ネットワークモード」（▶P.135）を海外向けに設定します。**

3 **世界のGSM／UMTSネットワークでいつもの番号で話せます。**

4 **帰国したら「ネットワークモード」（▶P.135）を「日本LTE／CDMA」／「日本CDMA」に設定します。**

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.135）、「ネットワークモードを設定する」（▶P.135）に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品を盗難・紛失された場合は、弊社まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」（▶P.122）をご参照ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

本製品は、「グローバルパスポートGSM」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額／割引サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。三者通話サービスおよび割込通話サービスはご利用になれません。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール（@ezweb.ne.jp）／PCメール／Gmail／SMS	海外でもご利用になれます。
GPSの現在地確認※1	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※1 あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳しくは「パケットサービス・メッセージサービスの通信料」（▶P.137）をご参照ください。

◎ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]→[PRL更新]

2 [発信]→[発信]

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

◎PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎エリアによっては更新できない場合があります。
◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

現在地時刻を設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[日付と時刻]

2 「日付と時刻を自動設定」にチェックを入れる

3 「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れる

「日付と時刻を自動設定」と「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。「日付と時刻を自動設定」と「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外すと「日付設定」「時刻設定」「タイムゾーンの選択」を手動で設定することができます(▶P.124)。

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎日付と時刻の設定については、「日付と時刻の設定をする」(▶P.124)をご参照ください。

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2

日本LTE／CDMA	日本国内でご利用になる場合に設定します。
日本CDMA	日本国内でauフェムトセルをご利用になる場合に設定します。
海外UMTS	海外でUMTSネットワークをご利用になる場合に設定します。
海外GSM	海外でGSMネットワークをご利用になる場合に設定します。
海外自動	海外でGSM／UMTSネットワークをご利用になる場合(通信事業者を自動で設定)に設定します。

ネットワーク接続の自動選択を有効にする

国際ローミング開始時に、利用可能なネットワークを検索して接続できます。

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]→[海外自動]

2 海外利用時の注意事項をご確認のうえ[OK]→[OK]

現在接続しているネットワークの種類を確認

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[端末情報]→[端末の状態]

2 「モバイルネットワークの種類」でネットワークの種類を確認

データローミングを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]

2 「データローミング」にチェックを入れる→注意事項をご確認のうえ[はい]

データローミング中は、ステータスバーに／が表示されます。

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

渡航先で電話をかける

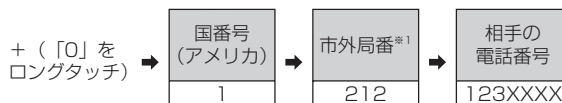
渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面で[◢]

2 +(「0」をロングタッチ)→国番号・地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力

3 [発信]

例:渡航先からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

◎ホーム画面で[▦]→[設定]→[通話設定]と操作して「国番号表示(海外在圏時)」にチェックを入れます。その後、電話番号入力画面→地域番号(市外局番)+相手の電話番号を入力→[発信]と操作し、表示された国番号一覧から相手の国をタップしても、国際電話を利用することができます。

◎ 本製品を海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。「ネットワークモード」を「日本LTE/CDMA」/「日本CDMA」以外に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。詳細については「ネットワークモードを設定する」(▶P.135)をご参照ください。
◎ 電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1. **ホーム画面で[ ]**
2. **地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力**
3. **[発信]**

ポーズ(,)を入力する

1. **電話番号入力画面→電話番号を入力→カンマ(,)が表示されるまでアスタリスク(*)をロングタッチ**
   ポーズ(,)を入力できます。

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1. **着信中に「 」を右方向にドラッグ**
2. **通話→[通話終了]**

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例:アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1. **国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信**

国際アクセス番号(アメリカ)		日本の国番号		au電話の電話番号(最初の0は省略する)
011	➡	81	➡	901234XXXX

memo

◎ 国際アクセス番号については、「国際アクセス番号」(▶P.137)をご参照ください。

帰国後の設定

日本に帰国後は、ホーム画面で[ ]→[設定]→[その他の設定]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]→[日本LTE/CDMA]/[日本CDMA]と操作してください。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

+(「0」をロングタッチ)+ 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

北米・中南米	アメリカ/カナダ/プエルトリコ/米領バージン諸島	1-877-532-6223
	アルゼンチン	00-800-00777113
	コスタリカ	0800-081-0002
	チリ	1230-020-2714
	ペルー	0800-52-468
	メキシコ	01-800-123-3426
アジア	インド	000800-810-1134
	インドネシア	001-803-81-0235
	韓国	002-800-00777113
	シンガポール/タイ/香港	001-800-00777113
	台湾/中国/フィリピン/マカオ/マレーシア	00-800-00777113
	ベトナム	120-81-003
ヨーロッパ	アイルランド/イギリス/イタリア/オーストリア/オランダ/スイス/スウェーデン/スペイン/チェコ/デンマーク/ドイツ/ノルウェー/ハンガリー/ベルギー/ポルトガル/ルクセンブルグ	00-800-00777113
	ギリシャ	00-800-8113-0088
	トルコ	00-800-8191-0089
	フィンランド	0800-1-130-95
	フランス/モナコ	0800-90-0209
	ルーマニア	08008-96996
	ロシア	810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア	0011-800-00777113
	グアム	1-888-891-3297
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦	800-081-0-0102
	イスラエル	00 or 012 or 014-800-00777113
	バーレーン	8000-4111
アフリカ	エジプト	0800-0000-233
	南アフリカ	0800-99-4522

受付時間:24時間(通話料無料)

memo

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
◎ 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)

一般電話から フリーコール 0077-7-111(通話料無料)

受付時間 9:00〜20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

◎国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール・フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金(120円／分または80円／分)となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」(265円／分)となります。
◎国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2013年4月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」(▶P.134)をご参照ください。

■ パケットサービス・メッセージサービスの通信料(免税)

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。

海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
◎渡航先でのパケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎SMSは、送信が完了した時点、または、SMS蓄積時に送信料が発生します。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ／ハワイ／カナダ／プエルトリコ／米領バージン諸島／グアム／サイパン／ジャマイカ／バミューダ諸島／バハマ	011
ニュージーランド／中国／マカオ／ベトナム／メキシコ／ペルー／イスラエル／インド／バングラデシュ／フィリピン／マレーシア／イギリス／ドイツ／フランス／イタリア／スペイン／スイス／アルゼンチン／チェコ／コスタリカ／モナコ／ルーマニア／エジプト	00
韓国	00700、002、001
香港／タイ／インドネシア	001
台湾	005、002
ブラジル	0021
オーストラリア	0011

■ 国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド(IRL)	353	ドイツ(DEU)	49
アメリカ合衆国(USA)	1	日本(JPN)	81
アラブ首長国連邦(ARE)	971	ニュージーランド(NZL)	64
イギリス(GBR)	44	ノルウェー(NOR)	47
イスラエル(ISR)	972	バミューダ諸島(BMU)	1
イタリア(ITA)	39	ハンガリー(HUN)	36
インド(IND)	91	バングラデシュ(BGD)	880
インドネシア(IDN)	62	フィリピン(PHL)	63
オーストリア(AUT)	43	フィンランド(FIN)	358
オランダ(NLD)	31	ブラジル(BRA)	55
カナダ(CAN)	1	フランス(FRA)	33
韓国(KOR)	82	ベトナム(VIE)	84
ギリシャ(GRC)	30	ベネズエラ(VEN)	58
ジャマイカ(JAM)	1	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ペルー(PER)	51
スイス(CHE)	41	ポルトガル(PRT)	351
スウェーデン(SWE)	46	香港(HKG)	852
スペイン(ESP)	34	マカオ(MAC)	853
タイ(THA)	66	マレーシア(MYS)	60
台湾(TWN)	886	メキシコ(MEX)	52
中国(CHN)	86	ルクセンブルグ(LUX)	352
デンマーク(DNK)	45	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

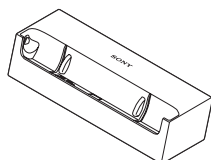
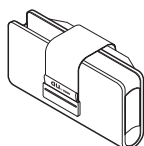
付録・索引

付録

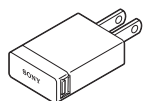
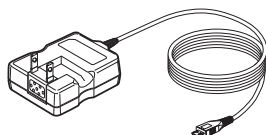
周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

■ 電池パック(SOL22UAA)

■ 卓上ホルダ(SOL22PUA)

■ auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)

■ ソニーモバイルACアダプタ05(EP880)(別売)

<ACアダプタ>

<microUSBケーブル>

■ 共通ACアダプタ04(0401PWA)(別売)

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページにてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
http://www.au.kddi.com/

◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか?	P.22
	電池パックは正しく取り付けられていますか?	P.21
	電池パックの端子が汚れていませんか?汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	–
	を1秒以上長押ししていますか?	P.24
	通知LEDが赤色で点滅していませんか?	P.22
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか?	P.22
	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	–
電源起動時の画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか?	P.22
電話がかけられない	電源は入っていますか?	P.24
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか?	P.21
	電話番号が間違っていませんか? (市外局番から入力していますか?)	P.48
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか?	P.48
	「機内モード」が設定されていませんか?	P.118
	「ネットワークモード」が間違っていませんか?	P.135
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか?	P.36
	サービスエリア外にいませんか?	P.36
	電源は入っていますか?	P.24
	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか?	P.21
	「機内モード」が設定されていませんか?	P.118
	「ネットワークモード」が間違っていませんか?	P.135
	着信転送サービスが設定されていませんか?	P.128
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか?	P.36
	内蔵アンテナ部付近を指などでおおっていませんか?	P.20
	「ネットワークモード」が間違っていませんか?	P.135
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか?	P.36
	Wi-Fi®の設定をしましたか?	P.114
充電ができない(通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない)	電池パックは正しく取り付けられていますか?	P.21
	指定の充電用機器(別売)は正しく取り付けられていますか?	P.22
キー/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか?	P.24
	「画面のロック」が設定されていませんか?	P.122
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	–
	を押してバックライトを点灯させてください。	–
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか?	P.22
	「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定していませんか?	P.91
	本製品のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか?	P.91
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.28
	手袋などをしたままで操作していませんか?	P.28
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか?	P.28
	画面ロック解除画面で上下にスワイプ(フリック)しても画面ロックを解除できない場合は、TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている可能性があります。TalkBackのタッチガイド機能をオンにしている場合は、2本の指で画面を上下にスワイプ(フリック)してください。	P.125
充電が完了しない	本製品の温度が上昇している、または低温になっていませんか?	P.22
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.22

こんなときは	ご確認ください	参照
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※通知LEDが緑色に点灯するまで、充電してください。	P.22
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.10
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.36
電話が勝手に応答する	マナーモードが設定されていませんか？	P.38
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.36
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
ディスプレイのバックライトがすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.120
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.120
	近接センサーをシールなどでふさいでいませんか？	P.20
	本製品の温度が上昇していませんか？	P.12
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.48
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.20
ワンセグが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.87
	視聴している場所が「チャンネル設定」で設定した地域と合っていますか？	P.88
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	－
アルバムで再生できない	アルバムで対応可能なデータ形式ですか？	P.143
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
連絡先の登録ができない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 非通知で電話を受けた場合は、連絡先に登録することができません。	－
ホーム画面にショートカットが表示されない	壁紙のみ表示された画面を表示していませんか？	P.29
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.73
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントを設定しましたか？	P.67
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.106
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.121
Bluetooth®対応機器と接続できない／検索しても見つからない	接続するBluetooth®対応機器を検出可能の設定にしてからペア設定をしてください。	P.113
本製品の動作が不安定	お買い上げ後に本製品へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。セーフモード(お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能)で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 セーフモードを起動するには、電源を切った状態で ⓞ（1秒以上長押し）→auロゴが表示されたら［◁ ▷］の下を長く押し続けてください。 電源が入った状態でセーフモードを起動するには、ⓞ（1秒以上長押し）→「電源を切る」をロングタッチ→［OK］と操作してください。 セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 • セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。	－

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

イヤホンを使用する

イヤホン（別売）、イヤホンマイク（別売）、ステレオイヤホンマイク（別売）を接続して使用します。

1 本製品のヘッドセット接続端子カバーを開く

2 イヤホン（別売）の接続プラグを本製品のヘッドセット接続端子に接続

接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

更新は、次の方法があります。

- ソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続して更新する

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続すると き、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（連絡先、メール、静止画、楽曲データなど）は変更されませんが、更新内容によってはお客様が設定した情報が初期化される場合があります。お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本製品内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワーク（海外GSM／UMTS接続）でのソフトウェア更新のダウンロードはできません。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェア更新中に電池パックを取り外さないでください。電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェア更新の通知設定をする

ソフトウェアが更新されたときに通知するように設定できます。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[更新センター]

2 [⋮]→[設定]

3 「通知」にチェックを入れる

通知音を変更するには、[通知音]→アプリケーションを選択し、「常時」／「今回のみ」をタップして変更します。

memo

◎ 手順3で「通知バイブレーション」にチェックを入れると、ソフトウェア更新があることをバイブレーションでお知らせします。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本製品から直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[更新センター]

2 「システム」タブをタップ→[C]

ソフトウェア更新が検索されます。

■ ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合

ホーム画面で[▦]→[ツール]→[更新センター]→[⋮]→[設定]→[優先データ通信]と操作して、「Wi-Fi経由のみ」に設定してください。「モバイルネットワーク／Wi-Fi経由」に設定して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動ダウンロードする

最新のソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーに☑が表示されます。

1 ホーム画面で[▦]→[ツール]→[更新センター]

2 [⋮]→[設定]

3 「自動ダウンロードを許可」にチェックを入れる

メッセージが表示されたら、内容をご確認のうえ「同意する」をタップしてください。

memo

◎ 自動ダウンロードするために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

PC Companionを利用してソフトウェアの更新ができます。PC Companionは本製品をパソコンに接続して、インストールしてください。

- ソニーモバイルACアダプタ05（別売）のmicroUSBケーブルを利用してパソコンに接続する方法を説明します。
- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

■ PC Companionがパソコンにインストールされていない場合

1 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続（▶P.107）

2 本製品の画面で[インストール]

パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコンの画面の指示に従ってインストール

インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

■ PC Companionがパソコンにインストールされている場合

1 パソコンのスタートメニューからPC Companionを起動

2 microUSBケーブルで本製品とパソコンを接続（▶P.107）

3 パソコンの画面の指示に従って操作

ソフトウェア更新がある場合は、自動的に通知されます。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのXperia™ UL本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは**0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは局番なしの**113**(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは**0120-925-919**(通話料無料)

受付時間9:00〜21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラスLTE	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,500円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額はすべて税込

交換用携帯電話機お届けサービス

◎au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色、新品電池含む)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	WAV(PCM、G.711)(.wav)、AAC(.3gp、.m4a、.mp4)、AAC+(.3gp、.m4a、.mp4)、eAAC+(.3gp、.m4a、.mp4)、MP3(.mp3)、AMR-NB(.3gp)、AMR-WB(.3gp)、MIDI(SPMIDI/GM/GML(.mid)、XMF(.xmf)、Mobile XMF 1.0(.mxmf)、RTTTL/RTX(.rtttl、.rtx)、OTA(.ota)、iMelody(.imy))、Ogg Vorbis(.ogg)、FLAC(.flac)、PIFF(.isma)
静止画	JPEG(.jpeg、.jpg)、GIF(.gif)、PNG(.png)、BMP(.bmp)、WEBP(.webp)
動画	H263(.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、H264(.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、MPEG4(.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、VP8(.webm、.mkv)、Xvid(.avi、.xvid、.mkv、.3gp、.3gpp、.mp4、.m4v)、WebM(.webm)、AVI(.avi)、PIFF(.ismv)

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG

主な仕様

ディスプレイ		約5.0インチ、TFT16,777,216色
		1,080×1,920ドット
質量		約145g(電池パック含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)		約71mm×135mm×10.5mm
内蔵メモリ容量		ROM:約16GB RAM:約2GB
外部メモリ		microSD 2GBまで対応 microSDHC 32GBまで対応 microSDXC 64GBまで対応 (2013年4月現在)
撮像素子(種類)		カメラ:裏面照射型CMOS フロントカメラ:CMOS
カメラ画素数		カメラ:有効画素数約1310万画素 フロントカメラ:有効画素数約31万画素
連続通話時間	国内	約910分
	海外(GSM)	約570分
連続待受時間	国内	約440時間(LTE使用時) 約480時間(3G使用時)
	海外(GSM)	約520時間
充電時間		共通ACアダプタ04(別売)使用時:約140分
連続ワンセグ視聴時間		約280分
連続テザリング時間		約300分(WAN側LTE) 約460分(WAN側3G)
ネットワーク環境		無線LAN(Wi-Fi®)機能IEEE802.11a/b/g/n準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz)
Bluetooth®機能	通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.4.0に準拠※1
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 1
	通信距離※1	見通しの良い状態で約10m以内
	対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP、HFP、PBAP※3、A2DP、AVRCP、SPP、OPP、HID、HDP、PAN、PXP、DID、MAP、DUN※4
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2,400MHz〜2,483.5MHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※3 接続先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。

※4 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたってはauホームページをご参照ください。

◎連続通話時間・連続待受時間・連続ワンセグ視聴時間・連続テザリング時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SOL22の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.540W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/
○ ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ：
http://www.sonymobile.co.jp/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

名前から引く索引

記号／数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fi®を利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

★Mobile Phone GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900&UMTS/HSPA Bands1/2/5<E Bands1/11/18

United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The SOL22 Series mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the important information chapter in the User Guide.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.97 W/kg*, and when worn on the body is 1.47 W/kg* . For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate accessory and worn on the body. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID PY7PM-0400. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SOL22 has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Mobile Communications AB for use at the ear is 0.66 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When your phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Mobile Communications AB accessory and worn on the body. Use of the phone other than as tested may impact SAR and result in non-compliance with such RF exposure limits. For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
For more information about SAR and radio frequency exposure go to: www.sonymobile.com.

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product.
- Consult with authorized medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices or disable the radio transmitting functionality of the device where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in a car.
- **Caution**: Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 15cm (6 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

Driving

Some vehicle manufactures forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". KDDI/ Sony Mobile Communications AB does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, KDDI/ Sony Mobile Communications AB does not warrant or represent that the device will be impervious to introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony Mobile Communications AB branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications AB does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications AB call centre. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications AB call centre for information. Never use municipal waste.

Memory Card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. KDDI/Sony Mobile Communications AB does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Mobile Communications AB may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SOL22

CE0682 ⓘ

The Product "SOL22" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア(以下「本ソフトウェア」という)は、Sony Mobile Communications AB(以下「ソニーモバイル」という)及び/又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス(以下「本ライセンス」という)を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software/オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonymobile.com.

Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び/またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonymobile.com でも参照いただけます。

ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。
The products and accessories may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.
In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.
In cases of exporting or reexporting the products and accessories, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost.
Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

知的財産権について

■ 商標について

- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi®」は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- 「Xperia」「PlayNow」「TrackID」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Media Software and Servicesの商標または登録商標です。
- 「ブラビア」「Sony」「スイングパノラマ」「スマイルシャッター」「プレミアムおまかせオート」「顔検出」「WALKMAN」「xLOUD」「FeliCa」「Clear Phase」「VPT」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 「POBox」および「POBox」ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
  「POBox」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- "PlayStation"、"プレイステーション"およびプレイステーションロゴは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Google+、Gmail、モバイルGoogleマップ、Googleトーク、Google latitude、Google Calendar、YouTube、YouTubeロゴ、Picasaは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- "DLNA"、"DLNA"ロゴはDigital Living Network Allianceの商標または登録商標です。
- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- HDMI, HDMIロゴ, High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」と「Exchange」および「ActiveSync」は、米国またはその他の国(あるいはその両方)におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010 - Three Laws of Mobility.
  All Rights Reserved.
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i)MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます(http://www.mpegla.com)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- 本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- その他、本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種(以下、au ICカードといいます)を利用したサービスです。
   NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCa™チップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCa™チップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCa™チップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)及びau ICカードに保存されたデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCa™チップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCa™チップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCa™チップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCa™チップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCa™チップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCa™チップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCa™チップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCa™チップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCa™チップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCa™チップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCa™チップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCa™チップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。
   なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCa™チップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCa™チップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能をご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
5. 機内モード設定中またはモバイルデータ通信をオフに設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

「au Wi-Fi SPOT」利用規約

「au Wi-Fi SPOT」のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI･沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の3.項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、「au Wi-Fi SPOT」(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

1. 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
2. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
3. 本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
4. 本サービスの提供は3.項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。
6. 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
    - お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
    - お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
    - 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
    - お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
    - お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
7. 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。
    - 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
    - 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
8. 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
10. お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
11. 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名･契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
12. 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
    - サービスの紹介、提案、および申込受付のため
    - サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
    - サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
    - サービスの提供に関する妥当性の判断のため
    - 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
    - お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
    - 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
    - ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
    - サービスの終了後の管理のため
    - その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため
13. 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2012年11月30日から実施します。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-111	局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
フリーコール 0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

フリーコール **0120-977-033**（沖縄を除く地域）

フリーコール **0120-977-699**（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から

フリーコール **0120-925-919**

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

1273-7589.1
2013年4月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社